

【平成26年度 文部科学省委託事業】

先導的大学改革推進委託事業

日本人の海外留学及び海外からの留学生受入れ 支援の具体的施策等の検討に係る調査研究 成果報告書

フォースバレー・コンシェルジュ株式会社

2015 年 3 月

目 次

序章 調査実施目的・実施概要.....	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の概要	3
第1章 アンケート調査の実施.....	5
1. 調査の実施方法.....	5
1-1. 日本人学生アンケート	5
1-2. 外国人学生アンケート	5
1-3. 国内高等教育機関アンケート	5
1-4. 海外高等教育機関アンケート	5
2. アンケート調査票の設計	5
2-1. 日本人学生アンケート	5
2-2. 外国人学生アンケート	7
2-3. 国内高等教育機関アンケート	8
2-4. 海外高等教育機関アンケート	8
3. 調査の概要	9
3-1. 日本人学生アンケート	9
3-2. 外国人学生アンケート	9
3-3. 国内高等教育機関アンケート	9
3-4. 海外高等教育機関アンケート	9
第2章 ヒアリング調査の実施.....	10
1. 日本人学生ヒアリング	10
2. 外国人学生ヒアリング	10
3. 国内高等教育機関ヒアリング	10
4. 海外高等教育機関ヒアリング	11
第3章 調査結果の集計.....	12
1. 日本人学生アンケート	12
1-1. 回答者属性	13
1-2. 留学のきっかけ	19
1-3. 留学に関する意思決定プロセス.....	33
1-4. 留学の阻害要因	54
2. 外国人学生アンケート	61
2-1. 回答者属性	62
2-2. 留学のきっかけ	73

2-3. 留学に関する意思決定プロセス.....	86
2-4. 留学の阻害要因	116
3. 国内高等教育機関アンケート	121
3-1. 回答教育機関属性	122
3-2. 回答結果集計.....	122
4. 海外高等教育機関アンケート	142
4-1. 回答教育機関属性	143
5. 日本人学生ヒアリング	183
6. 外国人学生ヒアリング	185
7. 国内高等教育機関ヒアリング	188
8. 海外高等教育機関ヒアリング	193
第4章 まとめ	196
補足資料	206
1. 日本人学生アンケート調査票.....	206
2. 外国人学生アンケート調査票.....	210
3. 国内高等教育機関アンケート調査票.....	214
4. 海外高等教育機関アンケート調査	216
5. 日本人学生の「重要度－情報充実度」、「重要度－満足度」、「満足度－情報充実度」 の実数集計結果.....	219
6. 外国人学生の「重要度－情報充実度」、「重要度－満足度」、「重要度－比較優位度」、 「満足度－情報充実度」の実数集計結果.....	225
7. 日本人学生のきっかけ実数集計結果	233
8. 外国人学生のきっかけ実数集計結果	236

図表目次

図 1-2- 1：日本人学生のセグメンテーション	6
図 1-2- 2：外国人学生のセグメンテーション	7
表 3-1- 1：性別、年齢別の構成	13
表 3-1- 2：学年別の構成	14
表 3-1- 3：学校区分別、学校設立形態（国立、公立、私立）別の構成	15
表 3-1- 4：学校区分別（大学・大学院のみ）、専攻別の構成	16
表 3-1- 5：学校区分別、学校所在地別の構成	17
表 3-1- 6：留学先国別の構成	18
表 3-1- 7：留学のきっかけに関連する項目のサマリ	19
表 3-1- 8：旅行・居住経験	20
表 3-1- 9：周囲の留学経験者の存在	21
表 3-1- 10：セグメント別 留学のきっかけ（5段階評価の平均値）	22
表 3-1- 11：きっかけに触れた時期	24
表 3-1- 12：きっかけに触れた時期（高校卒業以降に留学した者を抽出し集計）	25
表 3-1- 13：きっかけに触れた時期別のきっかけ（5段階評価の平均値）	26
表 3-1- 14：セグメント別 留学時期/留学希望時期	27
表 3-1- 15：セグメント別 留学期間（長さ）	28
表 3-1- 16：セグメント別 留学目的	29
表 3-1- 17：留学形態	30
表 3-1- 18：留学先の言語の学習履歴	31
表 3-1- 19：留学先の言語の学習履歴（留学先エリア別）	32
表 3-1- 20：意思決定プロセスに関する項目のサマリ	33
表 3-1- 21：セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）	34
表 3-1- 22：グループ別 重要度（平均値、標準偏差）	35
表 3-1- 23：留学期間別 重要度（平均値）	37
表 3-1- 24：留学目的別 重要度（平均値）	39
表 3-1- 25：セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）	41
表 3-1- 26：グループ別 情報充実度（平均値）	41
表 3-1- 27：セグメント別 満足度（平均値、標準偏差）	44
表 3-1- 28：グループ別 満足度（平均値）	44
表 3-1- 29：留学情報の収集時期	49
表 3-1- 30：留学費用の把握	50
表 3-1- 31：奨学金の把握	52

表 3-1- 32： 渡航前奨学金の受給有無	53
表 3-1- 33： 留学の阻害要因に関する項目のサマリ	54
表 3-1- 34： 就職活動への影響（5 段階評価の平均値）	54
表 3-1- 35： 留学に興味が無い理由（5 段階評価の平均値）	56
表 3-1- 36： 語学留学プログラムの把握状況	58
表 3-1- 37： 留学費用の把握状況	58
表 3-1- 38： 留学を後押しするサポート・情報（5 段階評価の平均値）	59
図 3-1- 1： セグメント別 きっかけ（平均値、標準偏差）	23
図 3-1- 2： セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）	34
図 3-1- 3： 留学期間別 重要度（平均値、標準偏差）	36
図 3-1- 4： 留学目的別 重要度（平均値、標準偏差）	38
図 3-1- 5： セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）	40
図 3-1- 6： 地域別 情報充実度（平均値、標準偏差）	42
図 3-1- 7： セグメント別 満足度（平均値、標準偏差）	43
図 3-1- 8： 留学経験者＋具体的留学予定が有る学生 重要度 x 情報充実度	45
図 3-1- 9： 具体的留学予定が無い学生＋留学を断念した学生 重要度 x 情報充実度 ..	45
図 3-1- 10： 留学経験者＋具体的留学予定が有る学生 重要度 x 満足度	46
図 3-1- 11： 具体的留学予定が無い学生＋留学を断念した学生 重要度 x 満足度	46
図 3-1- 12： 留学経験者＋具体的留学予定が有る学生 満足度 x 情報充実度	47
図 3-1- 13： 具体的留学予定が無い学生＋留学を断念した学生 満足度 x 情報充実度 ..	47
図 3-1- 14： 留学情報収集方法	48
図 3-1- 15： 留学費用調査方法	51
図 3-1- 16： 奨学金の調査方法	52
図 3-1- 17： セグメント別 就職活動への影響（平均値、標準偏差）	55
図 3-1- 18： 留学に興味が無い理由（平均値、標準偏差）	57
図 3-1- 19： セグメント別 留学を後押しするサポート・情報（平均値、標準偏差） ..	60
表 3-2- 1： 国籍エリア別の構成	62
表 3-2- 2： エリア別、国籍別の構成	62
表 3-2- 3： 性別、年齢別の構成	63
表 3-2- 4： 学校区分、学校設立形態（国立・公立、私立）別の構成	64
表 3-2- 5： 学校区分、学年別の構成	65
表 3-2- 6： 学校区分（大学・大学院のみ）、専攻別の構成	66
表 3-2- 7： 留学先国別の構成	66
表 3-2- 8： 留学した時期（学年）/留学したい時期（学年）別の構成	67

表 3-2- 9: 留学した/留学を希望する期間（長さ）別の構成	68
表 3-2- 10: 留学目的別の構成.....	69
表 3-2- 11: 留学目的別の構成 国籍（エリア）別	70
表 3-2- 12: 留学目的別の構成 留学先国（エリア）別	71
表 3-2- 13: 留学形態別の構成.....	72
表 3-2- 14: 留学のきっかけに関連する項目のサマリ	73
表 3-2- 15: セグメント別 留学のきっかけ（5段階評価の平均値）	74
表 3-2- 16: エリア別 留学のきっかけ（5段階評価の平均値）	76
表 3-2- 17: きっかけに触れた時期（留学時期が大学以上の学生に絞り集計）	78
表 3-2- 18: きっかけに触れた時期（留学時期が大学学部の学生に絞り集計）	78
表 3-2- 19: きっかけに触れた時期（留学時期が大学院の学生に絞り集計）	79
表 3-2- 20: きっかけに触れた時期別のきっかけ（5段階評価の平均値）	80
表 3-2- 21: 留学先の言語の学習履歴.....	81
表 3-2- 22: 留学先の言語の学習履歴（出身エリア別）	82
表 3-2- 23: 留学先の言語の学習履歴（留学先エリア別）	82
表 3-2- 24: 留学先への旅行、留学、居住経験	83
表 3-2- 25: 留学先への旅行、留学、居住経験（出身エリア別）	83
表 3-2- 26: 留学先への旅行、留学、居住経験（留学先エリア別）	84
表 3-2- 27: 周囲の留学経験者の有無.....	85
表 3-2- 28: 意思決定プロセスに関連する項目のサマリ	86
表 3-2- 29: セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）	89
表 3-2- 30: グループ別 重要度（平均値）	89
表 3-2- 31: 留学期間別 重要度（平均値）	91
表 3-2- 32: 留学目的別 重要度（平均値）	92
表 3-2- 33: 出身エリア別 重要度（平均値）	93
表 3-2- 34: セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）	96
表 3-2- 35: グループ別 情報充実度（平均値）	96
表 3-2- 36: セグメント別 満足度（平均値、標準偏差）	98
表 3-2- 37: グループ別 満足度（平均値、標準偏差）	99
表 3-2- 38: セグメント別 比較度（平均値、標準偏差）	101
表 3-2- 39: グループ別 比較度（平均値、標準偏差）	102
表 3-2- 40: セグメント別 比較・検討国	103
表 3-2- 41: 留学情報収集時期.....	112
表 3-2- 42: 留学情報収集時期.....	113
表 3-2- 43: 奨学金の把握状況.....	114
表 3-2- 44: 渡航前奨学金の決定有無.....	115

表 3-2- 45: 留学の阻害要因に関連する項目のサマリ	116
表 3-2- 46: セグメント別 日本を選ばなかった理由 (平均値)	118
表 3-2- 47: セグメント別 日本留学を後押しする情報・サポート (平均値)	120
図 3-2- 1: セグメント別 留学のきっかけ (平均値、標準偏差)	75
図 3-2- 2: エリア別 留学のきっかけ (平均値、標準偏差)	77
図 3-2- 3: セグメント別 重要度 (平均値、標準偏差)	88
図 3-2- 4: 留学期間別 重要度 (平均値、標準偏差)	90
図 3-2- 5: 留学目的別 重要度 (平均値、標準偏差)	92
図 3-2- 6: 出身エリア 重要度 (平均値、標準偏差)	94
図 3-2- 7: セグメント別 情報充実度 (平均値、標準偏差)	95
図 3-2- 8: エリア別 情報充実度 (平均値、標準偏差)	97
図 3-2- 9: セグメント別 満足度 (平均値、標準偏差)	98
図 3-2- 10: エリア別 満足度 (平均値、標準偏差)	100
図 3-2- 11: セグメント別 比較度 (平均値、標準偏差)	101
図 3-2- 12: 日本留学選択者 重要度 x 情報充実度	104
図 3-2- 13: 他国留学選択者 重要度 x 情報充実度	104
図 3-2- 14: 日本留学選択者 重要度 x 満足度	106
図 3-2- 15: 他国留学選択者 重要度 x 満足度	106
図 3-2- 16: 日本留学選択者 重要度 x 比較度	108
図 3-2- 17: 他国留学選択者 重要度 x 比較度	108
図 3-2- 18: 日本留学選択者 満足度 x 情報充実度	110
図 3-2- 19: 他国留学選択者 満足度 x 情報充実度	110
図 3-2- 20: セグメント別 情報収集方法	111
図 3-2- 21: セグメント別 情報収集方法	113
図 3-2- 22: セグメント別 奨学金調査方法	114
図 3-2- 23: セグメント別 日本を選ばなかった理由 (平均値、標準偏差)	117
図 3-2- 24: セグメント別 日本留学を後押しする情報・サポート (平均値、標準偏差)	119
表 3-3- 1: 学校区分、設立区分別の構成	122
表 3-3- 2: 留学促進の取組に関連する項目のサマリ	123
表 3-3- 3: 留学阻害要因の分析状況	124
表 3-3- 4: 留学を後押しする体制の分析	125
表 3-3- 5: 学生への留学情報周知実施の有無	127
表 3-3- 6: 学生への留学情報周知手段	128

表 3-3- 7: 効果的な留学情報周知手段	129
表 3-3- 8: 留学情報の周知内容	130
表 3-3- 9: 周知を行う頻度	131
表 3-3-10: 特定の学年への留学情報周知の実施有無	131
表 3-3-11: 留学情報周知を行う対象学年	132
表 3-3-12: 周知の担当部署	135
表 3-3-13: 在校生の留学ニーズの把握	136
表 3-3-14: 留学前のサポート体制（現状）	137
表 3-3-15: 留学前のサポート体制（今後）	138
表 3-3-16: 留学中のサポート体制（現状）	139
表 3-3-17: 留学中のサポート体制（今後）	140
表 3-3-18: 留学後のサポート体制	141

図 3-3- 1: 各セグメントが想定している学生が留学を躊躇する理由（平均値、標準偏差）	124
図 3-3- 2: 各セグメントが想定している学生が留学を後押しする体制（平均値、標準偏差）	126
図 3-3- 3: 特定の学年への留学情報周知タイミング（新年度開始時）	132
図 3-3- 4: 特定の学年への留学情報周知タイミング（長期休暇開始前）	133
図 3-3- 5: 特定の学年への留学情報周知タイミング（長期休暇開始前）	133
図 3-3- 6: 特定の学年への留学情報周知タイミング（長期休暇中）	134
図 3-3- 7: 特定の学年への留学情報周知タイミング（不定期）	134

表 3-4- 1: 学校区分、設立区分別の構成	143
表 3-4- 2: 学校所在国別の構成	143
表 3-4- 3: 総学生数別の構成	144
表 3-4- 4: 日本留学促進に関連する項目のサマリ	145
表 3-4- 5: 在学中の海外留学状況	146
表 3-4- 6: 在学中の年間海外留学人数	146
表 3-4- 7: 在学中の学生留学先（主要国）	147
表 3-4- 8: 在学中の日本留学者数	149
表 3-4- 9: 卒業後の海外学校への進学者の有無	149
表 3-4-10: 卒業後の海外学校への進学者数	150
表 3-4-11: 卒業後の学生留学先（主要国）	150
表 3-4-12: 卒業後の日本留学の有無	152

表 3-4- 13: 卒業後に日本留学する学生数	152
表 3-4- 14: セグメント別 留学先国選択の理由 (平均値)	154
表 3-4- 15: 日本の学校との交流提携の有無	155
表 3-4- 16: 日本の学校との交流提携の数	155
表 3-4- 17: アジア研究/日本研究の専攻や授業の有無	156
表 3-4- 18: 日本留学に対する学生の関心度合い	157
表 3-4- 19: セグメント別 日本留学に興味が無い理由(平均値)	159
表 3-4- 20: セグメント別 日本留学に関する情報の取得状況 (平均値)	161
表 3-4- 21: セグメント別 日本と他国との比較 (平均値)	163
表 3-4- 22: セグメント別 日本留学に興味がある理由 (平均値)	165
表 3-4- 23: セグメント別 日本留学を後押しする施策 (平均値)	167
表 3-4- 24: セグメント別 日本留学に対する学生の知識	168
表 3-4- 25: セグメント別 日本留学の情報周知	168
表 3-4- 26: 日本留学の情報周知手段	169
表 3-4- 27: 情報周知手段のうち効果的なもの	170
表 3-4- 28: 情報周知の内容	171
表 3-4- 29: 情報周知の頻度	172
表 3-4- 30: 特定の学年向けの情報周知の有無	172
表 3-4- 31: 情報周知の対象学年	173
表 3-4- 32: 周知を行う担当部署・担当者	176
表 3-4- 33: 周知を行わない理由	177
表 3-4- 34: 留学前のサポート体制 (現状)	178
表 3-4- 35: 留学前のサポート体制 (今後)	179
表 3-4- 36: 留学中のサポート体制 (現状)	180
表 3-4- 37: 留学中のサポート体制 (今後)	181
表 3-4- 38: 留学後のサポート体制	182
図 3-4- 1: セグメント別 留学先国選択の理由 (平均値、標準偏差)	153
図 3-4- 2: セグメント別 日本留学に興味が無い理由 (平均値、標準偏差)	158
図 3-4- 3: セグメント別 日本留学に関する情報の取得状況 (平均値、標準偏差) ..	160
図 3-4- 4: セグメント別 日本と他国との比較 (平均値、標準偏差)	162
図 3-4- 5: セグメント別 日本留学に興味がある理由 (平均値、標準偏差)	164
図 3-4- 6: セグメント別 日本留学を後押しする施策 (平均値、標準偏差)	166
図 3-4- 7: 特定の学年への留学情報周知タイミング (新年度開始時)	173
図 3-4- 8: 特定の学年への留学情報周知タイミング (長期休暇開始前)	174
図 3-4- 9: 特定の学年への留学情報周知タイミング (通常の学期中)	174

図 3-4- 10: 特定の学年への留学情報周知タイミング（長期休暇中）.....	175
図 3-4- 11: 特定の学年への留学情報周知タイミング（不定期）	175

序章 調査実施目的・実施概要

1. 調査の目的

本調査の背景としては、日本人学生の海外留学に関して日本再興戦略等において日本政府が2020年までに留学派遣数倍増という目標を掲げている一方で、日本人の海外留学が減少しているという現状がある。また、海外からの留学生受入れについても同様に、日本再興戦略等において2020年までに倍増することを目標としているが、ここ数年は横ばいとなっている状況である。

このような現状を踏まえ、日本人学生が感じている留学を阻害する要因や海外留学の動機等について、ならびに外国人学生が日本留学を検討する上での阻害要因や日本留学の魅力等について、アンケートおよびヒアリング調査の実施を通じ、海外留学支援及び海外からの留学受入れ支援に係る具体的施策等の検討に資するデータ等を得ることが本調査の目的である。日本人および外国人の学生に加え、学生等が在籍する大学等の留学促進に係る取り組み状況についても併せて調査を実施した。

2. 調査の概要

本調査の概要は、以下の通りである。

(1) 調査対象者

①日本人学生：留学経験の有無を問わず、海外の高校～大学院在籍中の日本人学生を対象とした。さらに現在留学中の学生の意識も調査するため、日本国外の学校等に在籍している日本人についても対象とした。

②外国人学生：留学経験の有無を問わず、海外の高校～大学院在籍中の外国人学生を対象とした。また現在留学中の学生の意識も調査するため、日本の学校等に在籍している在日外国人留学生についても対象とした。

③国内高等教育機関：日本人学生の海外留学支援の取り組み状況について調査するため、国内の国公立大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、インターナショナルスクール、語学学校等で日本人学生の留学送り出しに携わっている教職員を対象とした。

④海外高等教育機関：外国人学生の海外留学支援、とりわけ日本への留学派遣の取り組み状況について調査するため、海外の国公立大学（大学院を含む）、高校、インターナショナルスクール、語学学校等で学生の留学送り出しに携わっている教職員を対象とした。

(2) 調査手法

アンケート調査は、基本的にインターネットを利用したオンラインの質問票をメールで送信、あるいは掲示板に投稿し回答を依頼した。

学生および国内高等教機関へのヒアリング調査はアンケート調査の回答者のうち、ヒアリングに応じて構わないと回答した者/機関に対し、電話により実施した。海外高等教育機関へのヒアリング調査は 3 月末に北京にて行われた APAIE(Asia Pacific Association for International Education.)の年次総会会場において、参加大学の国際化担当教職員に対して対面で行った。

(3) 調査結果の集計

アンケート調査およびヒアリングで得られた回答結果を、後述の各対象のセグメントごとに集計した。

(4) 報告書の作成

上記内容の成果をとりまとめた報告書を作成した。

第1章 アンケート調査の実施

1. 調査の実施方法

1-1. 日本人学生アンケート

日本人学生に対しては、弊社が関係を有する大学の学生団体へのメール配信依頼や、Facebook の学生向けページへの投稿を通じ、アンケート票を配布した。

1-2. 外国人学生アンケート

外国人学生に対しては、弊社は約 7,000 名の海外大学、大学院在籍中の学生の個人情報を持っており、彼らに対し直接アンケート票を送信した。また、弊社の海外拠点（中国、韓国、ベトナム、ミャンマー、米国）からも、コンタクトがある現地学生にたいし回答依頼を送付した。

1-3. 国内高等教育機関アンケート

国内高等教育機関については、弊社とコンタクトがある国内大学数十校への協力依頼に加え、JAFSA（国際教育交流協議会）の会員である国内 232 大学についても、メーリングリストにて回答依頼を配布した。

1-4. 海外高等教育機関アンケート

海外高等教育機関については、弊社とコンタクトがある海外大学への協力依頼に加え、3 月末に北京にて行われた APAIE(Asia Pacific Association for International Education.)の年次総会会場において、数十の海外大学の国際化担当職員に対し、回答を依頼した。

2. アンケート調査票の設計

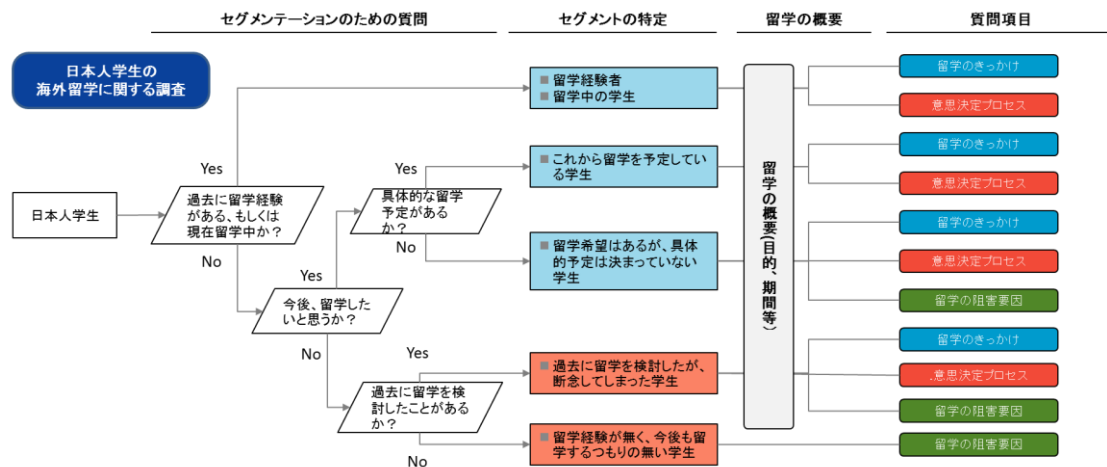
2-1. 日本人学生アンケート

日本人学生に対するアンケートでは、対象を以下の 5 つのセグメントに分けて、「留学のきっかけ」、「留学に関する意思決定プロセス」、「留学の阻害要因」について調査を行った。

- ①留学経験者/留学中の学生
- ②これから具体的な留学予定がある学生
- ③留学希望はあるが具体的な留学予定が無い学生
- ④過去に留学を検討したが、断念してしまった学生
- ⑤留学に興味が無い学生

以下の図 1-2-1 に、各セグメントと質問項目の対応を示す。

図 1-2-1：日本人学生のセグメンテーション



「留学のきっかけ」、「留学に関する意思決定プロセス」、「留学の阻害要因」についての設問項目は以下の通りである

①留学のきっかけ

- 海外に旅行もしくは居住した経験の有無
- 周囲の留学経験者の存在の有無
- 最初に留学に興味をもったきっかけ
- 上記のきっかけに触れた時期
- 留学先国の言語の学習状況

②留学に関する意思決定プロセス

- 留学先を決定する上で重視する項目
- 上記の重視する項目に対する情報の充実度
- 上記の重視する項目に対する自分の希望条件とのマッチング度合（満足度）
- 留学情報の入手方法

③留学の阻害要因

- 留学が就職活動に及ぼす影響の認識
- 留学に必要な費用の把握状況
- 夏季休暇中の短期語学留学など、ある程度の語学力でも参加できる留学プログラムの把握状況
- 留学に興味が無い理由
- 留学を後押しすると思われる情報・サポート

2-2. 外国人学生アンケート

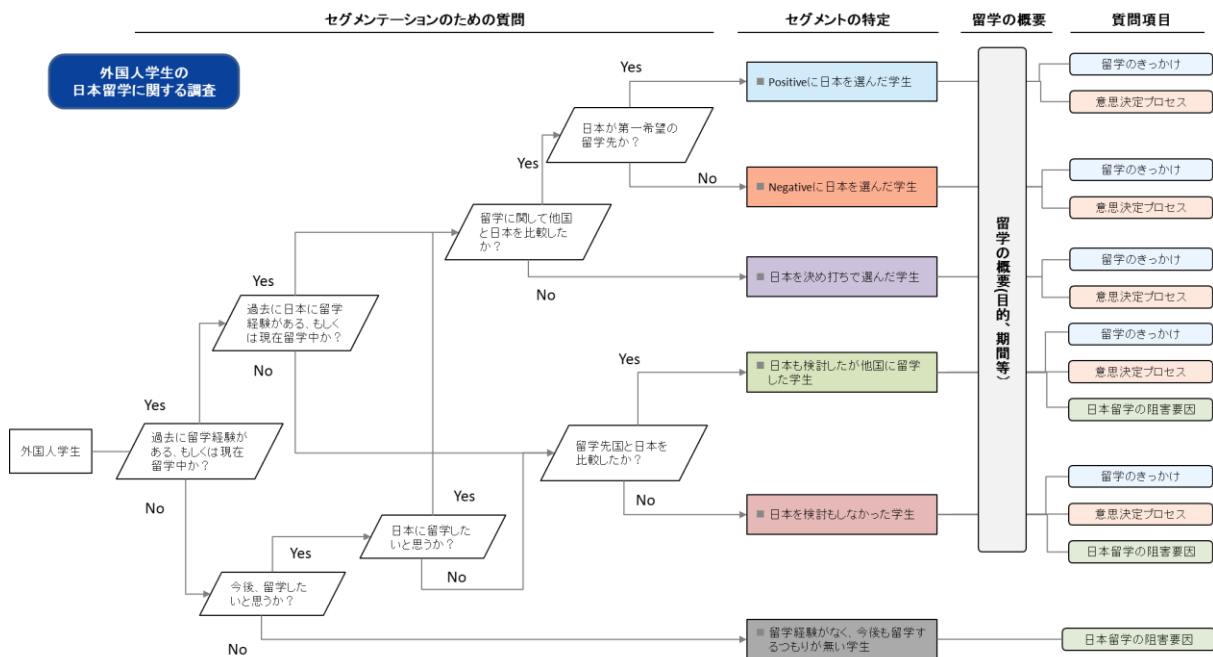
外国人学生に対するアンケートでは、対象を以下の6つのセグメントに分けて、「留学のきっかけ」、「留学に関する意思決定プロセス」、「留学の阻害要因」について調査を行った。

- ①日本を決め打ちで留学先に選んだ学生
- ②他国と比較し **Positive** に日本を留学先に選んだ学生
- ③他国と比較し **Negative** に日本を留学先に選んだ学生
- ④日本も検討したが、他国に留学した学生
- ⑤（留学に際して）日本を検討もしなかった学生
- ⑥留学に興味が無い学生

以下の調査では①～③を日本留学選択者、④～⑤を他国留学選択者、⑥を留学に興味が無い学生、というグルーピングを行い、比較分析を行った。

以下の図 1-2-2 に、各セグメントと質問項目の対応を示す。

図 1-2-2：外国人学生のセグメンテーション



「留学のきっかけ」、「留学に関する意思決定プロセス」、「留学の阻害要因」についての設問項目は以下の通りである。

①留学のきっかけ

- 留学前に留学先国に旅行、留学もしくは居住した経験の有無

- 周囲の留学経験者の存在の有無
- 留学先国の言語の学習状況
- 最初に留学に興味をもったきっかけ
- 上記のきっかけに触れた時期

②留学に関する意思決定プロセス

- 留学先を決定する上で重視する項目
- 上記の重視する項目に対する情報の充実度
- 上記の重視する項目に対する自分の希望条件とのマッチング度合（満足度）
- （留学先国を他国と比較した場合）上記の重視する項目について、留学先国が比較した国に比べ、どの程度優れていたか
- 留学情報の入手方法

③留学の阻害要因

- 留学に必要な費用の把握状況
- 日本留学を選ばなかった理由
- 日本留学を後押しすると思われる情報・サポート

2-3. 国内高等教育機関アンケート

国内高等教育機関へのアンケートでは、日本人学生の海外留学支援の取組について以下の内容の設問項目を作成した。

- 組織としての取組
- 学生の留学に対する意識の調査状況
- 留学情報の周知状況
- 留学前、留学中、留学後に行っているサポート

2-4. 海外高等教育機関アンケート

海外高等教育機関へのアンケートとしては、外国人学生の海外留学支援の取組について以下の内容の設問項目を作成した。

- 在籍学生の留学状況
- 在籍学生の日本への留学状況
- 在籍学生の日本留学に対する関心度
- 日本留学情報の周知状況
- 留学前、留学中、留学後に行っているサポート

3. 調査の概要

3-1. 日本人学生アンケート

調査時期	平成 27 年 3 月
調査方法	オンライン（ウェブ）によるアンケート
配布数	約 2,000 通
回収数（有効回答数）	960 件

3-2. 外国人学生アンケート

調査時期	平成 27 年 3 月
調査方法	オンライン（ウェブ）によるアンケート
配布数	約 7,000 通
回収数（有効回答数）	1,305 件

3-3. 国内高等教育機関アンケート

調査時期	平成 27 年 3 月
調査方法	オンライン（ウェブ）によるアンケート
配布数	約 300 通
回収数（有効回答数）	50 件

3-4. 海外高等教育機関アンケート

調査時期	平成 27 年 3 月
調査方法	オンライン（ウェブ）によるアンケート
配布数	約 300 通
回収数（有効回答数）	57 件

第2章 ヒアリング調査の実施

1. 日本人学生ヒアリング

(1) 日本人学生のヒアリング対象者はアンケート調査への回答に参加し、かつヒアリングを受けても良い旨の意思表示があった者 20 名に対し、電話及び対面でのヒアリングを行った。ヒアリングの時間は 1 名あたり約 20～30 分であった。

(2) ヒアリング内容

ヒアリング内容は、調査回答結果に基づき、以下の内容の詳細を確認した。

- 留学を考えたきっかけ
- 留学先を選ぶ際に検討した項目
- 留学を計画する上で直面した困難
- 留学情報の取得方法
- 留学に興味が無い理由
- 留学を進める上で望ましい情報・サポート

2. 外国人学生ヒアリング

(1) 対象者の選定

外国人学生のヒアリング対象者はアンケート調査への回答に参加し、かつヒアリングを受けても良い旨の意思表示があった者 25 名に対し、電話でのヒアリングを行った。25 名のうち 11 名は日本語学校に在籍中の留学生であり、14 名は海外に在住している外国人学生である。ヒアリングの時間は 1 名あたり約 20～30 分であった。

(2) ヒアリング内容

ヒアリング内容は、調査回答結果に基づき、以下の内容の詳細を確認した。

- 留学を考えたきっかけ
- 上記のきっかけに触れた時期
- 日本を留学先として選ばなかった理由
- 短期の留学経験や海外研修経験の有無
- 日本留学を検討しなかった理由
- 日本留学を前向きに考えるには何が必要か
- 日本以外に留学したかった国はどこか
- 上記の理由

3. 国内高等教育機関ヒアリング

(1) 対象校の選定

ヒアリング調査対象校はアンケート調査への回答に参加し、かつヒアリングを受けても良

い旨の意思表示があった機関 9 機関（全て大学）に対し、電話でのヒアリングを行った。
ヒアリングの時間は 1 機関あたり約 20～30 分であった。

（2）ヒアリング内容

ヒアリング内容は、調査回答結果に基づき、以下の内容の詳細を確認した。

- 学生の留学阻害要因
- 学生への留学情報周知状況
- 学生の留学を促進するためのサポート実施体制
- 学校が感じている留学促進に関する課題

4. 海外高等教育機関ヒアリング

（1）対象校の選定

ヒアリング調査対象校は、3 月末に北京にて行われた APAIE(Asia Pacific Association for International Education.)の年次総会会場において、事前にアンケート調査協力の上承が得られた 6 機関（全て大学）に対して対面にて行った。ヒアリングの時間は 1 機関あたり約 20～30 分であった。

（2）ヒアリング内容

ヒアリング内容は、調査票の質問内容に基づき、以下の内容の詳細を確認した。

- 学生の日本留学に対する関心
- 学生が日本留学に関心がある、あるいは関心が無い理由・背景
- 日本留学を促進するために、日本の大学がどのような対応が必要か

第3章 調査結果の集計

第3章 調査結果の集計

1. 日本人学生アンケート

1-1. 回答者属性

表 3-1- 1：性別、年齢別の構成

セグメント	性別	18歳未満	18～22	23～27	28歳以上	総計	割合
留学経験者/留学中の学生	女性	4	156	36	5	201	21%
	男性	1	117	40	8	166	17%
小計		5	273	76	13	367	38%
具体的留学予定がある学生	女性	2	34	1	0	37	4%
	男性	0	30	8	0	38	4%
小計		2	64	9	0	75	8%
具体的留学予定がない学生	女性	4	111	12	1	128	13%
	男性	2	165	41	0	208	22%
小計		6	276	53	1	336	35%
過去に留学を断念してしまった学生	女性	1	24	1	0	26	3%
	男性	0	29	8	0	37	4%
小計		1	53	9	0	63	7%
留学に興味が無い学生	女性	1	39	1	0	41	4%
	男性	1	64	11	2	78	8%
小計		2	103	12	2	119	12%
総計		16	769	159	16	960	100%
割合		2%	80%	17%	2%	100%	

第3章 調査結果の集計

1. 日本人学生アンケート

表 3-1-2 : 学年別の構成

セグメント	学校区分	学年							総計	割合
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他		
留学経験者/ 留学中の学生	インターナショナルスクール	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	高校	1	4	5	0	0	0	2	12	1.3%
	高等専門学校	0	1	0	1	1	0	0	3	0.3%
	短期大学	0	3	0	0	0	0	0	3	0.3%
	大学	15	47	127	105	9	1	2	306	31.9%
	大学院（修士）	22	11	0	0	0	0	0	33	3.4%
	大学院（博士）	3	1	2	0	0	0	0	6	0.6%
	その他	1	0	0	0	0	0	2	3	0.3%
小計		42	67	135	106	10	1	6	367	38.2%
具体的留学 予定がある学生	高校	0	1	9	0	0	0	2	12	1.3%
	大学	8	19	20	5	1	0	0	53	5.5%
	大学院（修士）	5	2	0	0	0	0	0	7	0.7%
	大学院（博士）	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%
	その他	0	0	1	0	0	0	1	2	0.2%
小計		13	22	30	5	1	0	4	75	7.8%
具体的留学 予定がない学生	高校	0	2	8	0	0	0	0	10	1.0%
	専修学校	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	高等専門学校	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2%
	短期大学	1	1	0	0	0	0	0	2	0.2%
	大学	33	55	96	87	8	4	1	284	29.6%
	大学院（修士）	14	13	1	1	0	0	1	30	3.1%
	大学院（博士）	4	0	1	0	0	0	0	5	0.5%
	その他	0	0	0	0	0	0	2	2	0.2%
小計		52	72	108	88	8	4	4	336	35.0%
過去に 留学を断念 してしまった 学生	高校	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	専修学校	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学	4	8	20	19	1	1	2	55	5.7%
	大学院（修士）	3	1	0	0	0	0	0	4	0.4%
	大学院（博士）	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%
	その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
小計		7	12	20	19	1	1	3	63	6.6%
留学に興味 が無い学生	高校	1	0	2	0	0	0	0	3	0.3%
	専修学校	0	2	1	0	0	0	0	3	0.3%
	大学	7	15	40	36	3	0	1	102	10.6%
	大学院（修士）	6	3	0	0	0	0	0	9	0.9%
	大学院（博士）	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%
	その他	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
小計		14	20	44	36	3	0	2	119	12.4%
総計		128	193	337	254	23	6	19	960	100.0%
割合		13%	20%	35%	26%	2%	1%	2%	100%	

表 3-1-3：学校区分別、学校設立形態（国立、公立、私立）別の構成

セグメント	学校区分	国立	公立	私立	総計	割合
留学経験者/ 留学中の学生	インターナショナルスクール	0	0	1	1	0.1%
	高校	2	1	9	12	1.3%
	高等専門学校	2	0	1	3	0.3%
	短期大学	0	1	2	3	0.3%
	大学	92	40	174	306	31.9%
	大学院（修士）	16	3	14	33	3.4%
	大学院（博士）	4	0	2	6	0.6%
	その他	0	0	3	3	0.3%
小計		116	45	206	367	38.2%
具体的留学 予定がある学生		1	0	11	12	1.3%
	大学	13	3	37	53	5.5%
	大学院（修士）	6	1	0	7	0.7%
	大学院（博士）	1	0	0	1	0.1%
	その他	0	1	1	2	0.2%
小計		21	5	49	75	7.8%
具体的留学 予定がない学生	高校	0	4	6	10	1.0%
	専修学校	0	0	1	1	0.1%
	高等専門学校	0	2	0	2	0.2%
	短期大学	0	0	2	2	0.2%
	大学	139	15	130	284	29.6%
	大学院（修士）	25	1	4	30	3.1%
	大学院（博士）	5	0	0	5	0.5%
	その他	1	0	1	2	0.2%
小計		170	22	144	336	35.0%
過去に 留学を断念 してしまった 学生	高校	0	1	0	1	0.1%
	専修学校	0	0	1	1	0.1%
	大学	15	6	34	55	5.7%
	大学院（修士）	4	0	0	4	0.4%
	大学院（博士）	1	0	0	1	0.1%
	その他	0	0	1	1	0.1%
小計		20	7	36	63	6.6%
留学に興味 が無い学生	高校	0	0	3	3	0.3%
	専修学校	0	0	3	3	0.3%
	大学	39	8	55	102	10.6%
	大学院（修士）	5	0	4	9	0.9%
	大学院（博士）	1	0	0	1	0.1%
	その他	0	0	1	1	0.1%
小計		45	8	66	119	12.4%
総計		372	87	501	960	100%
割合		39%	9%	52%	100%	

第3章 調査結果の集計
1. 日本人学生アンケート

表 3-1-4：学校区分別（大学・大学院のみ）、専攻別の構成

セグメント	学校区分	文系学部	理系学部	文理融合学部	芸術系学部	大学生 大学院生 以外	その他	総計	割合
留学経験者/留学中の学生	大学	235	41	14	2	5	9	306	34.1%
	大学院（修士）	17	13	1	1	1	0	33	3.7%
	大学院（博士）	5	1	0	0	0	0	6	0.7%
小計		257	55	15	3	6	9	345	38.5%
具体的留学予定がある学生	大学	41	4	2	0	5	1	53	5.9%
	大学院（修士）	0	5	2	0	0	0	7	0.8%
	大学院（博士）	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
小計		41	10	4	0	5	1	61	6.8%
具体的留学予定がない学生	大学	163	85	21	3	2	10	284	31.7%
	大学院（修士）	10	17	2	0	1	0	30	3.3%
	大学院（博士）	1	4	0	0	0	0	5	0.6%
小計		174	106	23	3	3	10	319	35.6%
過去に留学を 断念してしまった学生	大学	39	6	7	1	2	0	55	6.1%
	大学院（修士）	1	1	1	0	1	0	4	0.4%
	大学院（博士）	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
小計		41	7	8	1	3	0	60	6.7%
留学に興味が無い学生	大学	57	27	9	2	4	3	102	11.4%
	大学院（修士）	2	7	0	0	0	0	9	1.0%
	大学院（博士）	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
小計		59	35	9	2	4	3	112	12.5%
総計		572	213	59	9	21	23	897	100.0%
割合		64%	24%	7%	1%	2%	3%	100%	

表 3-1- 5 : 学校区分別、学校所在地別の構成

セグメント	学校区分	東京都	京都府	神奈川県	大阪府	北海道	その他	日本国外	総計	割合
留学経験者/ 留学中の学生	インターナショナル スクール	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1%
	高校	3	2	3	1	0	3	0	12	1.3%
	高等専門学校	0	0	0	0	0	3	0	3	0.3%
	短期大学	0	0	2	0	0	0	1	3	0.3%
	大学	160	14	12	10	9	46	55	306	31.9%
	大学院（修士）	13	4	1	2	1	4	8	33	3.4%
	大学院（博士）	2	0	1	0	0	1	2	6	0.6%
	その他	2	0	0	0	0	1	0	3	0.3%
小計		180	20	19	14	10	58	66	367	38.2%
具体的留学 予定がある学生	高校	6	1	2	1	0	2	0	12	1.3%
	大学	38	2	3	3	1	6	0	53	5.5%
	大学院（修士）	6	0	0	1	0	0	0	7	0.7%
	大学院（博士）	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	その他	0	0	0	1	0	0	1	2	0.2%
小計		51	3	5	6	1	8	1	75	7.8%
具体的留学 予定がない学生	高校	5	1	0	0	0	4	0	10	1.0%
	専修学校	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	高等専門学校	0	0	0	1	0	1	0	2	0.2%
	短期大学	0	0	0	0	0	2	0	2	0.2%
	大学	158	21	9	13	17	62	4	284	29.6%
	大学院（修士）	16	1	1	3	1	8	0	30	3.1%
	大学院（博士）	2	0	0	0	0	3	0	5	0.5%
	その他	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2%
小計		182	24	11	17	18	80	4	336	35.0%
過去に 留学を断念 してしまった 学生	高校	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	専修学校	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学	25	2	6	5	1	16	0	55	5.7%
	大学院（修士）	3	1	0	0	0	0	0	4	0.4%
	大学院（博士）	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1%
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
小計		30	3	7	5	1	17	0	63	6.6%
留学に興味が 無い学生	高校	1	0	1	0	0	1	0	3	0.3%
	専修学校	3	0	0	0	0	0	0	3	0.3%
	大学	53	7	10	5	3	24	0	102	10.6%
	大学院（修士）	8	0	1	0	0	0	0	9	0.9%
	大学院（博士）	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
小計		67	7	12	5	3	25	0	119	12.4%
合計		510	57	54	47	33	188	71	960	100.0%
割合		53%	6%	6%	5%	3%	20%	7%	100%	

第3章 調査結果の集計
1. 日本人学生アンケート

表 3-1-6：留学先国別の構成

留学先国	留学経験者 留学中の学生	具体的留学予定 がある学生	具体的留学予定 がない学生	過去に留学を断 念してしまった 学生	総計	割合
アメリカ	154	34	161	20	369	43.9%
イギリス	42	11	45	16	114	13.6%
カナダ	28	10	17	5	60	7.1%
オーストラリア	18	2	12	3	35	4.2%
フランス	10	0	8	4	22	2.6%
台湾	17	0	4	0	21	2.5%
ドイツ	7	2	9	3	21	2.5%
フィリピン	6	2	5	1	14	1.7%
シンガポール	8	2	3	0	13	1.5%
スイス	1	2	8	0	11	1.3%
フィンランド	5	0	5	0	10	1.2%
中国	4	1	1	2	8	1.0%
タイ	3	0	4	0	7	0.8%
アイルランド	3	0	4	0	7	0.8%
ニュージーランド	5	0	1	1	7	0.8%
スペイン	2	1	3	1	7	0.8%
スウェーデン	2	0	4	1	7	0.8%
韓国	5	0	1	0	6	0.7%
オーストリア	2	1	3	0	6	0.7%
インド	1	0	5	0	6	0.7%
その他	44	7	33	6	90	10.7%
総計	367	75	336	63	841	100.0%
割合	44%	9%	40%	7%	100%	

1-2. 留学のきっかけ

各セグメントの留学のきっかけに関する項目の集計結果は以下の表 3-1-7 の通りである。

表 3-1-7：留学のきっかけに関連する項目のサマリ

セグメント		N	質問事項				
			旅行・居住 経験がある 割合	周囲に留 学経験者 がいる割 合	きっかけ (平均値 が最も高 いもの)	きっかけ に触れた 時期(最も 割合が高 い時期)	留学先言 語を学習 した経験 がある学 生の割合
留学した 学生	留学経験者/留 学中の学生	367	98%	96%	外国語 学習	中学以前 37%	93%
留学して いない学 生	具体的な留学 予定が有る学 生	75	88%	100%	外国語 学習	大学 (学部) 41%	96%
	具体的な留学 予定が無い学 生	336	79%	94%	外国語 学習	大学 (学部) 50%	84%
	留学を断念し てしまった学 生	63	79%	98%	外国語 学習	高校 44%	78%
	留学に興味 が無い学生	119	71%	92%	N/A	N/A	N/A

以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

①旅行・居住経験:「これまで海外に旅行もしくは居住した経験がありますか？(複数選択)」

表 3-1-8 : 旅行・居住経験

セグメント	旅行したことがある	居住したことがある	経験は無い	経験が有る※
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	77%	61%	2%	98%
具体的な留学予定が有る 学生 (N=75)	84%	23%	12%	88%
上記 2 セグメントをまと めたグループ(N=442)	78%	54%	3%	97%
具体的な留学予定が無い 学生 (N=336)	74%	13%	21%	79%
留学を断念してしまった 学生 (N=63)	78%	5%	21%	79%
上記 2 セグメントをまと めたグループ(N=399)	75%	12%	21%	79%
留学に興味が無い学生 (N=119)	68%	7%	29%	71%

※「経験が有る」は 100% - 経験は無い、として算出した。

留学経験者/留学中の学生、具体的な留学予定が有る学生の場合、海外への旅行・居住経験がある割合が高く（グループとしては 97%）、これらの経験が留学を検討するきっかけの一つとなっていると考えられる。

②周囲の留学経験者の存在:「あなたの身の回りに、留学経験者はいましたか？(複数選択)」

表 3-1-9：周囲の留学経験者の存在

セグメント	家族・親戚 にいる	友人・先輩・ 後輩にいる	学校教員等 にいる	いない	いる※
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	43%	87%	39%	4%	96%
具体的な留学予定が有る 学生 (N=75)	36%	91%	43%	0%	100%
上記2セグメントをまとめ たグループ(N=442)	41%	88%	40%	3%	97%
具体的な留学予定が無い 学生 (N=336)	29%	89%	32%	4%	94%
留学を断念してしまった 学生 (N=63)	19%	94%	24%	2%	98%
上記2セグメントをまとめ たグループ(N=399)	28%	90%	31%	4%	96%
学に興味が無い学生 (N=119)	19%	82%	17%	8%	92%

※「いる」は100% - いない、として算出した。

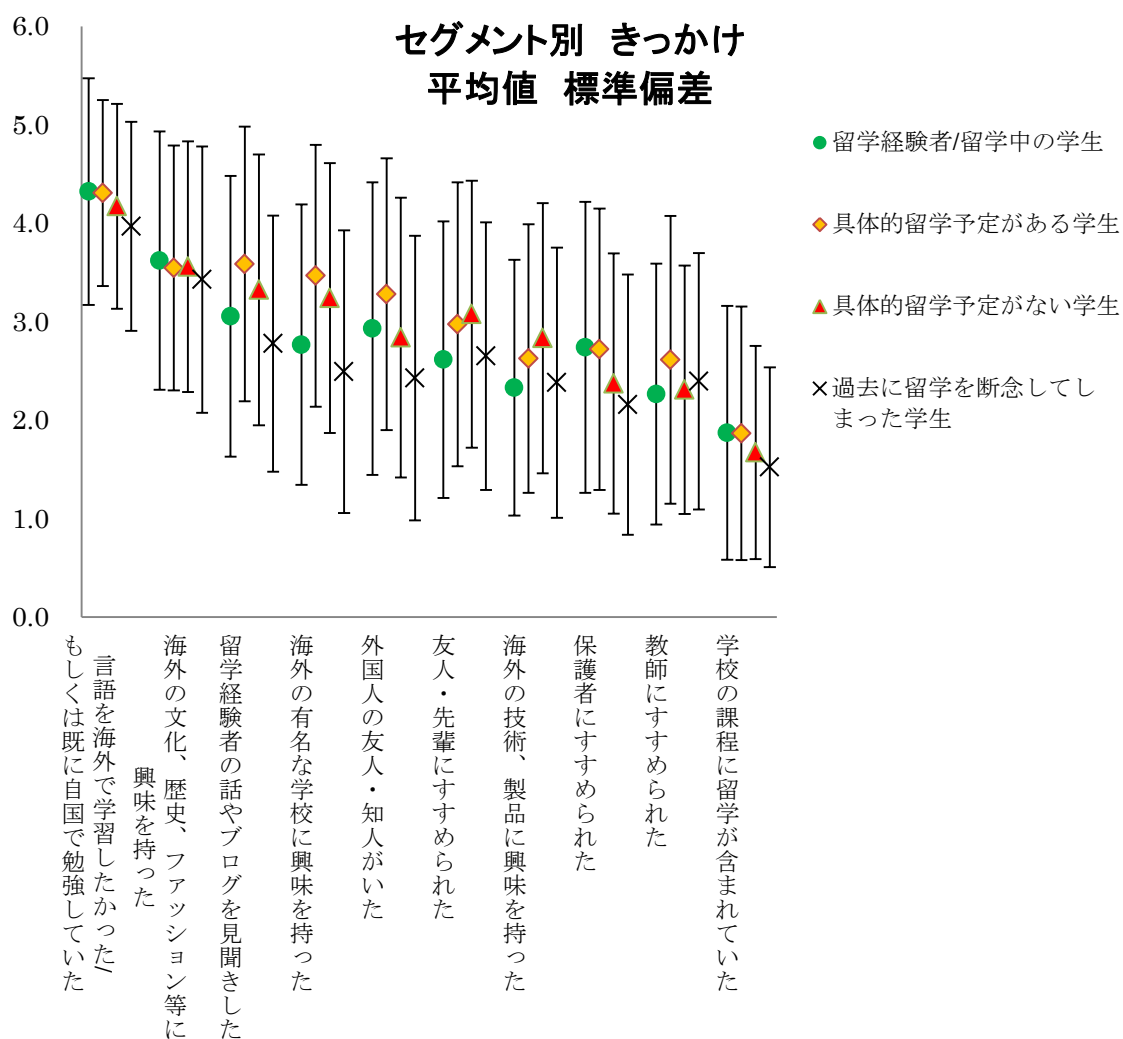
「留学経験者/留学中の学生」、「具体的な留学予定が有る学生」のグループの場合では、家族・親戚や学校教員が留学経験者である割合が4割程度であり、「留学を断念してしまった学生」、「留学に興味が無い学生」のグループと比較すると約1割程度高くなっている。

③留学のきっかけ：「最初に留学することに興味を持ったきっかけは何ですか？（1＝全くあてはまらない、5＝非常に当てはまる、の5段階評価）」

表 3-1- 10：セグメント別 留学のきっかけ（5段階評価の平均値）

項目	留学経験者/ 留学中の学生	具体的留学予 定がある学生	具体的留学予 定がない学生	過去に留学を 断念してしま った学生
言語を海外で学習したかった/ もしくは既に自国で勉強していた	4.3	4.3	4.2	4.0
海外の文化、歴史、ファッション等 に興味を持った	3.6	3.5	3.6	3.4
留学経験者の話やブログを見聞き した	3.1	3.6	3.3	2.8
海外の有名な学校に興味を持った	2.8	3.5	3.2	2.5
外国人の友人・知人がいた	2.9	3.3	2.8	2.4
友人・先輩にすすめられた	2.6	3.0	3.1	2.7
海外の技術、製品に興味を持った	2.3	2.6	2.8	2.4
保護者にすすめられた	2.7	2.7	2.4	2.2
教師にすすめられた	2.3	2.6	2.3	2.4
学校の課程に留学が含まれていた	1.9	1.9	1.7	1.5

図 3-1- 1: セグメント別 きっかけ（平均値、標準偏差）



ここでは、回答の平均値で各セグメントを比較した。各セグメントともに、外国語学習がきっかけとして最も多く、次いで海外の文化、歴史ファッション等への興味という回答であった。また、標準偏差の大きさからは、全てのセグメントで特定の回答に集中している項目は無かったと考えられる。

④きっかけに触れた時期：「最も影響を受けたきっかけに触れた時期はいつですか？」
ここでは、各セグメントの大学生以上（大学学部生、大学院生）がいつ頃、留学のきっかけに触れたかを分析するために、各セグメントの大学生以上を抽出して集計を行った。

表 3-1- 11：きっかけに触れた時期

セグメント	中学 以前	高校	短大/ 高等専 門学校 /専修 学校	大学 (学 部)	大学院	その他	合計
留学経験者/留学中の学生 (N=345)	36%	30%	1%	30%	0%	2%	100%
具体的な留学予定が有る 学生 (N=61)	13%	31%	2%	49%	3%	2%	100%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=406)	33%	30%	1%	33%	1%	2%	100%
具体的な留学予定が無い 学生 (N=319)	13%	29%	2%	53%	3%	0%	100%
留学を断念してしまった 学生 (N=60)	12%	42%	0%	45%	0%	2%	100%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=379)	13%	31%	1%	51%	2%	1%	100%

留学のきっかけに触れた時期としては、「留学経験者/留学中」と「具体的な留学予定が有る」学生のグループの場合、「中学以前」という回答が約 3 割あり、もう一方のグループ（中学以前は 1 割程度）と比較して早期にきっかけに触れていることがうかがえる。

上記の回答で、「中学以前」と回答している学生が、早期（高校以前）に留学したために、このように回答しているのか否かを判別するため、上記の回答者から留学時期が高校卒業以降のケース（短大、高等専門学校、専修学校、大学、大学院）のみ抽出した結果を以下の表 3-1-12 に示す。

表 3-1- 12：きっかけに触れた時期（高校卒業以降に留学した者を抽出し集計）

セグメント	中学 以前	高校	短大/ 高等専 門学校 /専修 学校	大学 (学 部)	大学院	その他	合計
留学経験者/留学中の学生 (N=230)	28%	31%	1%	38%	0%	2%	100%
具体的な留学予定が有る 学生 (N=56)	13%	32%	2%	50%	2%	2%	100%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=286)	25%	31%	1%	41%	1%	2%	100%
具体的な留学予定が無い 学生 (N=268)	12%	27%	2%	56%	3%	0%	100%
留学を断念してしまった 学生 (N=42)	10%	31%	0%	60%	0%	0%	100%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=310)	12%	27%	2%	57%	2%	0%	100%

留学時期を高校卒業以降と絞った場合でも、「留学経験者/留学中」および「具体的な留学予定が有る学生」のグループの約 3 割が中学以前にきっかけに触れていたことが確認できた。

さらに、きっかけに触れた時期（小学校以前、小学校在籍時、中学校在籍時、高校在籍時）別に影響が大きかったきっかけについて分析を行った。（表 3-1-13）

表 3-1- 13：きっかけに触れた時期別のきっかけ（5段階評価の平均値）

項目	小学校 以前 (N=18)	小学校 在籍時 (N=46)	中学校 在籍時 (N=85)	高校 在籍時 (N=136)	大学 在籍時 (N=135)
言語を海外で学習したかった/ もしくは既に自国で勉強していた	3.8	4.1	4.4	4.3	4.4
海外の文化、歴史、ファッション等に 興味を持った	3.7	3.9	3.7	3.6	3.5
留学経験者の話やブログを見聞きした	3.1	3.3	3.0	3.3	3.1
外国人の友人・知人がいた	3.6	3.6	2.7	3.2	2.7
海外の有名な学校に興味を持った	2.8	2.9	2.6	2.9	3.0
保護者にすすめられた	3.8	2.6	2.9	2.9	2.4
友人・先輩にすすめられた	3.5	2.4	2.3	2.8	2.9
海外の技術、製品に興味を持った	2.6	2.4	2.3	2.3	2.5
教師にすすめられた	2.6	1.9	2.1	2.5	2.4
学校の課程に留学が含まれていた	2.8	2.1	1.9	1.8	1.7

上記の結果より、きっかけに触れた時期によらず「外国語学習」（平均値 3.8～4.4）、「海外の歴史・文化・ファッション」（平均値 3.6～3.9）の影響が大きいということが明らかになった。時期別に差が見られた項目としては、小学校以前では「保護者にすすめられた」（平均値 3.8）、小学校在籍時では「外国人の友人・知人がいた」（平均値 3.6）、中学校在籍時から大学在籍時では「留学経験者の話やブログを見聞きした」（平均値 3.0～3.3）という結果が得られた。

⑤留学した時期あるいは留学したい時期：「直近の留学時期、これから留学したい時期、あるいは留学しなかった時期について教えてください。

以下の表 3-1-14 で示されるように、各セグメントともに、大学在籍時の 2～3 年に留学したあるいは留学を希望するケースが最も多いことが分かる。

表 3-1- 14：セグメント別 留学時期/留学希望時期

セグメント	留学時期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	総計	割合
留学経験者/ 留学中の学生	小学校在籍時	3	0	3	4	1	2	0	13	1.5%
	中学校在籍時	3	7	3	0	0	0	0	13	1.5%
	高校在籍時	29	42	14	1	1	0	2	89	10.6%
	短大在籍時	2	2	0	0	0	0	0	4	0.5%
	高等専門学校在籍時	1	1	1	1	0	0	0	4	0.5%
	専修学校在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	39	67	81	21	0	0	1	209	24.9%
	大学院在籍時	12	8	0	0	1	1	0	22	2.6%
	その他	2	1	2	0	0	0	7	12	1.4%
小計		91	129	104	27	3	3	10	367	43.6%
具体的留学 予定がある学生	中学校在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	高校在籍時	2	2	1	0	0	0	0	5	0.6%
	大学在籍時	13	11	25	7	0	0	2	58	6.9%
	大学院在籍時	5	2	0	0	0	0	2	9	1.1%
	その他	0	0	1	0	0	0	1	2	0.2%
小計		20	16	27	7	0	0	5	75	8.9%
具体的留学 予定がない学生	小学校在籍時	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	中学校在籍時	1	1	0	0	0	0	0	2	0.2%
	高校在籍時	10	24	6	0	0	0	0	40	4.8%
	短大在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	高等専門学校在籍時	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2%
	専修学校在籍時	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	31	74	63	33	5	1	2	209	24.9%
	大学院在籍時	37	17	6	0	3	0	3	66	7.8%
	その他	0	0	0	1	0	0	13	14	1.7%
小計		79	118	78	34	8	1	18	336	40.0%
過去に 留学を断念 してしまった 学生	中学校在籍時	1	1	0	0	0	0	0	2	0.2%
	高校在籍時	4	7	7	0	0	0	0	18	2.1%
	高等専門学校在籍時	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	10	16	10	2	1	0	0	39	4.6%
	大学院在籍時	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2%
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%
小計		16	25	18	2	1		1	63	7.5%
総計		206	288	227	70	12	4	34	841	100.0%
割合		24%	34%	27%	8%	1%	0%	4%	100%	

⑥留学期間：「直近あるいは、将来希望する留学期間（長さ）について教えてください。」

下記、表 3-1-15 で示されるように、「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループでは、1 年以上と 1 年未満がほぼ半々であり、「具体的留学予定が無い」および「過去に留学を断念した」学生のグループの場合は、1 年以上が約 3 割で 1 年未満が約 7 割となっている。

表 3-1- 15 : セグメント別 留学期間（長さ）

セグメント	1 ヶ月以下	1～3 ヶ月	3～6 ヶ月	6～12 ヶ月	1 年以上
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	3%	10%	7%	29%	51%
具体的留学予定がある学生 (N=75)	1%	12%	7%	32%	48%
上記 2 セグメントをまとめた グループ(N=442)	2%	10%	7%	30%	50%
具体的留学予定がない学生 (N=336)	9%	14%	17%	26%	35%
過去に留学を断念してしま った学生 (N=63)	16%	13%	19%	25%	27%
上記 2 セグメントをまとめた グループ(N=399)	10%	14%	17%	26%	33%

⑦留学目的：「直近あるいは、将来希望する留学の目的について教えてください。」

以下の表 3-1-16 で示されるように、全体としては学位取得目的が約 3 割、単位取得目的が約 2 割、それ以外が約 5 割という分布となっている。留学の内容としては、各セグメントともに「語学力向上」が最も多く、次いで「異文化体験・交流」という結果となっている。

表 3-1- 16 : セグメント別 留学目的

セグメント	留学時期	学位取得目的	単位取得目的	どちらも目的とはしていない	総計	割合
留学経験者/ 留学中の学生	異文化体験・交流	20	28	45	93	11.1%
	学歴・経歴の向上	23	6	6	35	4.2%
	語学力向上	21	29	62	112	13.3%
	専門性獲得	28	10	16	54	6.4%
	調査・研究	18	8	13	39	4.6%
	留学先国での就職	16	2	8	26	3.1%
	その他	5	1	2	8	1.0%
小計		131	84	152	367	43.6%
具体的留学 予定がある学生	異文化体験・交流	1	5	11	17	2.0%
	学歴・経歴の向上	4	0	2	6	0.7%
	語学力向上	3	10	8	21	2.5%
	専門性獲得	4	1	5	10	1.2%
	調査・研究	4	3	6	13	1.5%
	留学先国での就職	4	1	0	5	0.6%
	その他	1	0	2	3	0.4%
小計		21	20	34	75	8.9%
具体的留学 予定がない学生	異文化体験・交流	3	9	71	83	9.9%
	学歴・経歴の向上	12	5	4	21	2.5%
	語学力向上	16	18	74	108	12.8%
	専門性獲得	24	2	31	57	6.8%
	調査・研究	19	3	26	48	5.7%
	留学先国での就職	5	3	7	15	1.8%
	その他	1	0	3	4	0.5%
小計		80	40	216	336	40.0%
過去に 留学を断念 してしまった学生	異文化体験・交流	1	4	16	21	2.5%
	学歴・経歴の向上	0	2	3	5	0.6%
	語学力向上	0	2	18	20	2.4%
	専門性獲得	5	1	3	9	1.1%
	調査・研究	1	0	5	6	0.7%
	その他	0	0	2	2	0.2%
小計		7	9	47	63	7.5%
総計		239	153	449	841	100.0%
割合		28%	18%	53%	100%	

⑧留学形態：「直近あるいは、将来希望する留学の形態について教えてください。」

表 3-1- 17：留学形態

セグメント	高校	高校交換留学	大学（学部）	大学（学部）交換留学	大学院	大学院交換留学	語学学校	海外インターン	海外ボランティア	その他
留学経験者/留学中の学生（N=367）	2%	2%	20%	22%	21%	5%	7%	14%	4%	2%
具体的留学予定がある学生（N=75）	1%	1%	31%	29%	16%	4%	5%	8%	0%	4%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=442)	2%	2%	22%	24%	20%	5%	7%	13%	3%	2%
具体的留学予定がない学生（N=336）	0%	1%	21%	19%	23%	8%	8%	14%	4%	2%
過去に留学を断念してしまった学生（N=63）	0%	0%	25%	25%	10%	2%	13%	16%	5%	5%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=399)	0%	1%	22%	20%	21%	7%	9%	14%	4%	3%

上記の表 3-1-17 より、両グループ共に大学（学部）への正規留学、大学（学部）への交換留学、大学院への正規留学がそれぞれ約 20%ずつを占めていることがうかがえる。次いで、海外インターンが 14%前後を占めているという結果になっている。

⑨留学先の言語の学習履歴：「留学前に留学先国/留学希望国の言語を学習していましたか？
（複数選択）」

表 3-1- 18：留学先の言語の学習履歴

セグメント	学校の 授業の中 で学習	学外の 教育機関 等で学習	独学で 学習	学習して いない	学習した※
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	71%	26%	40%	7%	93%
具体的な留学予定が有る 学生 (N=75)	80%	33%	53%	4%	96%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=442)	73%	27%	42%	6%	94%
具体的な留学予定が無い 学生 (N=336)	69%	16%	34%	16%	84%
留学を断念してしまった 学生 (N=63)	73%	10%	27%	22%	78%
上記 2 セグメントをまとめ たグループ(N=399)	70%	15%	33%	17%	83%

※「学習した」は 100% - 学習していない、として算出した。

「留学経験者/留学中の学生」および「具体的な留学予定が有る学生」のセグメントでは、留学前に留学先国の言語を学習したことがある割合は、それぞれ 93%, 96%であり、「具体的な留学予定が無い学生」および「留学を断念してしまった学生」に比べ、言語を事前に学習していた割合が高いことがうかがえる。

さらに、ここでは学生の留学先によって言語の学習履歴にどのような差異があるのかを分析するため、留学先が英語圏の国々かそれ以外かでの集計を行った。

表 3-1- 19 : 留学先の言語の学習履歴（留学先エリア別）

セグメント	留学先 エリア	学校の授 業の中で 学習	学外の教 育機関等 で学習	独学で 学習	学習して いない	学習し た※
留学経験者/留学中の学 生 (N=367)	英語圏 (N=265)	73%	30%	42%	5%	95%
	それ以外 (N=102)	67%	16%	35%	12%	88%
具体的留学予定がある 学生 (N=75)	英語圏 (N=61)	85%	38%	54%	2%	98%
	それ以外 (N=14)	57%	14%	50%	14%	86%
具体的留学予定がない 学生 (N=336)	英語圏 (N=249)	78%	18%	37%	8%	92%
	それ以外 (N=87)	44%	10%	24%	40%	60%
過去に留学を断念して しまった学生 (N=63)	英語圏 (N=46)	83%	13%	30%	13%	87%
	それ以外 (N=17)	47%	0%	18%	47%	53%

※「学習した」は 100% - 学習していない、として算出した。

上記の結果から、英語圏以外の国に留学する学生の方が、言語を学習していない割合が高く、このことは言語習得を目的と考えており留学先で言語の学習を考えている学生が多いため、という背景によるものではないかと推察される。

1-3. 留学に関する意思決定プロセス

各セグメントの留学に関する意思決定プロセスに関する項目の集計結果は以下の表 3-1-20 の通りである。

表 3-1- 20：意思決定プロセスに関する項目のサマリ

セグメント		N	質問事項				
			重要度（平均値が最も高いもの）	情報充実度（平均値が最も高いもの）	満足度（平均値が最も高いもの）	情報収集方法（最も役に立ったと考える情報源）	留学費用を留学前に把握していた割合
留学した学生	留学経験者/留学中の学生	367	カリキュラム内容の魅力	受験料・学費	居住環境	留学経験者	70%
留学していない学生	具体的な留学予定が有る学生	75	カリキュラム内容の魅力	受験料・学費	居住環境	留学経験者	80%
	具体的な留学予定が無い学生	336	カリキュラム内容の魅力	受験料・学費	居住環境	留学情報が掲載されている Web ページ	37%
	留学を断念してしまった学生	63	カリキュラム内容の魅力	受験料・学費	居住環境	留学情報が掲載されている Web ページ	46%
	留学に興味が無い学生	119	N/A	N/A	N/A	N/A	23%

以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

①留学先を決定する上で重視する項目：「留学先を決定した理由について、以下の項目がどの程度影響があったか（重要か）を5段階で評価して下さい。（1＝全く重要でない、5＝非常に重要、の5段階評価）」

図 3-1-2: セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）

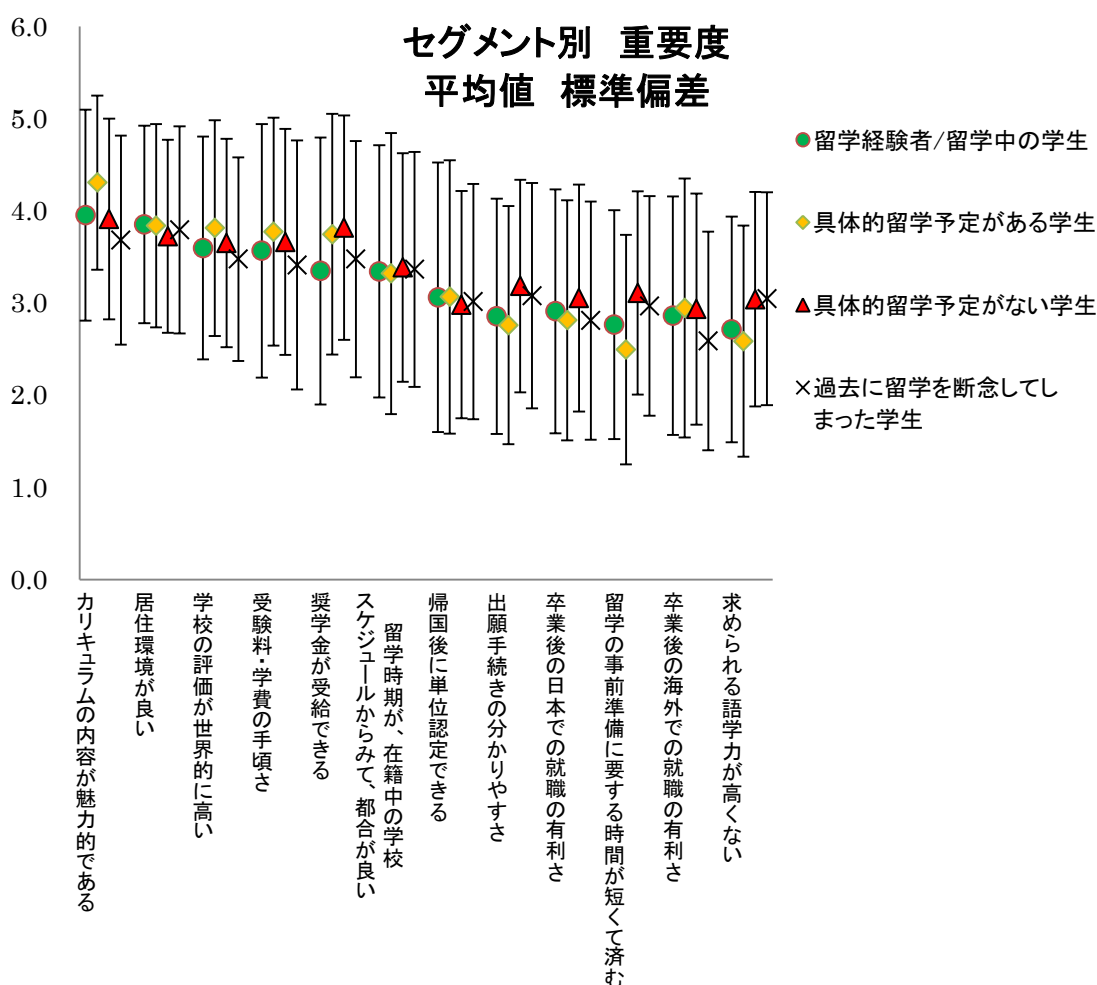


表 3-1-21: セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）

項目	重要度 平均				重要度 標準偏差			
	留学経験者/留学中の学生	具体的留学予定がある学生	具体的留学予定がない学生	過去に留学を断念してしまった学生	留学経験者/留学中の学生	具体的留学予定がある学生	具体的留学予定がない学生	過去に留学を断念してしまった学生
カリキュラムの内容が魅力的である	4.0	4.3	3.9	3.7	1.1	0.9	1.1	1.1
居住環境が良い	3.9	3.8	3.7	3.8	1.1	1.1	1.0	1.1
学校の評価が世界的に高い	3.6	3.8	3.7	3.5	1.2	1.2	1.1	1.1
受験料・学費の手頃さ	3.6	3.8	3.7	3.4	1.4	1.2	1.2	1.4
奨学金が受給できる	3.3	3.7	3.8	3.5	1.4	1.3	1.2	1.3
留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い	3.4	3.3	3.4	3.4	1.4	1.5	1.2	1.3
帰国後に単位認定できる	3.1	3.1	3.0	3.0	1.5	1.5	1.2	1.3
出願手続きの分かりやすさ	2.9	2.8	3.2	3.1	1.3	1.3	1.2	1.2
卒業後の日本での就職の有利さ	2.9	2.8	3.1	2.8	1.3	1.3	1.2	1.3
留学の事前準備に要する時間が短くて済む	2.8	2.5	3.1	3.0	1.2	1.2	1.1	1.2
卒業後の海外での就職の有利さ	2.9	2.9	2.9	2.6	1.3	1.4	1.3	1.2
求められる語学力が高くない	2.7	2.6	3.0	3.0	1.2	1.3	1.2	1.2

上記の表 3-1-21 の平均値を「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループと、「具体的留学予定が無い」および「過去に留学を断念してしまった」学生のグループとでまとめたものを以下の表 3-1-22 に示す。

表 3-1-22：グループ別 重要度（平均値、標準偏差）

重要度（平均値）	留学経験者＋ 具体的予定あり	具体的予定無し＋ 留学断念
カリキュラムの内容が魅力的である	4.0	3.9
居住環境が良い	3.9	3.7
学校の評価が世界的に高い	3.6	3.6
受験料・学費の手頃さ	3.6	3.6
奨学金が受給できる	3.4	3.8
留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い	3.3	3.4
帰国後に単位認定できる	3.1	3.0
出願手続きの分かりやすさ	2.8	3.2
卒業後の日本での就職の有利さ	2.9	3.0
留学の事前準備に要する時間が短くて済む	2.7	3.1
卒業後の海外での就職の有利さ	2.9	2.9
求められる語学力が高くない	2.7	3.0

ここでは、平均値で各セグメントを比較した。各セグメントともに「カリキュラムの内容」、「居住環境」の 2 点が最も重視される項目として選ばれており、学生の置かれている状況を問わず、これらの 2 点が留学先を検討する上で重要であることが推察される。

さらに、重要度については、留学期間の長さがどのように影響するかを分析するため、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的な留学予定が有る学生」のセグメントを合わせたグループで留学期間別の重要度の平均値を比較した。

図 3-1- 3: 留学期間別 重要度 (平均値、標準偏差)

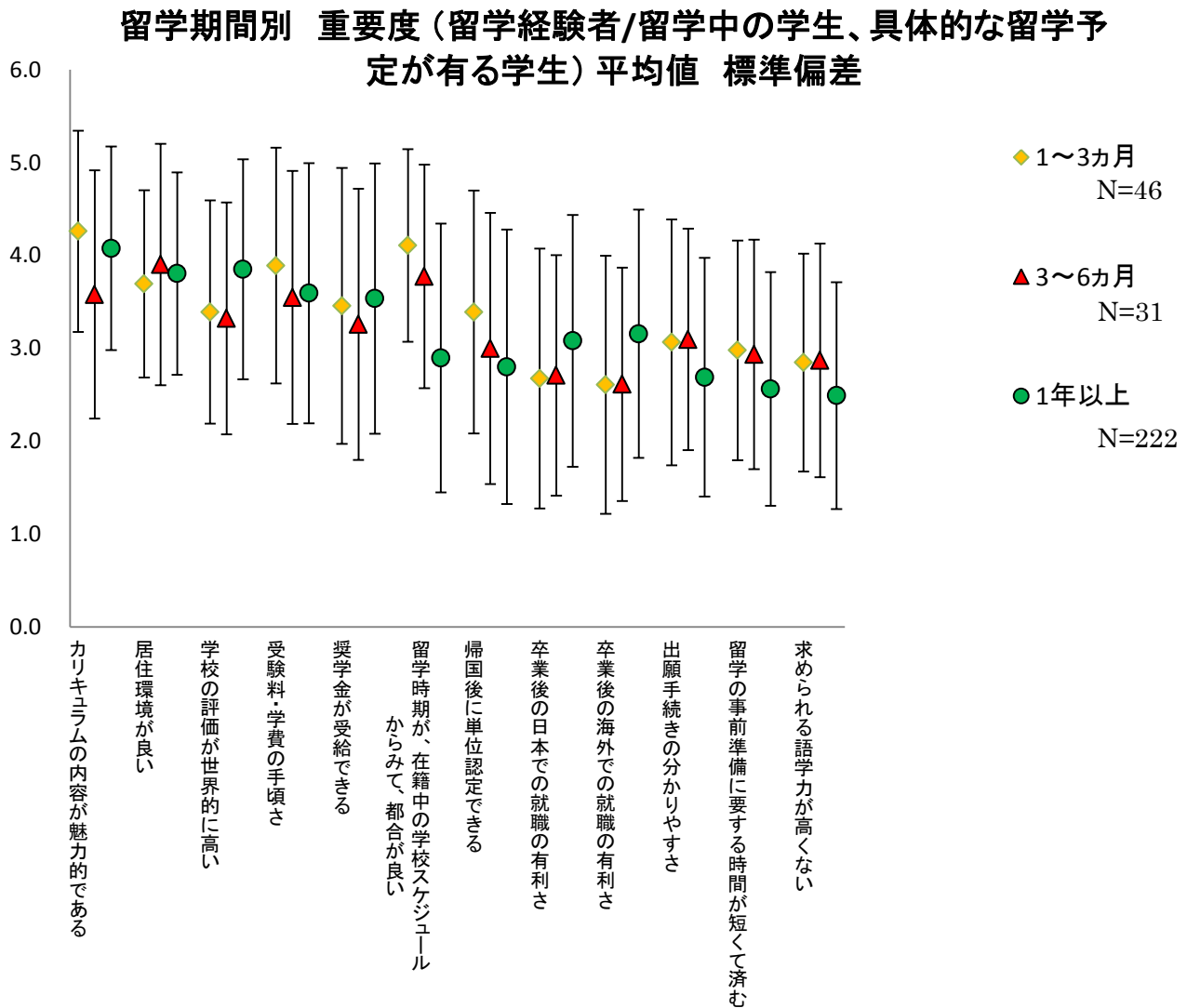


表 3-1- 23 : 留学期間別 重要度 (平均値)

項目	重要度 平均		
	1～3ヵ月	3～6ヵ月	1年以上
カリキュラムの内容が魅力的である	4.3	3.6	4.1
居住環境が良い	3.7	3.9	3.8
学校の評価が世界的に高い	3.4	3.3	3.9
受験料・学費の手頃さ	3.9	3.5	3.6
奨学金が受給できる	3.5	3.3	3.5
留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い	4.1	3.8	2.9
帰国後に単位認定できる	3.4	3.0	2.8
卒業後の日本での就職の有利さ	2.7	2.7	3.1
卒業後の海外での就職の有利さ	2.6	2.6	3.2
出願手続きの分かりやすさ	3.1	3.1	2.7
留学の事前準備に要する時間が短くて済む	3.0	2.9	2.6
求められる語学力が高くない	2.8	2.9	2.5

この結果から、留学期間の長さに関わらず「カリキュラム内容の魅力」は重視される項目の上位 3 位内に位置していることがわかる。一方で留学期間の長さが 1～3 ヶ月、3～6 ヶ月の場合は「留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い」が高く重視されているが、留学期間の長さが 1 年以上の場合では「学校の評価が世界的に高い」が高く重視されており、留学期間の長さによって重視する項目に差異が認められる。

さらに重要度については、留学目的（単位取得、学位取得、それ以外）による差異の有無を分析するため、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的な留学予定が有る学生」のセグメントを合わせたグループで留学目的別の重要度の平均値を比較した。

図 3-1- 4: 留学目的別 重要度（平均値、標準偏差）

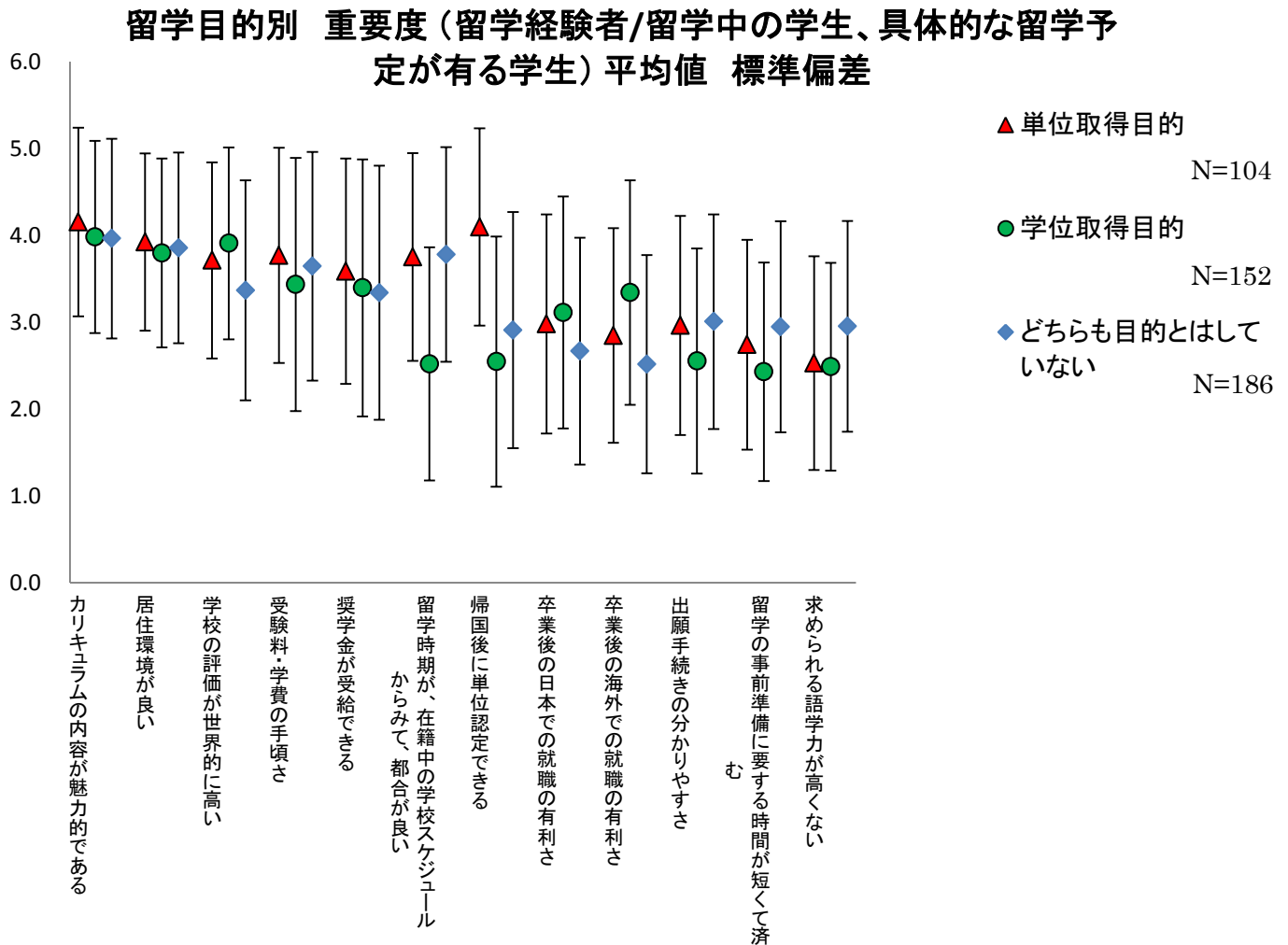


表 3-1- 24 : 留学目的別 重要度 (平均値)

項目	重要度 平均		
	単位取得目的	学位取得目的	どちらも目的とはしていない
カリキュラムの内容が魅力的である	4.2	4.0	4.0
居住環境が良い	3.9	3.8	3.9
学校の評価が世界的に高い	3.7	3.9	3.3
受験料・学費の手頃さ	3.7	3.4	3.7
奨学金が受給できる	3.5	3.4	3.4
留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い	3.7	2.5	3.8
帰国後に単位認定できる	4.1	2.5	2.9
卒業後の海外での就職の有利さ	2.9	3.3	2.5
卒業後の日本での就職の有利さ	3.0	3.1	2.7
出願手続きの分かりやすさ	2.9	2.6	3.0
留学の事前準備に要する時間が短くて済む	2.7	2.4	3.0
求められる語学力が高くない	2.5	2.5	2.9

上記の結果より、目的によらず「カリキュラム内容の魅力」、「居住環境」については重視される項目の上位 3 位以内として回答されていることが分かる。単位取得目的のグループでは、「帰国後に単位認定できる」が当然ながら重視されているが、学位取得目的のグループでは「学校の評価が世界的に高い」ことが重視されており、学位取得目的の場合は留学先の学校の評価が学生の意思決定に及ぼす影響が大きいことが推察される。

②重視する項目の情報充実度：「重視する項目それぞれについて、情報が十分に得られたかどうかを教えてください。(1 = 全く情報が無かった、5 = 十分な情報が有った、の5段階評価)」

図 3-1- 5: セグメント別 情報充実度 (平均値、標準偏差)

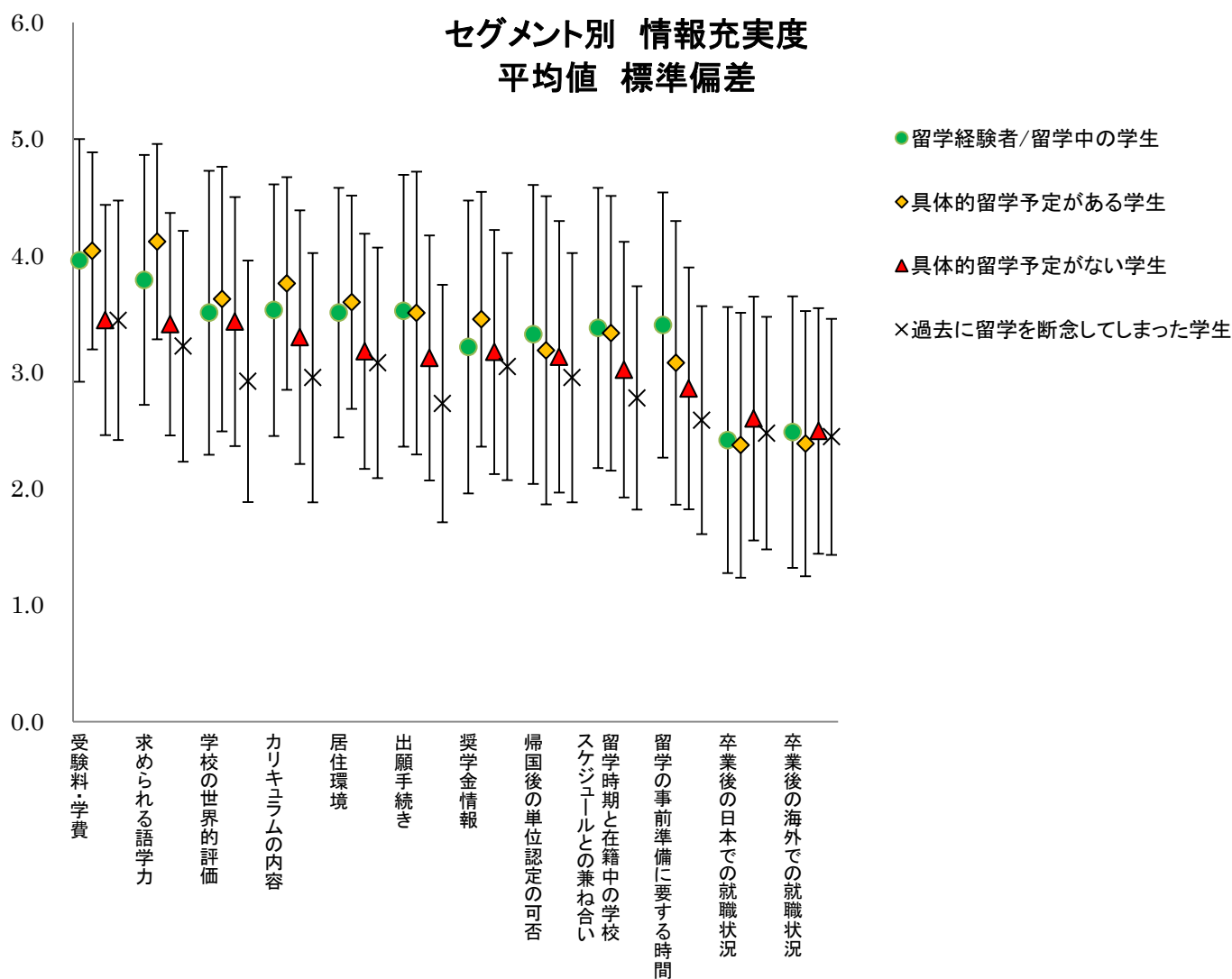


表 3-1- 25 : セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）

項目	情報充実度 平均				情報充実度 標準偏差			
	留学経験者 /留学中の 学生	具体的留学 予定がある 学生	具体的留学 予定がない 学生	過去に留学 を断念して しまった学 生	留学経験者 /留学中の 学生	具体的留学 予定がある 学生	具体的留学 予定がない 学生	過去に留学 を断念して しまった学 生
受験料・学費	4.0	4.0	3.4	3.4	1.0	0.8	1.0	1.0
求められる語学力	3.8	4.1	3.4	3.2	1.1	0.8	1.0	1.0
学校の世界的評価	3.5	3.6	3.4	2.9	1.2	1.1	1.1	1.0
カリキュラムの内容	3.5	3.8	3.3	3.0	1.1	0.9	1.1	1.1
居住環境	3.5	3.6	3.2	3.1	1.1	0.9	1.0	1.0
出願手続き	3.5	3.5	3.1	2.7	1.2	1.2	1.1	1.0
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.2	3.1	3.0	1.3	1.3	1.2	1.1
奨学金情報	3.2	3.5	3.2	3.0	1.3	1.1	1.0	1.0
留学時期と在籍中の学校スケジュールとの兼ね合い	3.4	3.3	3.0	2.8	1.2	1.2	1.1	1.0
留学の事前準備に要する時間	3.4	3.1	2.9	2.6	1.1	1.2	1.0	1.0
卒業後の日本での就職状況	2.4	2.4	2.6	2.5	1.1	1.1	1.0	1.0
卒業後の海外での就職状況	2.5	2.4	2.5	2.4	1.2	1.1	1.1	1.0

上記の表 3-1-25 の平均値を「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループと、「具体的留学予定が無い」および「過去に留学を断念してしまった」学生のグループとでまとめたものを以下の表 3-1-26 に示す。

表 3-1- 26 : グループ別 情報充実度（平均値）

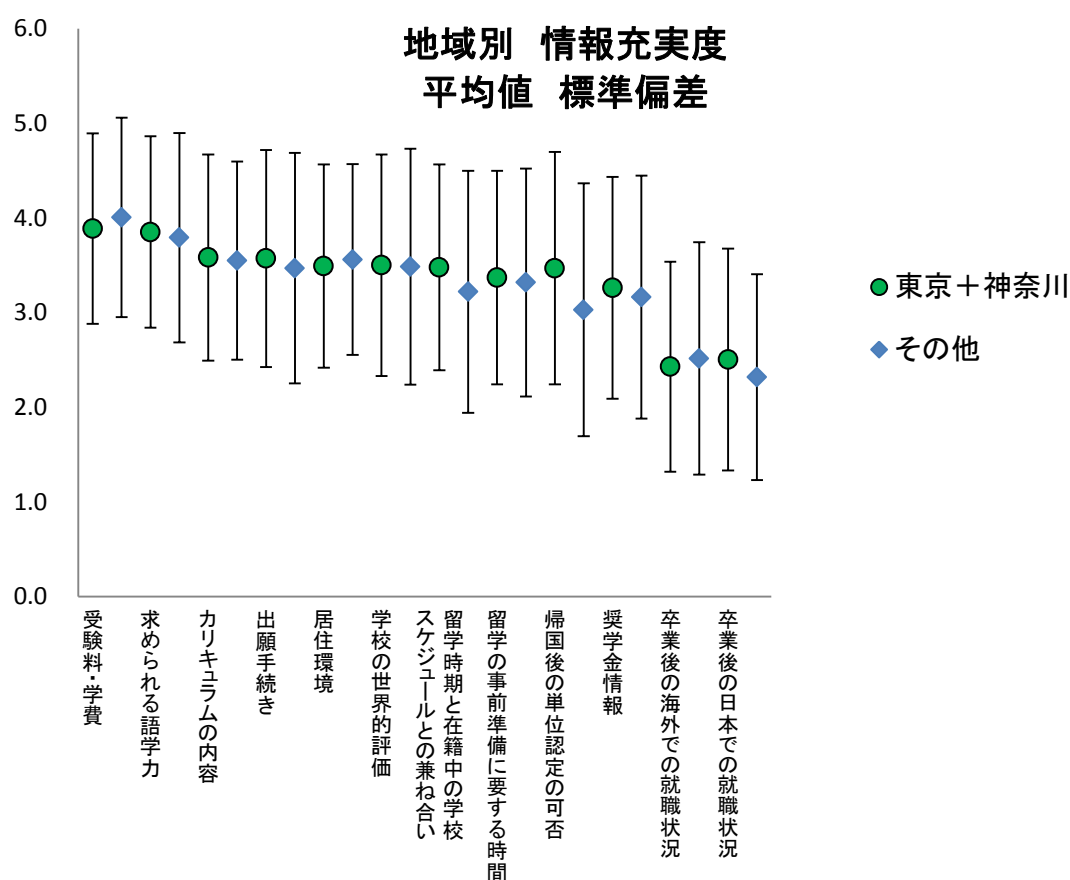
情報充実度 （平均値）	留学経験者＋ 具体的予定あり	具体的予定無し＋ 留学断念
受験料・学費	4.0	3.4
求められる語学力	3.8	3.4
学校の世界的評価	3.5	3.4
カリキュラムの内容	3.6	3.2
居住環境	3.5	3.2
出願手続き	3.5	3.1
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.1
奨学金情報	3.3	3.2
留学時期と在籍中の学校スケジュールとの兼ね合い	3.4	3.0
留学の事前準備に要する時間	3.4	2.8
卒業後の日本での就職状況	2.4	2.6
卒業後の海外での就職状況	2.5	2.5

ここでは、回答の平均値で各セグメントを比較した。全体的傾向として、「具体的な留学予定が無い学生」および「留学を断念してしまった学生」の情報充実度はそれ以外のセグメントの学生よりも低くなっており、留学が現実味を帯びている学生ほど、詳細に情報を調べるという状態が回答に反映されているのではないかと考えらえる。各セグメントともに「受験料・学費」、「求められる語学力」の 2 点については情報が充実しているという回答が多く、

受入先の学校の多くがこれらの情報については比較的分かりやすく発信しているのではないかと推察される。

さらに、情報充実度については首都圏の学生(在籍している学校が東京と神奈川の学生)とそれ以外の学生とで比較した場合に、差があるのかについても分析を行った。

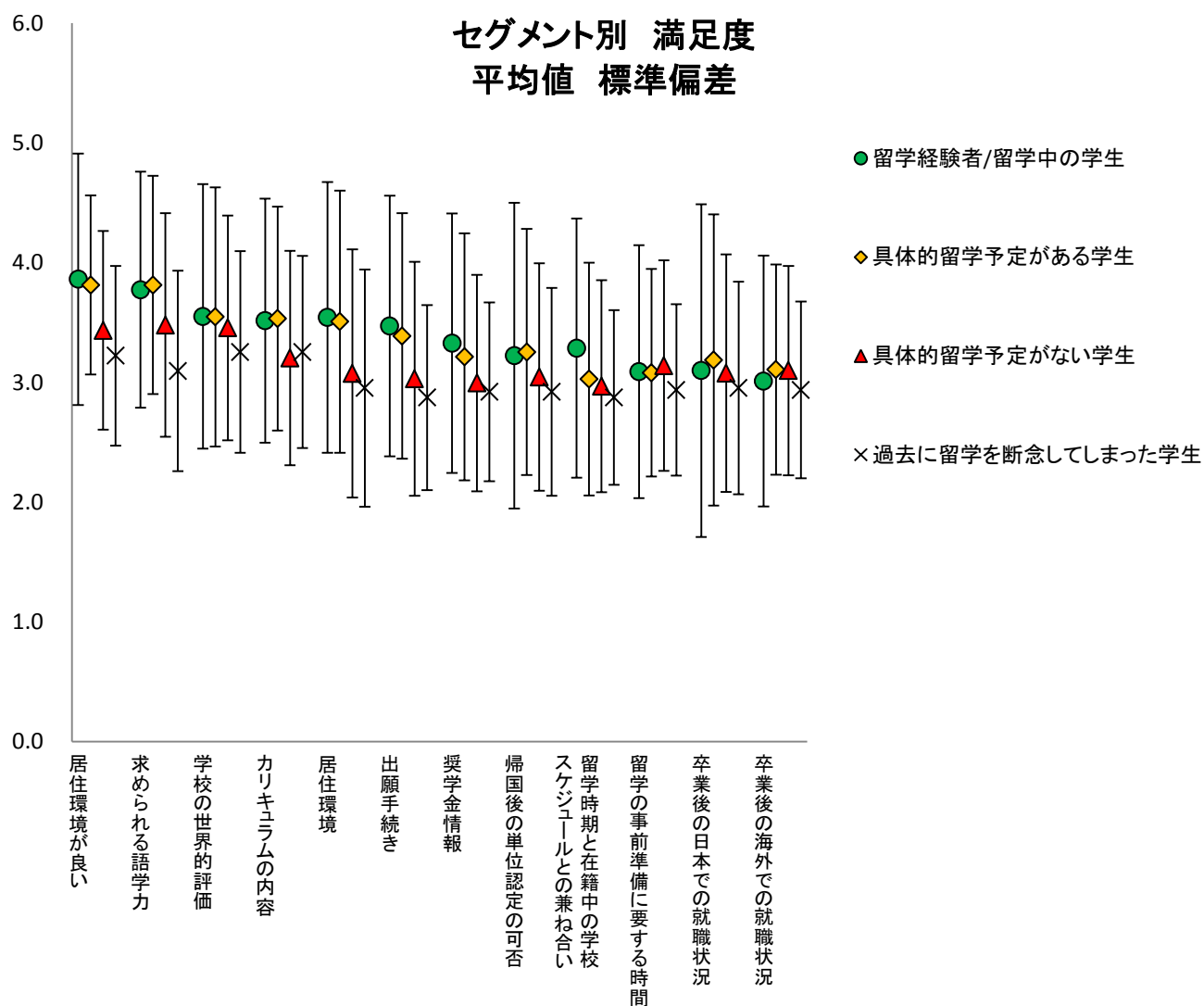
図 3-1- 6: 地域別 情報充実度 (平均値、標準偏差)



上位の結果を見る限りは首都圏の学生とそれ以外の地域の学生とで、顕著に情報充実度に差はないと思われるが、「帰国後の単位認定の可否」については、首都圏の学生の方が情報が充実していると考えており、この点については在籍している学校と海外の学校との協定数の多寡などによるものかも知れないが、今回の調査範囲のみからでは原因の特定は困難である。

③重視する項目の満足度：「重視する項目それぞれについて、自分が希望する条件がどの程度満たされていたかを5段階で評価して下さい。（1 = 全く条件に合わなかった、5 = 完全に条件に合った、の5段階評価）」

図 3-1- 7: セグメント別 満足度（平均値、標準偏差）



第3章 調査結果の集計
1. 日本人学生アンケート

表 3-1-27 : セグメント別 満足度 (平均値、標準偏差)

項目	満足度 平均				満足度 標準偏差			
	留学経験者 /留学中の 学生	具体的留学 予定がある 学生	具体的留学 予定がない 学生	過去に留学 を断念して しまった学 生	留学経験者 /留学中の 学生	具体的留学 予定がある 学生	具体的留学 予定がない 学生	過去に留学 を断念して しまった学 生
居住環境が良い	3.9	3.8	3.4	3.2	1.1	0.7	0.8	0.8
カリキュラムの内容が魅力的である	3.8	3.8	3.5	3.1	1.0	0.9	0.9	0.8
学校の評価が世界的に高い	3.5	3.5	3.5	3.3	1.1	1.1	0.9	0.8
求められる語学力が高くない	3.5	3.5	3.2	3.3	1.0	0.9	0.9	0.8
受験料・学費の手頃さ	3.5	3.5	3.1	3.0	1.1	1.1	1.0	1.0
留学時期が、在籍中の学校スケジュールからみて、都合が良い	3.5	3.4	3.0	2.9	1.1	1.0	1.0	0.8
出願手続きの分かりやすさ	3.3	3.2	3.0	2.9	1.1	1.0	0.9	0.7
帰国後に単位認定できる	3.2	3.3	3.0	2.9	1.3	1.0	0.9	0.9
留学の事前準備に要する時間が短くて済む	3.3	3.0	3.0	2.9	1.1	1.0	0.9	0.7
卒業後の日本での就職の有利さ	3.1	3.1	3.1	2.9	1.1	0.9	0.9	0.7
奨学金が受給できる	3.1	3.2	3.1	3.0	1.4	1.2	1.0	0.9
卒業後の海外での就職の有利さ	3.0	3.1	3.1	2.9	1.0	0.9	0.9	0.7

上記の表 3-1-27 の平均値を「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループと、「具体的留学予定が無い」および「過去に留学を断念してしまった」学生のグループとでまとめたものを以下の表 3-1-28 に示す。

表 3-1-28 : グループ別 満足度 (平均値)

満足度 (平均値)	留学経験者＋ 具体的予定あり	具体的予定無し＋ 留学断念
居住環境	3.8	3.4
カリキュラムの内容	3.8	3.4
学校の世界的評価	3.5	3.4
求められる語学力	3.5	3.2
受験料・学費	3.5	3.1
留学時期と在籍中の学校スケジュールとの兼ね合い	3.5	3.0
出願手続き	3.3	3.0
帰国後の単位認定の可否	3.2	3.0
留学の事前準備に要する時間	3.2	3.0
卒業後の日本での就職状況	3.1	3.1
奨学金情報	3.1	3.1
卒業後の海外での就職状況	3.0	3.1

ここでは、回答の平均値で各セグメントを比較した。情報充実度のケースと同様に全体的傾向として、「具体的な留学予定が無い学生」および「留学を断念してしまった学生」の満足度はそれ以外のセグメントの学生よりも低くなっており、実際の留学プランの進行度合いが回答に反映されているものと思われる。満足度の高い項目としては、「居住環境」、「学校の評価」が全てのセグメントに共通している。また「留学を断念してしまった学生」以外のセ

グメントでは、「カリキュラムの内容」についての満足度も高くなっている。

④重要度と情報充実度とを合わせた観点からの分析

①で分析した「留学を決定する上で重視する項目（重要度）」と②で分析した「重視する項目の情報充実度」について、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的留学予定がある学生」のグループと、「具体的留学予定がない学生」と「過去に留学を断念してしまった学生」のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-1- 8: 留学経験者＋具体的留学予定が有る学生 重要度 x 情報充実度

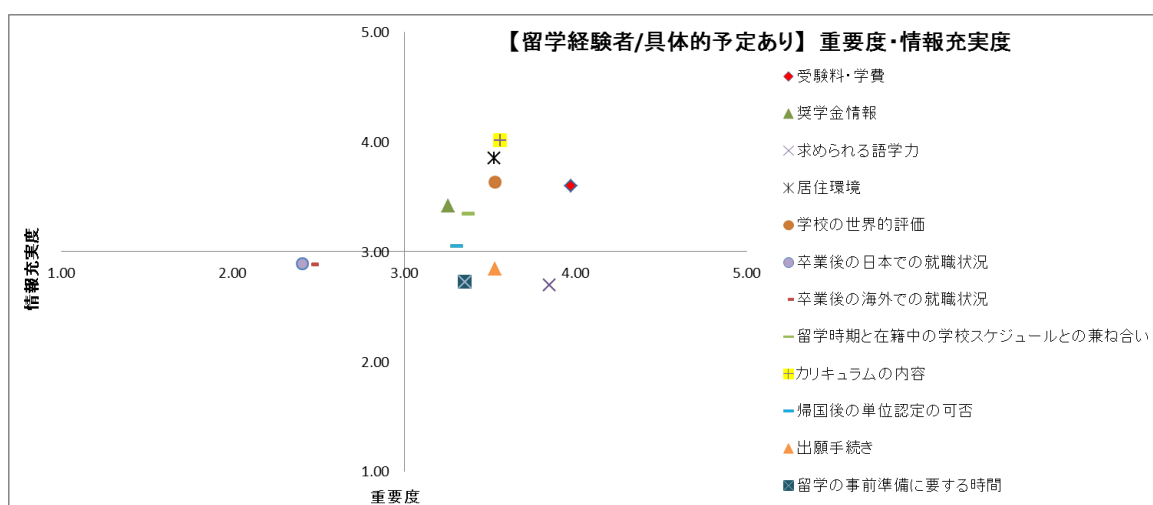
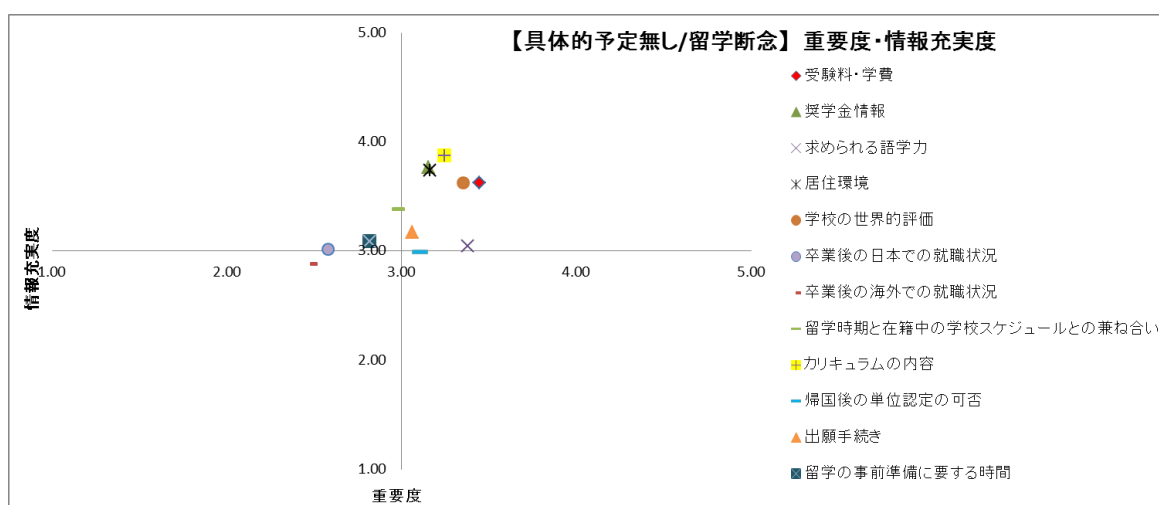


図 3-1- 9: 具体的留学予定が無い学生＋留学を断念した学生 重要度 x 情報充実度



上記の図で示されるように、「留学経験者/具体的予定あり」のグループの方が、「具体的予

定なし/留学断念」のグループよりも情報充実度（横軸）を高く評価している傾向が分かる。特に「受験料・学費」及び「カリキュラムの内容」については、情報充実度の差が大きく現れている。

※当分析の元データである重要度、情報充実度の回答実数を補足資料に添付した。

⑤重要度と満足度とを合わせた観点からの分析

①で分析した「留学を決定する上で重視する項目（重要度）」と③で分析した「重視する項目の満足度」について、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的留学予定がある学生」のグループと、「具体的留学予定がない学生」と「過去に留学を断念してしまった学生」のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-1- 10: 留学経験者+具体的留学予定が有る学生 重要度 x 満足度

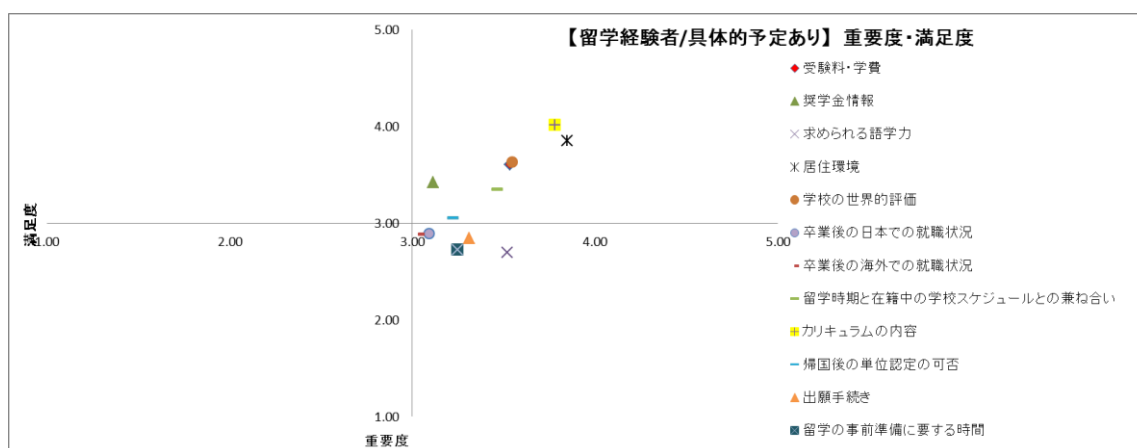
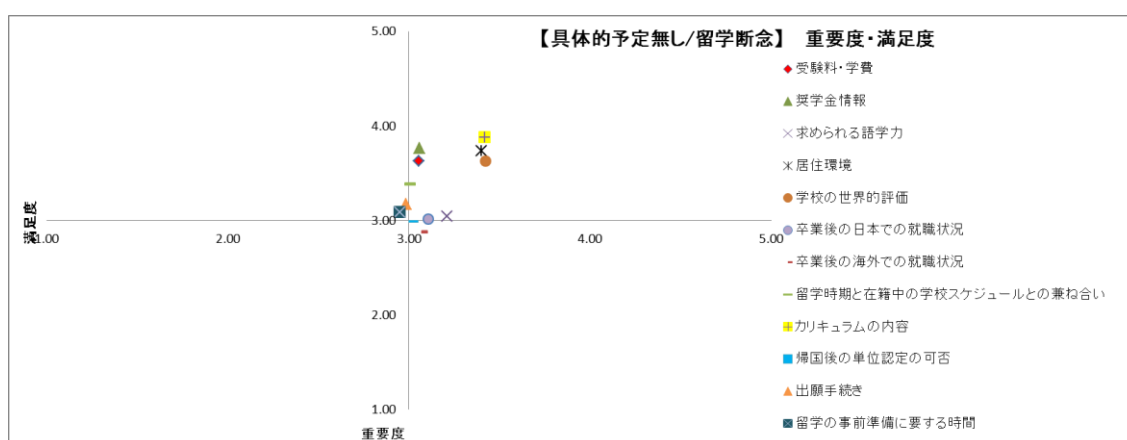


図 3-1- 11: 具体的留学予定が無い学生+留学を断念した学生 重要度 x 満足度



上記の図で示されるように、満足度（横軸）についても全体的に「留学経験者/具体的予定あり」のグループの方が、「具体的予定なし/留学断念」のグループより高く評価している傾向が分かる。特に、重要度の高い「受験料・学費」及び「求められる語学力」の二項目については、両グループ間での差が大きく現れている。

※当分析の元データである重要度、満足度の回答実数を補足資料に添付した。

⑥満足度と情報充実度とを合わせた観点からの分析

②で分析した「重視する項目の情報充実度」と③で分析した「重視する項目の満足度」について、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的留学予定がある学生」のグループと、「具体的留学予定がない学生」と「過去に留学を断念してしまった学生」のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-1- 12: 留学経験者+具体的留学予定が有る学生 満足度 x 情報充実度

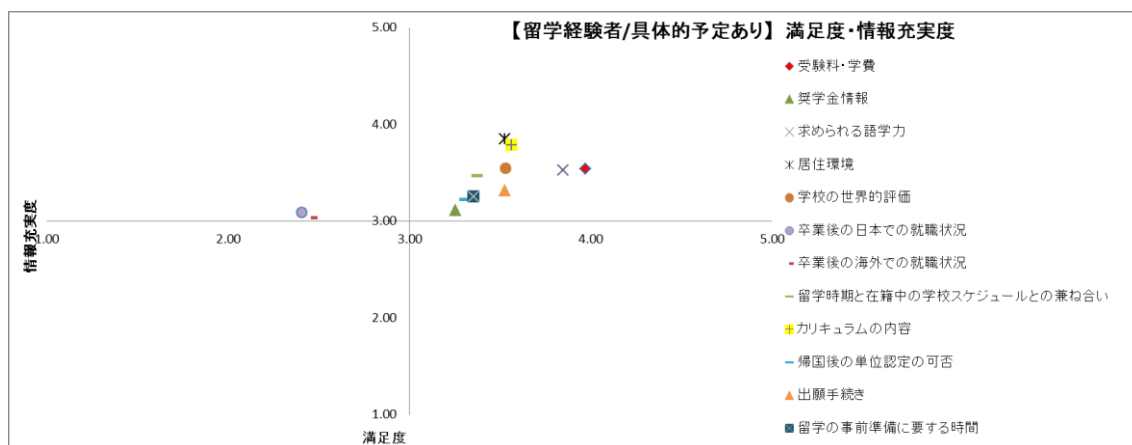
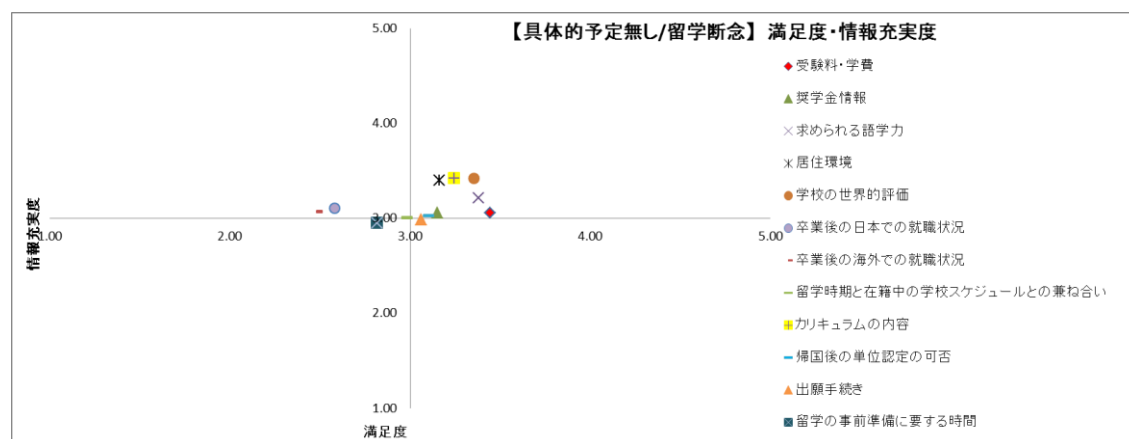


図 3-1- 13: 具体的留学予定が無い学生+留学を断念した学生 満足度 x 情報充実度

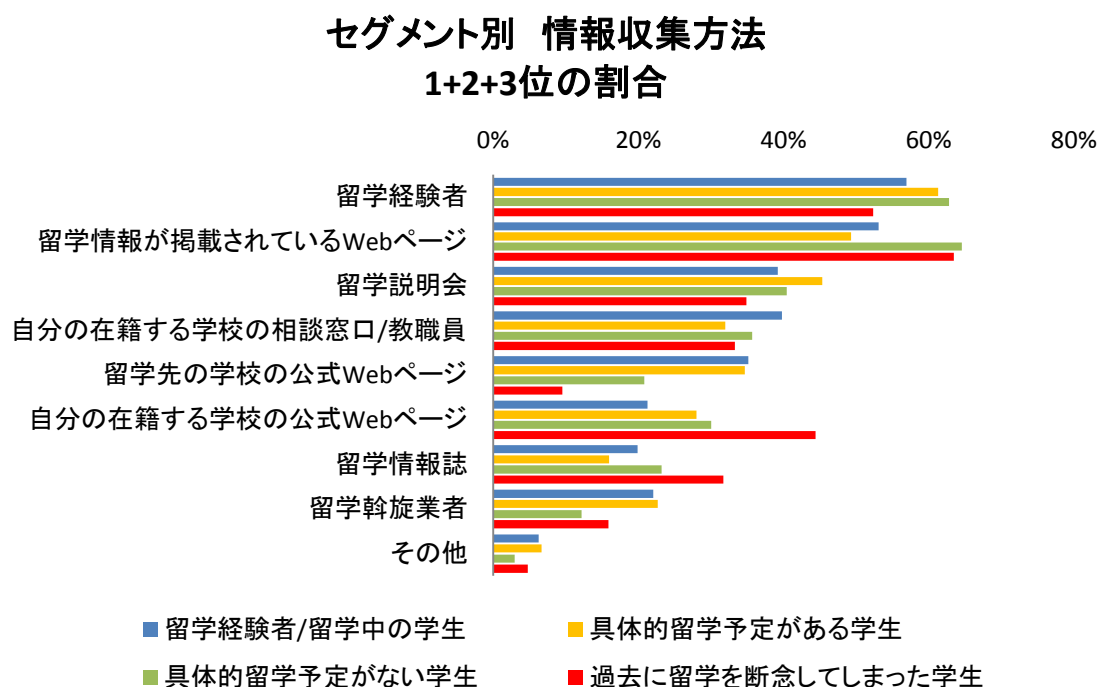


満足度と情報充実度の組み合わせの比較においても、「留学経験者/留学中の学生」と「具体的留学予定がある学生」のグループの方が、ほとんどの項目で平均値が高い傾向があることが示されている。特に「受験料・学費」及び「カリキュラムの内容」については、満足度、情報充実度ともに、の差が大きくなっていることが読み取れる。

※当分析の元データである満足度、情報充実度の回答実数を補足資料に添付した。

⑦情報収集方法：「留学情報をどのように入手しましたか？（役に立った順に1位から3位まで順位をつけてください。）」

図 3-1- 14: 留学情報収集方法



留学情報の収集方法としては、「留学経験者/留学中の学生」、「具体的な留学予定が有る学生」は留学経験者の情報を回答した者が最も多く、「具体的な留学予定が無い学生」、「留学を断念してしまった学生」の場合は、留学情報が掲載されている Web ページが最も多いという結果となったが、いずれのセグメントの学生も、Web による検索と留学経験者からの情報の二点は参考にするケースが多いと考えられる。

⑧留学情報の収集時期：「いつ頃から留学情報を意識して集めはじめましたか？」

表 3-1- 29：留学情報の収集時期

セグメント	時期	学年							総計	割合
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他		
留学経験者/ 留学中の学生	小学校在籍時	3	0	3	5	4	6	0	21	2.5%
	中学校在籍時	8	21	16	0	0	0	0	45	5.4%
	高校在籍時	45	40	33	1	0	0	0	119	14.1%
	短大在籍時	4	0	0	1	0	0	0	5	0.6%
	高等専門学校在籍時	1	3	2	0	0	0	0	6	0.7%
	専修学校在籍時	1	2	0	0	0	0	0	3	0.4%
	大学在籍時	65	50	38	5	0	0	0	158	18.8%
	大学院在籍時	3	3	0	0	0	0	0	6	0.7%
	その他	0	0	0	0	0	0	4	4	0.5%
小計		130	119	92	12	4	6	4	367	43.6%
具体的留学予定が ある学生	小学校在籍時	0	0	1	0	1	1	0	3	0.4%
	中学校在籍時	2	3	1	0	0	0	0	6	0.7%
	高校在籍時	9	12	4	0	0	0	0	25	3.0%
	高等専門学校在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	20	9	8	1	0	0	0	38	4.5%
	大学院在籍時	1	0	0	0	0	0	1	2	0.2%
小計		32	25	14	1	1	1	1	75	8.9%
具体的留学予定が ない学生	小学校在籍時	0	0	0	1	2	0	0	3	0.4%
	中学校在籍時	3	3	7	0	0	0	0	13	1.5%
	高校在籍時	27	27	12	0	0	0	1	67	8.0%
	短大在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	高等専門学校在籍時	0	3	1	2	0	0	0	6	0.7%
	専修学校在籍時	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	78	74	39	26	1	1	1	220	26.2%
	大学院在籍時	16	3	1	0	0	0	0	20	2.4%
	その他	0	0	2	0	0	0	3	5	0.6%
小計		125	111	62	29	3	1	5	336	40.0%
過去に留学を 断念してしまった学生	中学校在籍時	0	2	1	0	0	0	0	3	0.4%
	高校在籍時	4	11	5	1	0	0	0	21	2.5%
	専修学校在籍時	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%
	大学在籍時	14	12	7	1	0	0	0	34	4.0%
	大学院在籍時	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	その他	2	0	0	0	0	0	1	3	0.4%
小計		21	26	13	2	0	0	1	63	7.5%
総計		308	281	181	44	8	8	11	841	100.0%
割合		37%	33%	22%	5%	1%	1%	1%	100%	

留学情報の取集時期は、どのセグメントも高校 1～2 年、大学 1～3 年に行うケースが多いことが上記の結果より読み取れる。留学経験者/留学中の学生のセグメントでは、中学校在籍時に収集したという者も 12% (= 45/367)おり、このセグメントでは早いうちから留学情報を集めていた学生も一定数存在していると考えられる。高校 3 年、大学 4 年で情報収集する者の割合が少ないのは、この時期は進学や就職で時間的余裕が少ないためだと推察される。

⑨留学費用の把握：「留学前に必要な費用を把握していましたか？」

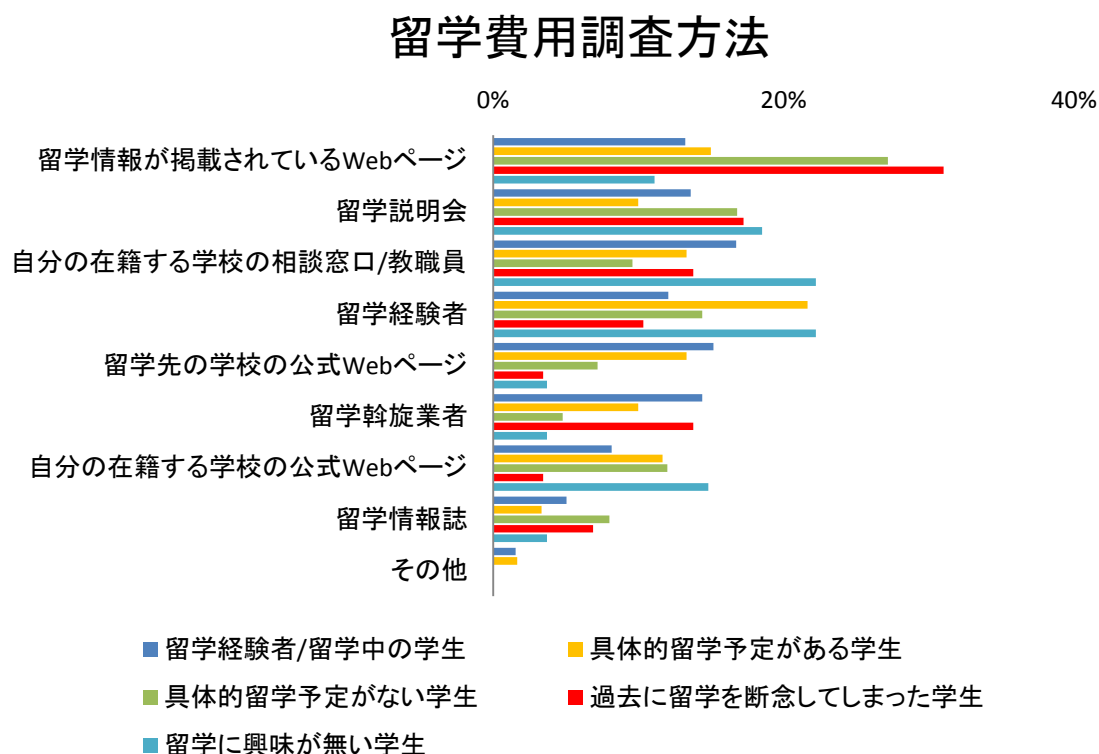
表 3-1- 30：留学費用の把握

セグメント	はい	いいえ
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	70%	30%
具体的な留学予定が有る学生 (N=75)	80%	20%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=442)	72%	28%
具体的な留学予定が無い学生 (N=336)	37%	63%
留学を断念してしまった学生 (N=63)	46%	54%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=399)	39%	61%
留学に興味が無い学生 (N=119)	23%	77%

留学に必要な費用の把握については、「留学経験者/留学中の学生」、「具体的な留学予定が有る学生」とそれ以外のセグメントの学生の間で、大きな差異（72%と 39%）が見られる。これは留学を実行するにあたり、計画が具体化している学生ほど詳細に情報を集めているという状況を反映しているのではないかと考えられる。

⑩留学費用の調査方法：「(上記で留学費用を把握していた場合) 留学に必要な費用をどのように調べましたか?」

図 3-1- 15: 留学費用調査方法



留学に要する費用を調べる際には、「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループでは、「自分の在籍する学校の相談窓口/教職員」、「留学先の学校の公式 Web ページ」、「留学経験者」を参照するという回答が 20%近い。一方で、「具体的留学予定がない」および「過去に留学を断念してしまった」学生のグループでは、「留学情報が掲載されている Web ページ」が 3 割近くと最も多く、次いで「留学説明会」が 2 割程度となっている。傾向として前者のグループは、Web や留学説明会よりもさらに一歩踏み込み、留学経験者や相談窓口などを通じて情報を取得しているように推察される。

⑪奨学金の把握：「奨学金について調べましたか？」

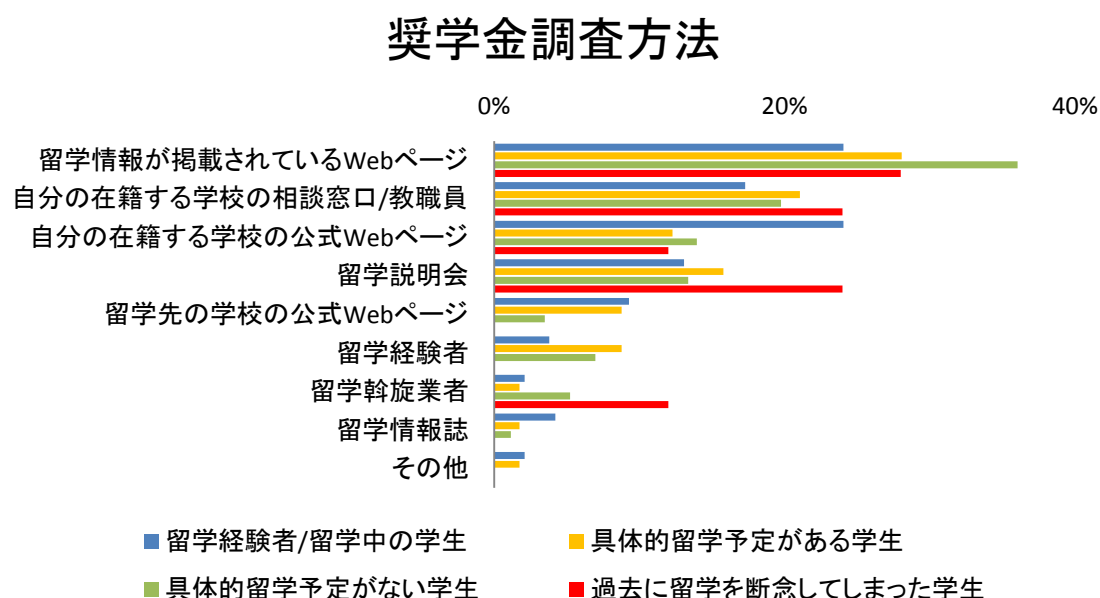
表 3-1- 31：奨学金の把握

セグメント	はい	いいえ
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	65%	35%
具体的留学予定がある学生 (N=75)	76%	24%
上記2セグメントをまとめたグループ(N=442)	67%	33%
具体的留学予定がない学生 (N=336)	51%	49%
過去に留学を断念してしまった学生 (N=63)	40%	60%
上記2セグメントをまとめたグループ(N=399)	49%	51%

上記の結果より「留学経験者/留学中」および「具体的留学予定がある」学生のグループでは、67%が奨学金を調べているのに対し、「具体的留学予定がない」および「過去に留学を断念してしまった」学生のグループでは49%となっており、これは具体的な留学プランの有無を反映した結果ではないかと考えられる。

⑫奨学金の調査方法：「奨学金をどのように調べましたか？」

図 3-1- 16: 奨学金の調査方法



奨学金情報を調べる際には、どのセグメントも「留学情報が掲載されている Web ページ」を第一に挙げている。「留学経験者/留学中の学生」のセグメントでは次いで「自分の在籍す

る学校の相談窓口/教職員」が多い(24%)のに対し、「具体的留学予定がない学生」および「過去に留学を断念してしまった学生」のセグメントでは「自分の在籍する学校の相談窓口/教職員」に問い合わせる、という選択肢は 14%, 12%となっており、奨学金情報の調査の場合と同様の傾向になっていると推察される。

⑬渡航前奨学金の受給有無：「留学に際して渡航前に奨学金が決まりましたか？」

表 3-1- 32： 渡航前奨学金の受給有無

セグメント	はい	いいえ	留学前あるいは 留学検討中である
留学経験者/留学中の学生 (N=367)	31%	59%	11%
具体的留学予定がある学生 (N=75)	15%	27%	59%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=442)	28%	53%	19%
具体的留学予定がない学生 (N=336)	2%	23%	75%
過去に留学を断念してしまった学生 (N=63)	3%	37%	60%
上記 2 セグメントをまとめたグループ(N=399)	2%	25%	72%

1-4. 留学の阻害要因

各セグメントの留学の阻害要因に関する項目の集計結果は以下の表の通りである。

表 3-1- 33： 留学の阻害要因に関する項目のサマリ

セグメント		N	質問事項		
			就職活動への影響	留学に興味が無い理由	望ましい情報・サポート
留学した学生	留学経験者/留学中の学生	367	N/A	N/A	N/A
留学していない学生	具体的な留学予定がある学生	75	N/A	N/A	N/A
	具体的な留学予定が無い学生	336	5段階評価による平均 2.6～3.1	N/A	奨学金受給チャンスの増加
	留学を断念してしまった学生	63	5段階評価による平均 2.2～2.8	N/A	奨学金受給チャンスの増加
	留学に興味が無い学生	119	N/A	語学力不足 経済的理由	奨学金受給チャンスの増加

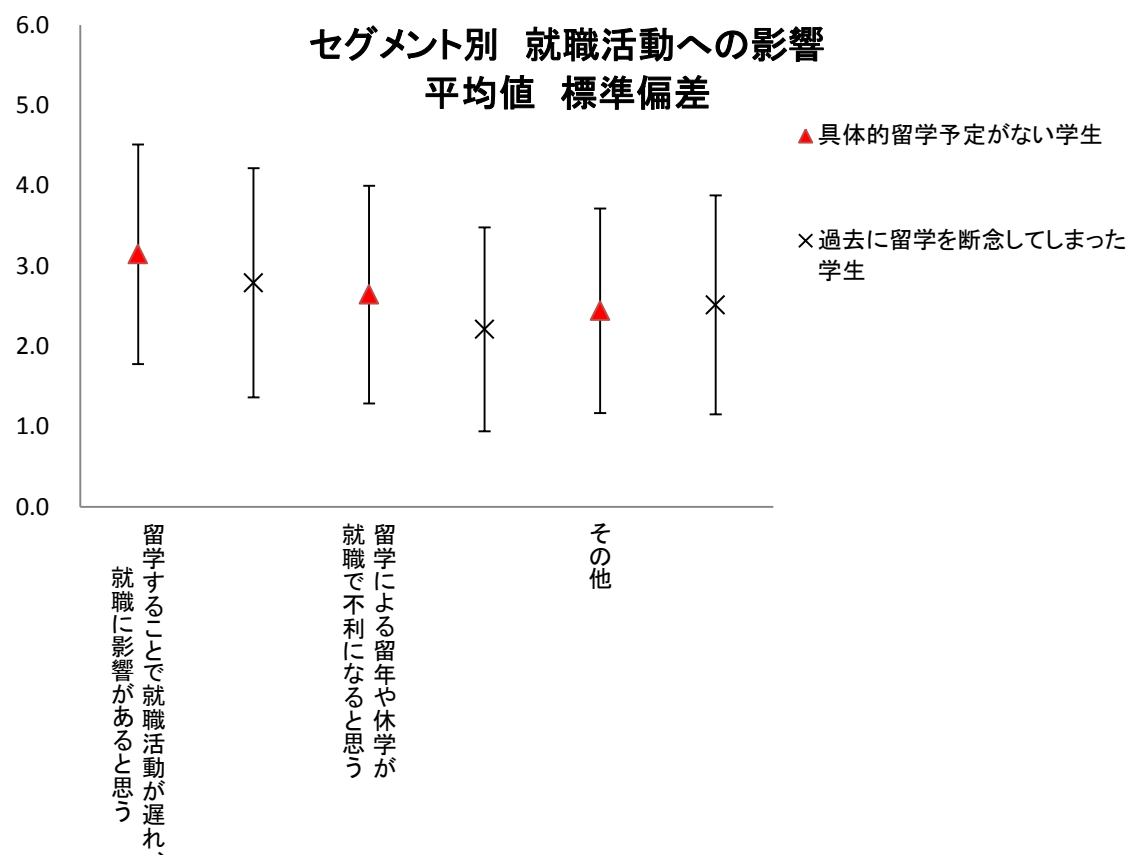
以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

①就職活動への影響：「留学することによる就職活動の影響について、あなたの考えを教えてください。(5段階評価。1=全くあてはまらない、5=非常にあてはまる)」

表 3-1- 34： 就職活動への影響（5段階評価の平均値）

項目	具体的な留学予定がない学生	過去に留学を断念してしまった学生
留学することで就職活動が遅れ、就職に影響があると思う	3.1	2.8
留学による留年や休学が就職で不利になると思う	2.6	2.2
その他	2.4	2.5

図 3-1- 17: セグメント別 就職活動への影響（平均値、標準偏差）



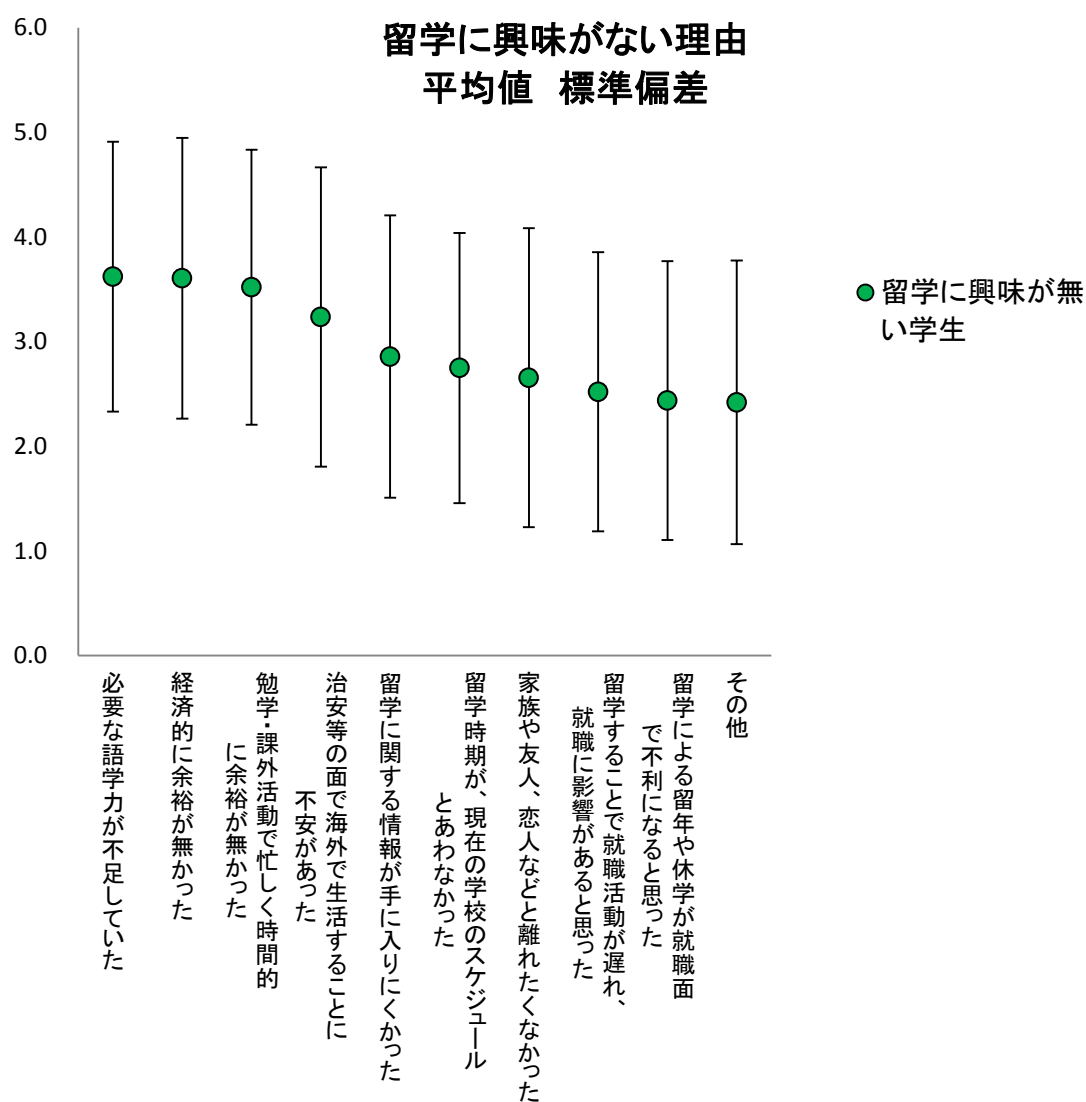
就職活動への影響については、平均値で「具体的な留学予定が無い学生」と「留学を断念してしまった学生」の回答を評価した。「留学することで就職活動が遅れ、就職に影響があると思う」の方が、「留学による留年や休学が就職で不利になると思う」に比べ若干平均は高いが、この結果からは就職活動が留学する上での大きな障害になっているとは考えにくい。

②留学に興味が無い理由：「留学に興味が無い理由について、あなたの考えを教えてください。(5段階評価。1 = 全くあてはまらない、5 = 非常にあてはまる)」

表 3-1- 35：留学に興味が無い理由（5段階評価の平均値）

留学に興味が無い理由	平均値
必要な語学力が不足していた	3.6
経済的に余裕が無かった	3.6
勉学・課外活動で忙しく時間的に余裕が無かった	3.5
治安等の面で海外で生活することに不安があった	3.2
留学に関する情報が手に入りにくかった	2.9
留学時期が、現在の学校のスケジュールとあわなかった	2.7
家族や友人、恋人などと離れたくなかった	2.7
留学することで就職活動が遅れ、就職に影響があると思った	2.5
留学による留年や休学が就職面で不利になると思った	2.4
その他	2.4

図 3-1- 18: 留学に興味が無い理由（平均値、標準偏差）



ここでは、平均値で留学に興味が無い学生の回答を集計した。興味が無い理由として多く挙げられたのは、「語学力の不足」、「経済的に余裕が無い」、「時間的に余裕が無い」という回答であった。

留学に興味が無い学生については、別の質問で「夏季休暇中の短期語学留学など、ある程度の語学力でも参加できる留学プログラムの存在について、知っているか」という点を確認しており、この結果と上記の結果を組み合わせたものを以下に示す。

表 3-1- 36 : 語学留学プログラムの把握状況

		必要な語学力が不足していた (N=119)				
		全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	どちらでもない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる
留学プログラムの存在について知っているか？	はい 56% (N=67)	7% (N=5)	21% (N=14)	18% (N=12)	28% (N=19)	25% (N=17)
	いいえ 44% (N=52)	10% (N=5)	6% (N=3)	12% (N=6)	35% (N=18)	38% (N=20)

この結果より「必要な語学力が不足していた」に対して「ある程度あてはまる」、「非常にあてはまる」と回答した学生は、語学プログラムの存在を知っている学生の場合は53%(=28%+25%)、知らない学生の場合は73%(=35%+38%)となっており、語学プログラムの存在を知らずに、イメージで必要とされる語学力を満たしていないと考えている学生も多いと考えられる。

同様に、前述の「留学に必要な費用を把握しているか」という質問の結果と、上記の結果を組み合わせ集計したものを以下に示す。

表 3-1- 37 : 留学費用の把握状況

		経済的に余裕が無かった (N=119)				
		全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	どちらでもない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる
留学費用を把握していたか？	はい 23% (N=27)	15% (N=4)	11% (N=3)	0% (N=0)	26% (N=7)	48% (N=13)
	いいえ 77% (N=92)	10% (N=13)	15% (N=17)	11% (N=10)	39% (N=43)	25% (N=36)

この結果より「経済的に余裕が無かった」に対して「ある程度あてはまる」、「非常にあてはまる」と回答した学生は、留学費用を把握していた学生の場合は74%(=26%+48%)、把握していなかった学生の場合は64%(=39%+25%)となっており、実際に費用を調べて留学を断念

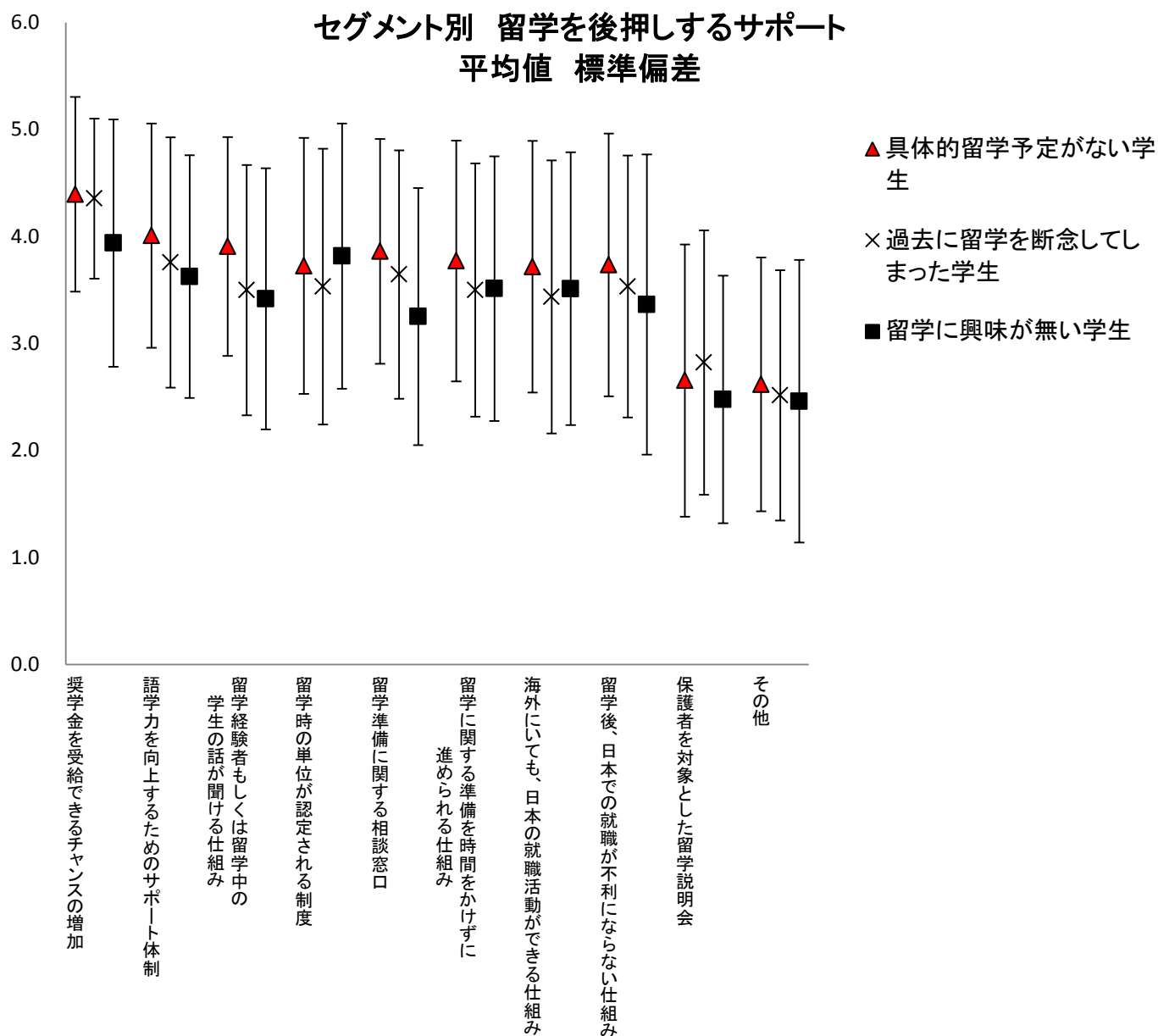
するケースもあるものの、語学力同様に詳細に調べずに感覚的に高いと考えている学生も多いと思われる。

③留学を後押しするサポート・情報：「どのような情報やサポート等があったら留学に前向きに取り組めると思いますか？（5段階評価。1＝全くあてはまらない、5＝非常にあてはまる）」

表 3-1- 38：留学を後押しするサポート・情報（5段階評価の平均値）

項目	具体的留学 予定がない 学生	過去に留 学を断念 してしま った学生	留学に興 味が無い 学生
奨学金を受給できるチャンスの増加	4.4	4.4	3.9
語学力を向上するためのサポート体制	4.0	3.8	3.6
留学経験者もしくは留学中の学生の話が聞ける仕組み	3.9	3.5	3.4
留学時の単位が認定される制度	3.7	3.5	3.8
留学準備に関する相談窓口	3.9	3.6	3.3
留学に関する準備を時間をかけずに進められる仕組み	3.8	3.5	3.5
海外にいても、日本の就職活動ができる仕組み	3.7	3.4	3.5
留学後、日本での就職が不利にならない仕組み	3.7	3.5	3.4
保護者を対象とした留学説明会	2.7	2.8	2.5
その他	2.6	2.5	2.5

図 3-1- 19: セグメント別 留学を後押しするサポート・情報（平均値、標準偏差）



ここでは、平均値で各セグメントの学生の回答を集計した。各セグメントともに第一に「奨学金を受給できるチャンスの増加」、第二に「語学力を向上するためのサポート体制」を挙げており、経済面と語学面が留学を検討する上での阻害要因となっていることが考えられる。一方で就職活動に関するサポートについての回答は少なく、就職活動への影響は、経済面・語学面ほどには留学の妨げにはなっていないものと考えられる。

第3章 調査結果の集計

2. 外国人学生アンケート

第3章 調査結果の集計
2. 外国人学生アンケート

2-1. 回答者属性

表 3-2- 1: 国籍エリア別の構成

セグメント	ASEAN	東アジア	欧州	北米	南アジア	南米	豪州	中東	アフリカ	ロシア	中央アジア	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	198	48	46	31	16	10	17	2	2	5	1	376	29%
Positiveに日本を選んだ学生	280	34	34	31	22	9	7	5	1	1	0	424	32%
Negativeに日本を選んだ学生	111	21	4	2	11	5	0	0	1	0	1	156	12%
日本も検討はした学生	12	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	18	1%
日本を検討もしなかった学生	151	41	8	7	12	10	1	1	4	0	0	235	18%
留学に興味が無い学生	85	6	1	1	1	0	2	0	0	0	0	96	7%
総計	837	152	95	72	63	35	27	8	8	6	2	1,305	100%
割合	64%	12%	7%	6%	5%	3%	2%	1%	1%	0%	0%	100%	

表 3-2- 2: エリア別、国籍別の構成

エリア	国籍	集計	割合
ASEAN	Vietnam	461	35.3%
	Indonesia	199	15.2%
	Singapore	63	4.8%
	Myanmar	51	3.9%
	Malaysia	29	2.2%
	Thailand	28	2.1%
	Philippines	3	0.2%
	Cambodia	2	0.2%
	Laos	1	0.1%
小計		837	64.1%
東アジア	China	109	8.4%
	South Korea	22	1.7%
	Taiwan	19	1.5%
	Mongolia	2	0.2%
小計		152	11.6%
欧州	United Kingdom and Northern Ireland	52	4.0%
	France	9	0.7%
	Germany	8	0.6%
	Italy	6	0.5%
	Spain	3	0.2%
	Sweden	3	0.2%
	Poland	2	0.2%
	Ireland	2	0.2%
	Lithuania	2	0.2%
	Netherlands	1	0.1%
	Czech Republic	1	0.1%
	Slovakia	1	0.1%
	Norway	1	0.1%
	Bulgaria	1	0.1%
	Greece	1	0.1%
	Romania	1	0.1%
	Macedonia	1	0.1%
	小計		95
北米	United States of America	64	4.9%
	Canada	8	0.6%
小計		72	5.5%

エリア	国籍	集計	割合
南アジア	India	34	2.6%
	Bangladesh	20	1.5%
	Nepal	6	0.5%
	Sri Lanka	2	0.2%
	Pakistan	1	0.1%
	小計		63
南米	Brazil	25	1.9%
	Mexico	4	0.3%
	Colombia	3	0.2%
	Peru	2	0.2%
	Ecuador	1	0.1%
小計		35	2.7%
豪州	Australia	27	2.1%
小計		27	2.1%
中東	Syrian Arab Republic	3	0.2%
	Turkey	1	0.1%
	Oman	1	0.1%
	Iran	1	0.1%
	Bahrain	1	0.1%
	Jordan	1	0.1%
	小計		8
アフリカ	Tunisia	2	0.2%
	Algeria	1	0.1%
	Sudan	1	0.1%
	Congo	1	0.1%
	United Republic of Tanzania	1	0.1%
	Madagascar	1	0.1%
	Morocco	1	0.1%
	小計		8
ロシア	Russian Federation	6	0.5%
小計		6	0.5%
中央アジア	Kyrgyzstan	1	0.1%
	Kazakhstan	1	0.1%
	小計		2
総計		1305	100.0%

表 3-2- 3: 性別、年齢別の構成

セグメント	性別	18歳未満	18～22	23～27	28歳以上	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	女性	4	124	61	17	206	15.8%
	男性	7	64	69	30	170	13.0%
小計		11	188	130	47	376	29%
Positiveに日本を選んだ学生	女性	3	123	72	16	214	16.4%
	男性	15	100	75	20	210	16.1%
小計		18	223	147	36	424	32%
Negativeに日本を選んだ学生	女性	3	50	26	7	86	6.6%
	男性	6	32	21	11	70	5.4%
小計		9	82	47	18	156	12%
日本も検討はした学生	女性	0	9	4	0	13	1.0%
	男性	0	3	2	0	5	0.4%
小計		0	12	6	0	18	1%
日本を検討もしなかった学生	女性	3	81	53	6	143	11.0%
	男性	5	47	34	6	92	7.0%
小計		8	128	87	12	235	18%
留学に興味が無い学生	女性	0	52	15	1	68	5.2%
	男性	4	21	2	1	28	2.1%
小計		4	73	17	2	96	7%
総計		50	706	434	115	1,305	100%
割合		4%	54%	33%	9%	100%	

表 3-2- 4: 学校区分、学校設立形態（国立・公立、私立）別の構成

セグメント	学校区分	公立 国立	私立	総計	割合
日本を決め打ちで 選んだ学生	語学学校	1	4	5	0.4%
	高校	10	5	15	1.1%
	大学	192	86	278	21.3%
	大学院	53	22	75	5.7%
	その他	3	0	3	0.2%
小計		259	117	376	28.8%
Positiveに日本を 選んだ学生	語学学校	2	5	7	0.5%
	インターナショナルスクール	0	2	2	0.2%
	高校	32	3	35	2.7%
	大学	238	72	310	23.8%
	大学院	52	13	65	5.0%
	その他	2	3	5	0.4%
小計		326	98	424	32.5%
Negativeに日本を 選んだ学生	語学学校	1	0	1	0.1%
	インターナショナルスクール	1	1	2	0.2%
	高校	9	4	13	1.0%
	大学	78	30	108	8.3%
	大学院	25	4	29	2.2%
	その他	2	1	3	0.2%
小計		116	40	156	12.0%
日本も検討 はした学生	語学学校	1	0	1	0.1%
	大学	12	2	14	1.1%
	大学院	3	0	3	0.2%
小計		16	2	18	1.4%
日本を検討も しなかった学生	語学学校	2	2	4	0.3%
	インターナショナルスクール	1	4	5	0.4%
	高校	5	2	7	0.5%
	大学	128	48	176	13.5%
	大学院	26	11	37	2.8%
	その他	3	3	6	0.5%
小計		165	70	235	18.0%
留学に興味が無い学生	語学学校	1	0	1	0.1%
	インターナショナルスクール	0	2	2	0.2%
	高校	3	2	5	0.4%
	大学	39	36	75	5.7%
	大学院	3	1	4	0.3%
	その他	9	0	9	0.7%
小計		55	41	96	7.4%
総計		937	368	1,305	100.0%
割合		72%	28%	100%	

表 3-2- 5: 学校区分、学年別の構成

セグメント	学校区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	語学学校	2	1	0	0	0	0	2	5	0.4%
	高校	6	1	2	0	0	1	5	15	1.1%
	大学等	39	39	71	83	10	2	34	278	21.3%
	大学院	15	24	5	4	6	1	20	75	5.7%
	その他	0	0	0	1	0	0	2	3	0.2%
小計		62	65	78	88	16	4	63	376	28.8%
Positiveに日本を選んだ学生	語学学校	2	1	1	0	1	0	2	7	0.5%
	高校	11	4	6	5	0	0	9	35	2.7%
	インターナショナルスクール	1	0	0	0	0	0	1	2	0.2%
	大学等	25	44	78	97	19	5	42	310	23.8%
	大学院	14	22	4	6	1	0	18	65	5.0%
小計		54	71	91	109	21	6	72	424	32.5%
Negativeに日本を選んだ学生	語学学校	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	高校	1	1	3	2	0	0	6	13	1.0%
	インターナショナルスクール	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2%
	大学等	7	25	28	30	4	2	12	108	8.3%
	大学院	6	12	4	0	2	0	5	29	2.2%
小計		14	39	37	33	6	2	25	156	12.0%
日本も検討はした学生	語学学校	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%
	大学等	3	2	5	3	1	0	0	14	1.1%
	大学院	0	3	0	0	0	0	0	3	0.2%
小計		3	5	5	3	1	0	1	18	1.4%
日本を検討もしなかった学生	語学学校	0	0	1	0	0	0	3	4	0.3%
	高校	1	1	1	2	0	0	2	7	0.5%
	インターナショナルスクール	0	0	1	1	1	1	1	5	0.4%
	大学等	20	28	50	44	3	3	28	176	13.5%
	大学院	10	8	2	1	1	1	14	37	2.8%
小計		32	37	56	49	5	5	51	235	18.0%
留学に興味が無い学生	語学学校	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	高校	3	1	0	0	0	0	1	5	0.4%
	インターナショナルスクール	0	0	1	1	0	0	0	2	0.2%
	大学等	19	13	27	12	1	0	3	75	5.7%
	大学院	2	2	0	0	0	0	0	4	0.3%
小計		30	17	30	13	1	0	5	96	7.4%
総計		195	234	297	295	50	17	217	1,305	100.0%
割合		15%	18%	23%	23%	4%	1%	17%	100%	

表 3-2- 6: 学校区分（大学・大学院のみ）、専攻別の構成

セグメント	学校区分	文系学部	理系学部	文理融合学部	芸術系学部	大学生 大学院生 以外	その他	総計	割合
日本を決め打ちで 選んだ学生	大学	133	95	8	31	7	4	278	23.7%
	大学院	23	46	3	3	0	0	75	6.4%
小計		156	141	11	34	7	4	353	30.1%
Positiveに日本を 選んだ学生	大学	128	136	14	15	10	7	310	26.4%
	大学院	24	36	5	0	0	0	65	5.5%
小計		152	172	19	15	10	7	375	31.9%
Negativeに日本を 選んだ学生	大学	47	40	4	8	6	3	108	9.2%
	大学院	10	14	2	2	1	0	29	2.5%
小計		57	54	6	10	7	3	137	11.7%
日本も検討 はした学生	大学	8	2	2	2	0	0	14	1.2%
	大学院	2	1	0	0	0	0	3	0.3%
小計		10	3	2	2	0	0	17	1.4%
日本を検討も しなかった学生	大学	72	70	10	18	4	2	176	15.0%
	大学院	11	21	2	1	2	0	37	3.2%
小計		83	91	12	19	6	2	213	18.1%
留学に興味 が無い学生	大学	16	27	3	25	1	3	75	6.4%
	大学院	1	0	1	0	1	1	4	0.3%
小計		17	27	4	25	2	4	79	6.7%
総計		475	488	54	105	32	20	1,174	100.0%
割合		40%	42%	5%	9%	3%	2%	100%	

表 3-2- 7: 留学先国別の構成

留学先国	日本も検討は した学生	日本を検討も しなかった学生	総計	割合
アメリカ	5	39	44	17%
シンガポール	4	28	32	13%
イギリス	1	29	30	12%
オーストラリア	0	21	21	8%
中国	1	16	17	7%
カナダ	2	10	12	5%
韓国	3	9	12	5%
ドイツ	0	11	11	4%
タイ	0	11	11	4%
その他	2	61	63	25%
総計	18	235	253	100%
割合	7%	93%		

注：留学先国として日本を選んだ学生は 956 名

表 3-2- 8: 留学した時期（学年）/留学したい時期（学年）別の構成

セグメント	留学時期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	小学校在籍時	1	0	0	0	1	0	0	2	0.2%
	中学校在籍時	3	0	0	0	0	0	1	4	0.3%
	高校在籍時	6	4	7	1	0	1	1	20	1.7%
	大学在籍時	23	29	81	29	2	1	5	170	14.1%
	大学院在籍時	60	23	11	19	10	2	21	146	12.1%
	その他	4	0	3	4	3	1	19	34	2.8%
小計		97	56	102	53	16	5	47	376	31.1%
Positiveに日本を選んだ学生	小学校在籍時	2	0	1	2	1	1	2	9	0.7%
	中学校在籍時	2	0	3	1	0	0	0	6	0.5%
	高校在籍時	12	5	10	0	1	0	3	31	2.6%
	大学在籍時	31	30	69	41	3	0	13	187	15.5%
	大学院在籍時	52	14	16	24	15	4	22	147	12.2%
	その他	8	6	6	2	3	0	19	44	3.6%
小計		107	55	105	70	23	5	59	424	35.1%
Negativeに日本を選んだ学生	小学校在籍時	0	0	0	2	0	0	0	2	0.2%
	中学校在籍時	1	1	2	0	0	0	0	4	0.3%
	高校在籍時	5	2	7	1	0	0	1	16	1.3%
	大学在籍時	8	10	23	11	1	0	5	58	4.8%
	大学院在籍時	26	14	10	4	5	0	6	65	5.4%
	その他	1	1	1	1	0	0	7	11	0.9%
小計		41	28	43	19	6	0	19	156	12.9%
日本も検討はした学生	大学在籍時	2	4	5	1	0	0	1	13	1.1%
	大学院在籍時	3	0	0	1	0	0	1	5	0.4%
小計		5	4	5	2	0	0	2	18	1.5%
日本を検討もしなかった学生	小学校在籍時	1	0	0	0	0	1	0	2	0.2%
	中学校在籍時	1	1	0	1	0	1	1	5	0.4%
	高校在籍時	2	2	2	2	1	1	2	12	1.0%
	大学在籍時	26	22	35	16	0	0	13	112	9.3%
	大学院在籍時	35	11	3	12	10	0	15	86	7.1%
	その他	1	1	1	0	1	1	13	18	1.5%
小計		66	37	41	31	12	4	44	235	19.4%
総計		316	180	296	175	57	14	171	1,209	100.0%
割合		26%	15%	24%	14%	5%	1%	14%	100%	

表 3-2- 9: 留学した/留学を希望する期間（長さ）別の構成

セグメント	1ヵ月 以下	1～ 3ヵ月	3～ 6ヵ月	6～ 12ヵ月	1年 以上	合計
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	2%	8%	9%	28%	52%	100%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	3%	5%	9%	21%	62%	100%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	6%	1%	8%	16%	69%	100%
日本も検討したが他国に留学した 学生 (N=18)	0%	11%	17%	28%	44%	100%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	2%	5%	14%	16%	63%	100%

表 3-2- 10: 留学目的別の構成

セグメント	留学内容	学位取得目的	単位取得目的	どちらも目的とはしていない	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	語学力向上	38	28	33	99	8.2%
	調査・研究	63	14	10	87	7.2%
	異文化体験・交流	17	9	17	43	3.6%
	留学先国での就職	38	16	16	70	5.8%
	専門性獲得	17	9	11	37	3.1%
	学歴・経歴の向上	12	4	6	22	1.8%
	その他	6	2	10	18	1.5%
小計		191	82	103	376	31.1%
Positiveに日本を選んだ学生	語学力向上	22	16	16	54	4.5%
	調査・研究	85	24	18	127	10.5%
	異文化体験・交流	18	21	23	62	5.1%
	留学先国での就職	56	12	16	84	6.9%
	専門性獲得	31	6	12	49	4.1%
	学歴・経歴の向上	16	7	8	31	2.6%
	その他	9	6	2	17	1.4%
小計		237	92	95	424	35.1%
Negativeに日本を選んだ学生	語学力向上	5	1	1	7	0.6%
	調査・研究	33	4	10	47	3.9%
	異文化体験・交流	12	12	9	33	2.7%
	留学先国での就職	18	2	3	23	1.9%
	専門性獲得	18	4	6	28	2.3%
	学歴・経歴の向上	7	2	1	10	0.8%
	その他	6	1	1	8	0.7%
小計		99	26	31	156	12.9%
日本も検討はした学生	語学力向上	0	1	2	3	0.2%
	調査・研究	0	2	0	2	0.2%
	異文化体験・交流	1	1	3	5	0.4%
	留学先国での就職	2	1	0	3	0.2%
	専門性獲得	4	0	0	4	0.3%
	学歴・経歴の向上	1	0	0	1	0.1%
小計		8	5	5	18	1.5%
日本を検討もなかった学生	語学力向上	8	2	15	25	2.1%
	調査・研究	47	9	7	63	5.2%
	異文化体験・交流	16	15	8	39	3.2%
	留学先国での就職	33	1	6	40	3.3%
	専門性獲得	21	7	3	31	2.6%
	学歴・経歴の向上	19	7	3	29	2.4%
	その他	6	1	1	8	0.7%
小計		150	42	43	235	19.4%
総計		685	247	277	1,209	100.0%
割合		57%	20%	23%	100%	

第3章 調査結果の集計
2. 外国人学生アンケート

表 3-2- 11: 留学目的別の構成 国籍（エリア）別

セグメント	国籍(エリア)	学位取得 目的	単位取得 目的	どちらも目的とは していない	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	ASEAN	98	37	63	198	16.4%
	東アジア	30	12	6	48	4.0%
	中央アジア	1	0	0	1	0.1%
	南アジア	12	1	3	16	1.3%
	中東	2	0	0	2	0.2%
	ロシア	3	0	2	5	0.4%
	大洋州	2	10	5	17	1.4%
	北米	8	13	10	31	2.6%
	南米	5	2	3	10	0.8%
	欧州	28	7	11	46	3.8%
	アフリカ	2	0	0	2	0.2%
小計		191	82	103	376	31.1%
Positiveに日本を選んだ学生	ASEAN	160	52	68	280	23.2%
	東アジア	19	8	7	34	2.8%
	南アジア	14	2	6	22	1.8%
	中東	4	0	1	5	0.4%
	ロシア	1	0	0	1	0.1%
	大洋州	0	6	1	7	0.6%
	北米	8	15	8	31	2.6%
	南米	6	1	2	9	0.7%
	欧州	24	8	2	34	2.8%
	アフリカ	1	0	0	1	0.1%
小計		237	92	95	424	35.1%
Negativeに日本を選んだ学生	ASEAN	69	19	23	111	9.2%
	東アジア	16	2	3	21	1.7%
	中央アジア	1	0	0	1	0.1%
	南アジア	7	4	0	11	0.9%
	北米	1	0	1	2	0.2%
	南米	3	1	1	5	0.4%
	欧州	1	0	3	4	0.3%
	アフリカ	1	0	0	1	0.1%
小計		99	26	31	156	12.9%
日本も検討はした学生	ASEAN	5	5	2	12	1.0%
	東アジア	2	0	0	2	0.2%
	南アジア	0	0	1	1	0.1%
	南米	0	0	1	1	0.1%
	欧州	1	0	1	2	0.2%
小計		8	5	5	18	1.5%
日本を検討もしなかった学生	ASEAN	94	27	30	151	12.5%
	東アジア	29	6	6	41	3.4%
	南アジア	11	1	0	12	1.0%
	中東	0	1	0	1	0.1%
	大洋州	0	0	1	1	0.1%
	北米	3	4	0	7	0.6%
	南米	3	1	6	10	0.8%
	欧州	6	2	0	8	0.7%
	アフリカ	4	0	0	4	0.3%
小計		150	42	43	235	19.4%
総計		685	247	277	1,209	100.0%
割合		57%	20%	23%	100%	

表 3-2- 12: 留学目的別の構成 留学先国（エリア）別

セグメント	留学先国 (エリア)	学位取得 目的	単位取得 目的	どちらも目的とは していない	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	日本	191	82	103	376	31.1%
小計		191	82	103	376	31.1%
Positiveに日本を選んだ学生	日本	237	92	95	424	35.1%
小計		237	92	95	424	35.1%
Negativeに日本を選んだ学生	日本	99	26	31	156	12.9%
小計		99	26	31	156	12.9%
日本も検討はした学生	ASEAN	4	1	0	5	0.4%
	東アジア	0	2	2	4	0.3%
	北米	4	1	2	7	0.6%
	その他	0	1	1	2	0.2%
小計		8	5	5	18	1.5%
日本を検討もしなかった学生	ASEAN	32	10	9	51	4.2%
	東アジア	16	4	9	29	2.4%
	南アジア	1	0	1	2	0.2%
	大洋州	14	4	5	23	1.9%
	北米	37	9	3	49	4.1%
	欧州	40	11	10	61	5.0%
	その他	10	4	6	20	1.7%
小計		150	42	43	235	19.4%
総計		685	247	277	1,209	100.0%
割合		57%	20%	23%	100%	

表 3-2- 13: 留学形態別の構成

セグメント	高校	高校 (交換留学)	大学 (学部)	大学 (学部) 交換留学	大学院	大学院 (交換留学)	語学学校	海外インターン	海外ボランティア
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	2%	1%	15%	24%	32%	5%	5%	15%	1%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	2%	3%	17%	18%	35%	8%	4%	13%	2%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	3%	2%	14%	13%	44%	5%	1%	16%	2%
日本も検討はした学生 (N=18)	0%	0%	33%	22%	22%	17%	0%	0%	6%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	3%	0%	27%	13%	38%	6%	3%	9%	1%

2-2. 留学のきっかけ

各セグメントの留学のきっかけに関する項目の集計結果は以下の表の通りである。

表 3-2- 14: 留学のきっかけに関連する項目のサマリ

セグメント		N	質問事項				
			きっかけ (平均値が 高いもの)	きっかけ に触れた 時期	言語の学 習状況	旅行・居住 経験が有 る学生の 割合	周囲の留 学経験者 の有無
日本に留 学した/留 学したい 学生	日本を決め打 ちで選んだ学 生	376	日本語 文化・歴史	高校～大 学 (学部)	日本語学 習者 90%	39%	有り 76%
	Positive に日 本を選んだ学 生	424	日本語 文化・歴史	高校～大 学 (学部)	日本語学 習者 87%	33%	有り 78%
	Negative に日 本を選んだ学 生	156	日本語 文化・歴史	高校～大 学 (学部)	日本語学 習者 88%	25%	有り 73%
他国に留 学した/留 学したい 学生	日本も検討し たが他国に留 学した学生	18	留 学 先 の 言語 文化・歴史	高校～大 学 (学部)	留学先国 言語学習 者 89%	28%	有り 78%
	日本を検討も しなかった学 生	235	留 学 先 の 言語 学校の評 判	高校～大 学 (学部)	留学先国 言語学習 者 88%	32%	有り 71%
留学しな い学生	留学に興味が 無い学生	96	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

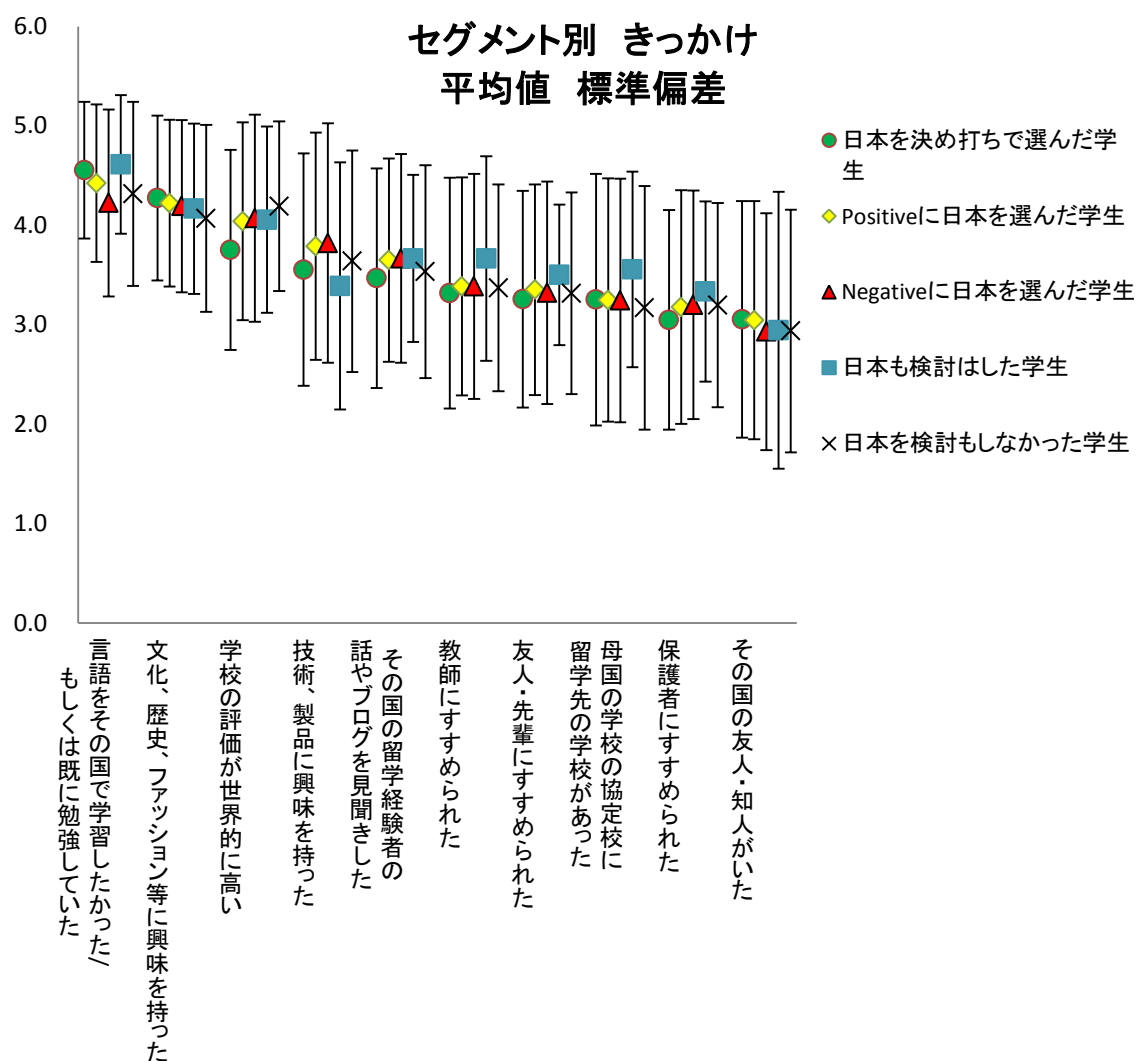
以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

①留学のきっかけ：「留学先/留学先国の国を選んだきっかけはなんですか？（1＝全くあてはまらない、5＝非常に当てはまる、の5段階評価）」

表 3-2- 15: セグメント別 留学のきっかけ（5段階評価の平均値）

項目	日本を決め打ちで選んだ学生	Positive に日本を選んだ学生	Negative に日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討もしなかった学生
言語をその国で学習したかった/ もしくは既に勉強していた	4.6	4.4	4.2	4.6	4.3
文化、歴史、ファッション等に興味を持った	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1
学校の評価が世界的に高い	3.8	4.0	4.1	4.1	4.2
技術、製品に興味を持った	3.6	3.8	3.8	3.4	3.6
その国の留学経験者の話やブログを見聞きした	3.5	3.6	3.7	3.7	3.5
教師にすすめられた	3.3	3.4	3.4	3.7	3.4
友人・先輩にすすめられた	3.3	3.4	3.3	3.5	3.3
母国の学校の協定校に留学先の学校があった	3.3	3.2	3.2	3.6	3.2
保護者にすすめられた	3.0	3.2	3.2	3.3	3.2
その国の友人・知人がいた	3.1	3.0	2.9	2.9	2.9

図 3-2- 1: セグメント別 留学のきっかけ (平均値、標準偏差)



ここでは、5段階評価の平均値で各セグメントを比較した。各セグメントともにきっかけの上位3位は「言語学習」、「文化・歴史・ファッション」、「学校の世界的評価」の回答が多く、留学先の国によらずこれらの項目が、きっかけとして及ぼす影響が大きいと考えられる。

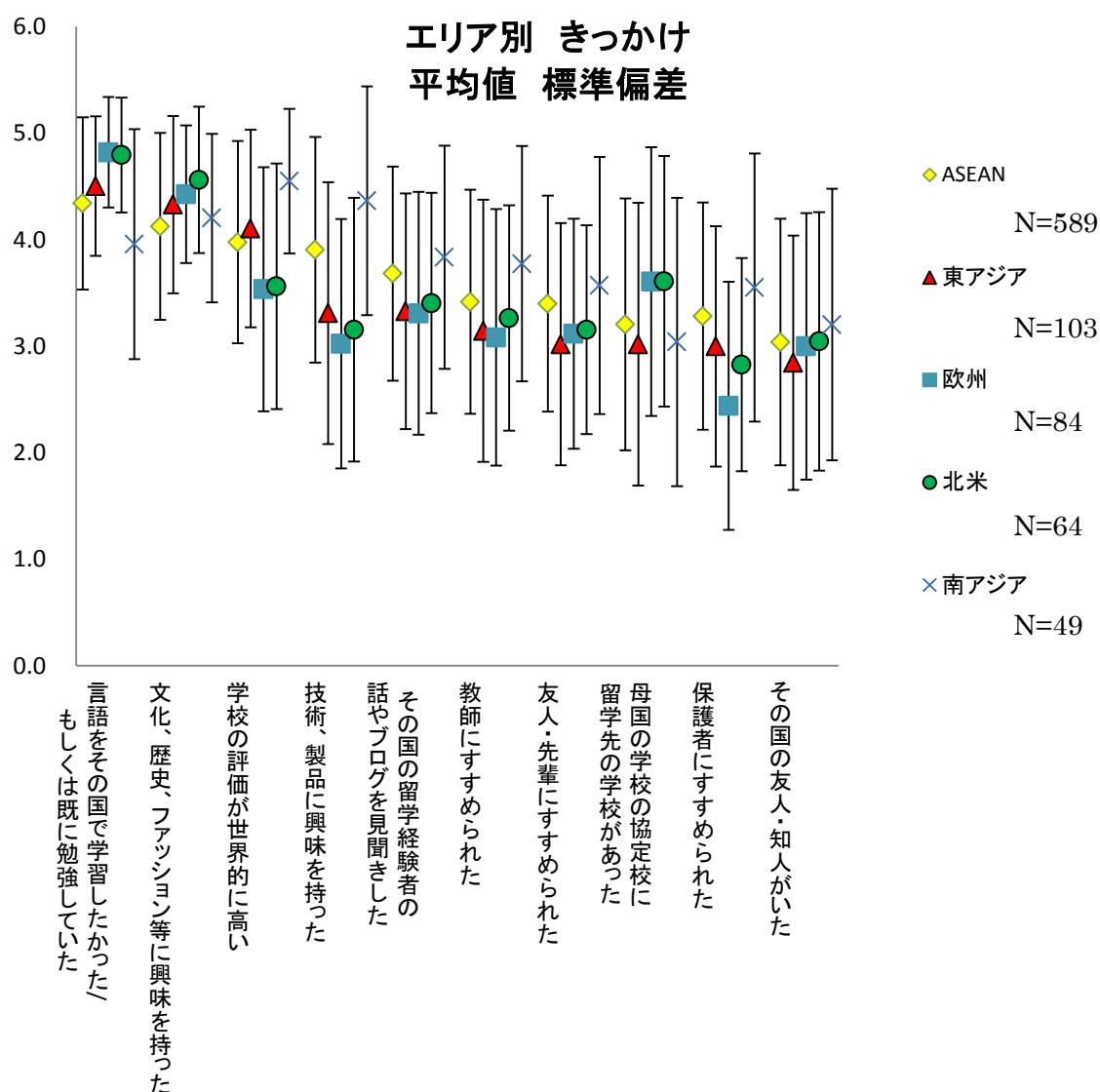
きっかけに関しては、学生の国籍のエリア別での分析も行った。文部科学省が「世界の成長戦略を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略」の中で言及している重点地域の中でも、外国人留学生の量的拡大を図るとされている東南アジア(ASEAN)を中心に、回答数が多かった上位5エリア(ASEAN、東アジア、欧州、北米、南アジア)別に、日本留学選択者(「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positiveに日本を選んだ学生」、「Negativeに日本を選んだ

学生」のセグメントを合わせたグループ) で、比較を行った。

表 3-2- 16: エリア別 留学のきっかけ (5段階評価の平均値)

項目	ASEAN (N=589)	東アジア (N=103)	欧州 (N=84)	北米 (N=64)	南アジア (N=49)
言語をその国で学習したかった/ もしくは既に勉強していた	4.3	4.5	4.8	4.8	4.0
文化、歴史、ファッション等に興味 を持った	4.1	4.3	4.4	4.6	4.2
学校の評価が世界的に高い	4.0	4.1	3.5	3.6	4.6
技術、製品に興味を持った	3.9	3.3	3.0	3.2	4.4
その国の留学経験者の 話やブログを見聞きした	3.7	3.3	3.3	3.4	3.8
教師にすすめられた	3.4	3.1	3.1	3.3	3.8
友人・先輩にすすめられた	3.4	3.0	3.1	3.2	3.6
母国の学校の協定校に 留学先の学校があった	3.2	3.0	3.6	3.6	3.0
保護者にすすめられた	3.3	3.0	2.4	2.8	3.6
その国の友人・知人がいた	3.0	2.8	3.0	3.0	3.2

図 3-2-2: エリア別 留学のきっかけ (平均値、標準偏差)



上記の集計結果から、ASEAN、東アジアの学生は「言語をその国で学習したかった/もしくは既に勉強していた」、「文化、歴史、ファッション等に興味を持った」、「学校の評価が世界的に高い」を主要なきっかけとして回答しているのに対し欧州、北米の学生は「学校の評価が世界的に高い」の代わりに「母国の学校の協定校に留学先の学校があった」を選択している割合が高く、日本の学校との協定関係の有無が日本留学のきっかけとして影響していることがうかがえる。南アジアの学生の場合は、「言語をその国で学習したかった/もしくは既に勉強していた」の代わりに「技術、製品に興味を持った」を選択している割合が高く、日本語への興味よりも日本の製品や技術に触れたことがきっかけになるケースも多いと考えられる。

②きっかけに触れた時期：「最も影響を受けたきっかけに触れた時期はいつですか？」

表 3-2- 17: きっかけに触れた時期（留学時期が大学以上の学生に絞り集計）

セグメント	中学 以前	高校	大学 (学部)	大学院	その他	合計
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=316)	14%	32%	42%	11%	1%	100%
Positive に日本を選んだ学生 (N=334)	14%	30%	44%	12%	0%	100%
Negative に日本を選んだ学生 (N=123)	6%	29%	52%	13%	0%	100%
日本も検討したが他国に留学した 学生 (N=18)	17%	39%	28%	17%	0%	100%
日本を検討もしなかった学生 (N=198)	10%	33%	43%	13%	1%	100%

留学のきっかけに触れた時期を留学時期が大学以上（大学学部および大学院）の学生に絞って集計したところ、全てのセグメントに共通して高校～大学(学部)の時期を7割以上の学生が回答している。Negative に日本を選んだ学生の場合は、中学以前にきっかけに触れたという回答が他のセグメントに比べ若干低く(6%)になっており、これらのセグメントの学生は、日本を決め打ちで選んだ学生や Positive に日本を選んだ学生のセグメントよりも遅い時期に、日本留学を検討しはじめたのではないかと推察される。

上記の結果のうち、さらに対象を絞り込み大学、大学院から日本に留学する学生が、それぞれいつ頃きっかけに触れたのかについても確認するため、留学時期を大学、大学院に分けて集計を行った。

表 3-2- 18: きっかけに触れた時期（留学時期が大学学部の学生に絞り集計）

セグメント	中学 以前	高校	大学 (学部)	その他	合計
日本を決め打ちで選んだ学生(N=170)	19%	41%	36%	4%	100%
Positive に日本を選んだ学生(N=187)	20%	35%	42%	3%	100%
Negative に日本を選んだ学生(N=58)	10%	33%	55%	2%	100%
日本も検討はした学生(N=13)	15%	46%	31%	8%	100%
日本を検討もしなかった学生(N=112)	13%	40%	39%	8%	100%

表 3-2- 19: きっかけに触れた時期（留学時期が大学院の学生に絞り集計）

セグメント	中学 以前	高校	大学 (学部)	大学院	その他	合計
日本を決め打ちで選んだ学生(N=146)	8%	21%	50%	21%	1%	100%
Positive に日本を選んだ学生(N=147)	6%	23%	46%	24%	1%	100%
Negative に日本を選んだ学生(N=65)	2%	26%	49%	23%	0%	100%
日本も検討はした学生(N=5)	20%	20%	20%	40%	0%	100%
日本を検討もしなかった学生(N=86)	6%	24%	49%	20%	1%	100%

この結果から、日本留学選択者で大学院に留学する者の場合は、約半数が大学時代にきっかけに触れており、高校以前にきっかけに触れている割合は、約 2 割であることが読み取れる。大学学部で留学するケースに比較して、高校以前にきっかけに触れている割合は 1～2 割ほど低くなっており、大学学部に留学するケースに比べて、きっかけに触れる時期が遅くなる傾向があると考えられる。

さらに、きっかけに触れた時期別に、どのようなきっかけの影響が大きかったのかを分析するために、日本留学選択者（「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」）を対象に、きっかけに触れた時期ときっかけの影響（平均値）の集計を行った。

表 3-2- 20: きっかけに触れた時期別のきっかけ（5段階評価の平均値）

項目	小学校 時代 (N=40)	中学校 時代 (N=86)	高校 時代 (N=301)	大学 時代 (N=384)	大学院 時代 (N=115)
言語をその国で学習したかった/ もしくは既に勉強していた	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3
文化、歴史、ファッション等に興味 を持った	4.4	4.5	4.2	4.2	4.1
学校の評価が世界的に高い	3.8	3.7	3.8	4.0	4.1
技術、製品に興味を持った	3.6	3.3	3.7	3.7	3.9
その国の留学経験者の話やブログを 見聞きした	3.8	3.5	3.5	3.6	3.6
教師にすすめられた	3.4	3.3	3.1	3.5	3.7
友人・先輩にすすめられた	3.4	3.2	3.2	3.3	3.7
母国の学校の協定校に留学先の学校 があった	3.6	3.1	3.3	3.3	3.1
保護者にすすめられた	3.1	3.1	3.0	3.2	3.5
その国の友人・知人がいた	3.3	2.8	2.9	3.1	3.1

上記の結果から、きっかけに触れた時期には関係なく、「日本語学習への興味」（平均値 4.3～4.7）、「日本の文化・歴史・ファッションへの興味」（平均値 4.1～4.5）、「日本の学校の世界的評価」（平均値 3.7～4.1）の項目の影響が強いという結果が得られた。

③留学先の言語の学習履歴：「留学前に留学先国/留学希望先国の言語を学習していましたか?（複数選択）」

表 3-2- 21: 留学先の言語の学習履歴

セグメント	学校の授業の中で学習	学外の教育機関等で学習	独学で学習	学習していない	学習した※
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	45%	37%	41%	10%	90%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	39%	43%	51%	13%	87%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	24%	48%	51%	12%	88%
日本も検討したが他国に留学した学生 (N=18)	28%	44%	39%	11%	89%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	44%	42%	40%	12%	88%

※「学習した」は 100% - 学習していない、として算出した。

上記の結果より、日本を留学先として選んだ学生は、セグメントを問わず約 9 割が何らかの形で日本留学前に日本語を学習した経験があると回答しており、日本語の学習経験は日本を留学先として検討する上で影響力が大きいと考えられる。また、他国を留学先として選んだ学生は、留学先国が英語圏（米国、英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール）の学生が、日本も検討したが他国に留学した学生で 67%、日本を検討もしなかった学生で 58%の割合となっており、大半は留学前に英語を学習していた経験があるものと思われる。

さらに、上記の結果から日本を留学先として選んだ学生（日本を決め打ち、Positive、Negative に日本を選択）の出身エリア、上位 5 エリア別に集計した結果を以下に示す。

表 3-2- 22: 留学先の言語の学習履歴（出身エリア別）

出身エリア	学校の授業 の中で学習	学外の教育 機関等で 学習	独学で学習	学習して いない	学習した
ASEAN (N=589)	32%	49%	48%	11%	89%
東アジア (N=103)	39%	27%	37%	13%	87%
欧州 (N=84)	70%	30%	49%	1%	99%
北米 (N=64)	77%	25%	53%	13%	88%
南アジア (N=49)	12%	16%	41%	39%	61%

※「学習した」は 100% - 学習していない、として算出した。

上記のエリア別の集計結果から、他のエリアと比較して南アジアの学生の場合は、日本語を学習したことがある割合が 6 割程度と他地域の 9 割程度に比べ低くなっていることが読み取れる。

また、留学先のエリア別（上位 5 エリア別）に留学先の言語の学習履歴を集計した結果を以下に示す。北米、欧州などの英語圏に留学する学生の場合では、（英語を）学習したことのある割合が 9 割以上となっていることがうかがえる。

表 3-2- 23: 留学先の言語の学習履歴（留学先エリア別）

留学先エリア	学校の授業 の中で学習	学外の教育 機関等で 学習	独学で学習	学習して いない	学習した
日本(N=956)	39%	41%	47%	12%	88%
欧州 (N=61)	32%	44%	38%	8%	92%
ASEAN (N=56)	41%	43%	48%	18%	82%
北米 (N=56)	61%	46%	32%	4%	96%
東アジア (N=33)	42%	30%	39%	27%	73%

※「学習した」は 100% - 学習していない、として算出した。

④留学先への旅行、留学、居住経験：「留学前に留学先国/留学希望先国に旅行、留学あるいは居住した経験はありますか? (複数回答)」

表 3-2- 24: 留学先への旅行、留学、居住経験

セグメント	旅行したことがある	留学したことがある	居住したことがある	経験は無い	経験が有る※
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	33%	9%	8%	61%	39%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	29%	9%	4%	67%	33%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	21%	6%	6%	75%	25%
日本も検討したが他国に留学した学生 (N=18)	17%	17%	0%	72%	28%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	26%	9%	6%	68%	32%

※「経験が有る」は 100% - 経験は無い、として算出した。

日本を決め打ちで選んだ学生の 39%、Positive に日本を選んだ学生の 33%が何らかの形(旅行、留学、滞在)で日本を訪れているが、Negative に日本を選んだ学生の場合、この割合は 25%であり、訪問の経験は多少なりとも留学を後押しすることになっているのではないかと考えられる。

さらに、上記の結果を日本留学選択者(「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」)を対象に、出身エリア別(上位 5 エリア)に集計した結果を以下に示す。

表 3-2- 25: 留学先への旅行、留学、居住経験(出身エリア別)

出身エリア	旅行したことがある	留学したことがある	居住したことがある	経験は無い	経験がある
ASEAN (N=589)	23%	7%	4%	72%	28%
東アジア (N=103)	38%	7%	8%	52%	48%
欧州 (N=84)	54%	12%	8%	39%	61%
北米 (N=64)	42%	17%	14%	56%	44%
南アジア (N=49)	12%	6%	4%	88%	12%

※「経験が有る」は 100% - 経験は無い、として算出した。

ASEAN、南アジアの学生は経験があるものが、それぞれ28%、12%と他エリアに比較して割合が低く、これらのエリアの学生は日本への旅行・居住経験が、日本留学のきっかけとしてはまだ他エリアの学生ほどは強くないことが推察される。

また、同様の集計を留学先エリア別（上位5エリア）に行った結果を以下に示す。

表 3-2- 26: 留学先への旅行、留学、居住経験（留学先エリア別）

留学先エリア	旅行したことがある	留学したことがある	居住したことがある	経験は無い	経験がある
日本(N=956)	29%	9%	6%	66%	34%
欧州(N=61)	23%	8%	3%	70%	30%
ASEAN(N=56)	30%	11%	5%	61%	39%
北米(N=56)	23%	9%	4%	73%	27%
東アジア(N=33)	18%	9%	6%	73%	27%

※「経験が有る」は100% - 経験は無い、として算出した。

旅行、留学、居住経験を留学先エリア別の観点から分析すると、各エリア共に概ね3割程度の学生が何らかの経験が有ると回答しているが、このなかでも、ASEAN(39%)、日本(34%)に留学している学生は他エリアに比較すると割合が高い傾向にあることが読み取れる。

⑤周囲の留学経験者の有無：「あなたの身の回りに、留学先国/留学希望先国での留学経験者はいましたか？(複数回答)」

表 3-2- 27: 周囲の留学経験者の有無

セグメント	家族・親戚に いる	友人・先輩・ 後輩にいる	学校教員等に いる	いない	いる※
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	14%	60%	34%	24%	76%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	20%	59%	32%	22%	78%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	24%	58%	26%	27%	73%
日本も検討したが他国に留学した学生 (N=18)	6%	61%	11%	22%	78%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	23%	53%	18%	29%	71%

※「いる」は 100% - いない、として算出した。

周囲の留学経験者の有無については、「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」の間で大きな差は見られず、周囲の留学経験者の多寡は、日本留学の捉え方にそれほど大きな影響を及ぼしていないように思われる。

2-3. 留学に関する意思決定プロセス

各セグメントの留学に関する意思決定プロセスに関する項目の集計結果は以下の表の通りである。

表 3-2- 28: 意思決定プロセスに関連する項目のサマリ

			質問事項				
セグメント		N	重要度（平均値が最も高いもの）	情報充実度（平均値が最も高いもの）	満足度（平均値が最も高いもの）	他国との比較（平均値が最も高いもの）	情報収集方法
日本に留学した/留学したい学生	日本を決め打ちで選んだ学生	376	治安等の生活環境	受験料・学費	治安等の生活環境	治安等の生活環境	留学情報が掲載されている Web ページ
	Positive に日本を選んだ学生	424	治安等の生活環境	治安等の生活環境	治安等の生活環境	治安等の生活環境	留学情報が掲載されている Web ページ
	Negative に日本を選んだ学生	156	受験料・学費の手頃さ	受験料・学費	治安等の生活環境	カリキュラムの内容	留学情報が掲載されている Web ページ
他国に留学した/留学したい学生	日本も検討したが他国に留学した学生	18	受験料・学費の手頃さ	（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	治安等の生活環境	留学先の学校の公式 Web ページ

	日本を検討もしなかった学生	235	治安等の生活環境	受験料・学費	治安等の生活環境	治安等の生活環境	留学情報が掲載されているWeb ページ
留学しない学生	留学に興味が無い学生	96	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

①留学先を決定する上で重視する項目：「留学先を決定した理由について、以下の項目がどの程度影響があったか（重要か）を5段階で評価して下さい。（1 = 全く重要でない、5 = 非常に重要、の5段階評価）」

図 3-2- 3: セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）

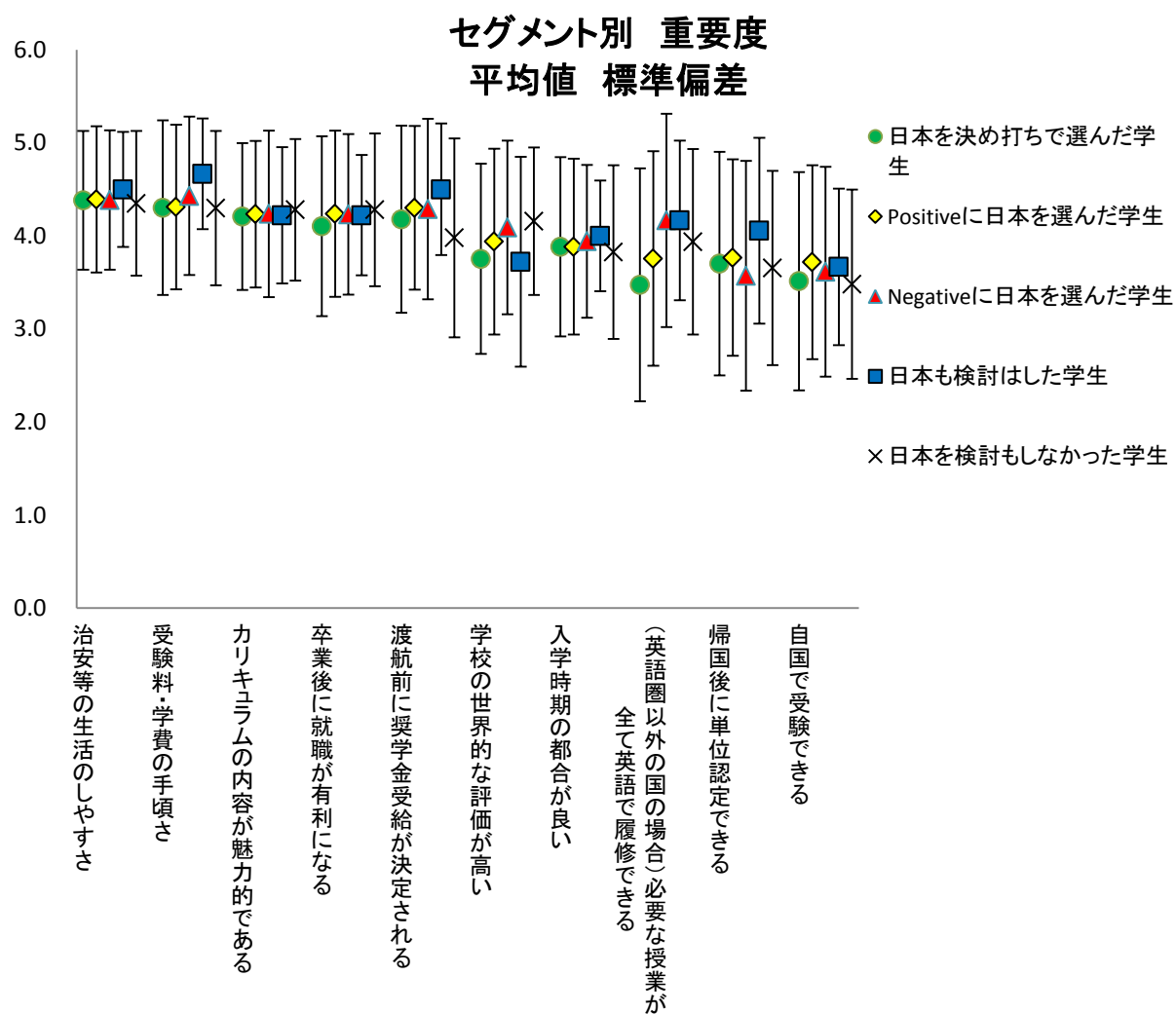


表 3-2- 29: セグメント別 重要度（平均値、標準偏差）

項目	重要度 平均					重要度 標準偏差				
	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討しなかった学生	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討しなかった学生
治安等の生活のしやすさ	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	0.7	0.8	0.7	0.6	0.8
受験料・学費の手頃さ	4.3	4.3	4.4	4.7	4.3	0.9	0.9	0.9	0.6	0.8
カリキュラムの内容が魅力的である	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	0.8	0.8	0.9	0.7	0.8
卒業後に就職が有利になる	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	1.0	0.9	0.9	0.6	0.8
渡航前に奨学金受給が決定される	4.2	4.3	4.3	4.5	4.0	1.0	0.9	1.0	0.7	1.1
学校の世界的な評価が高い	3.8	3.9	4.1	3.7	4.2	1.0	1.0	0.9	1.1	0.8
入学時期の都合が良い	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	1.0	0.9	0.8	0.6	0.9
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で履修できる	3.5	3.8	4.2	4.2	3.9	1.3	1.2	1.1	0.9	1.0
帰国後に単位認定できる	3.7	3.8	3.6	4.1	3.7	1.2	1.1	1.2	1.0	1.0
自国で受験できる	3.5	3.7	3.6	3.7	3.5	1.2	1.0	1.1	0.8	1.0

上記の表 3-2-23 を「日本留学選択者」と「他国留学選択者」のグループで集計した結果を以下に示す。

表 3-2- 30: グループ別 重要度（平均値）

重要度（平均値）	日本留学選択者	他国留学選択者
治安等の生活しやすさ	4.4	4.4
受験料・学費の手頃さ	4.3	4.3
カリキュラムの内容が魅力的である	4.2	4.3
卒業後に就職が有利になる	4.2	4.3
渡航前に奨学金受給が決定される	4.3	4.0
学校の世界的な評価が高い	3.9	4.1
入学時期の都合が良い	3.9	3.8
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.7	4.0
帰国後に単位認定できる	3.7	3.7
自国で受験できる	3.6	3.5

日本留学選択者（「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」と、他国留学選択者（「日本も検討したが他国に留学した学生」、「日本を検討しなかった学生」）の両者に共通して、「治安等の生活のしやすさ」と「受験料・学費の手頃さ」が重視する項目の上位 3 位以内に含まれており、留学先を問わずこれらの 2 項目は学生の関心が高いと推察される。

重要度については、さらに留学期間の長さがどのように影響するかを分析するため、日本留学選択者（「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」）のセグメントを合わせたグループで留学期間別に重要度の平均値の比較を行った。

図 3-2- 4: 留学期間別 重要度（平均値、標準偏差）

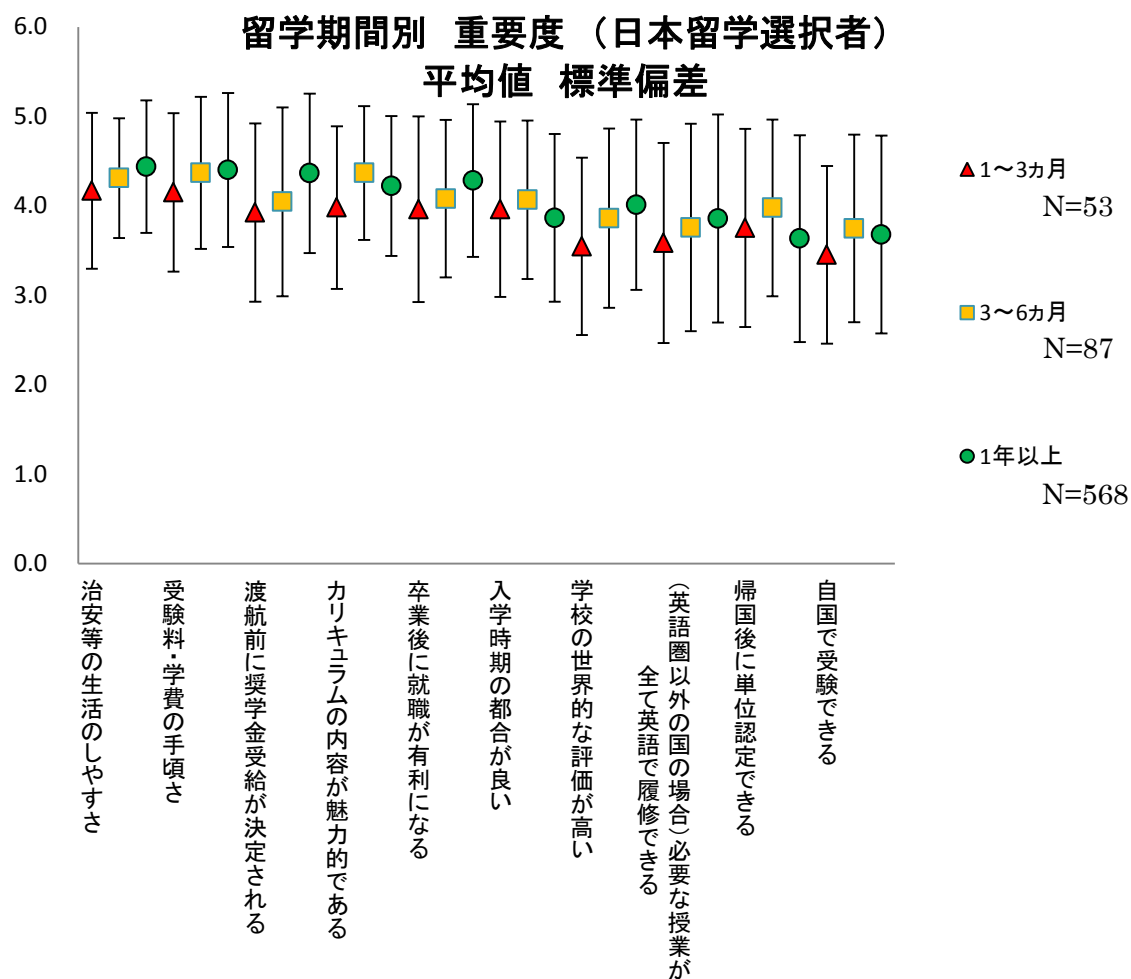


表 3-2- 31: 留学期間別 重要度（平均値）

項目	重要度 平均		
	1～3ヵ月	3～6ヵ月	1年以上
治安等の生活のしやすさ	4.2	4.3	4.4
受験料・学費の手頃さ	4.2	4.4	4.4
渡航前に奨学金受給が決定される	3.9	4.0	4.4
カリキュラムの内容が魅力的である	4.0	4.4	4.2
卒業後に就職が有利になる	4.0	4.1	4.3
入学時期の都合が良い	4.0	4.1	3.9
学校の世界的な評価が高い	3.5	3.9	4.0
（英語圏以外の国の場合）必要な授業 が全て英語で履修できる	3.6	3.8	3.9
帰国後に単位認定できる	3.8	4.0	3.6
自国で受験できる	3.5	3.7	3.7

この結果により、留学期間が長いほど「治安等の生活のしやすさ」と「受験料・学費の手頃さ」は重視される傾向にあることが判明した。一方で留学期間の長さが 1～3 ヶ月、3～6 ヶ月の場合は、「カリキュラムの内容が魅力的である」を重視する回答が多いが、留学期間の長さが 1 年以上の場合では「渡航前に奨学金受給が決定される」および「卒業後に就職が有利になる」点を重視するという回答が多く、長期間の留学の場合は奨学金が受給できるか否か、また留学経験が卒業後の就職にプラスに働くかが、留学先を検討する上での意思決定に影響するのではないかと推察される。

また、重要度については留学目的（単位取得、学位取得、それ以外）による差異の有無を分析するため、上記の留学期間の場合と同様に日本留学選択者のセグメントを合わせたグループで留学目的別に重要度の平均値の比較を行った。

図 3-2- 5: 留学目的別 重要度（平均値、標準偏差）

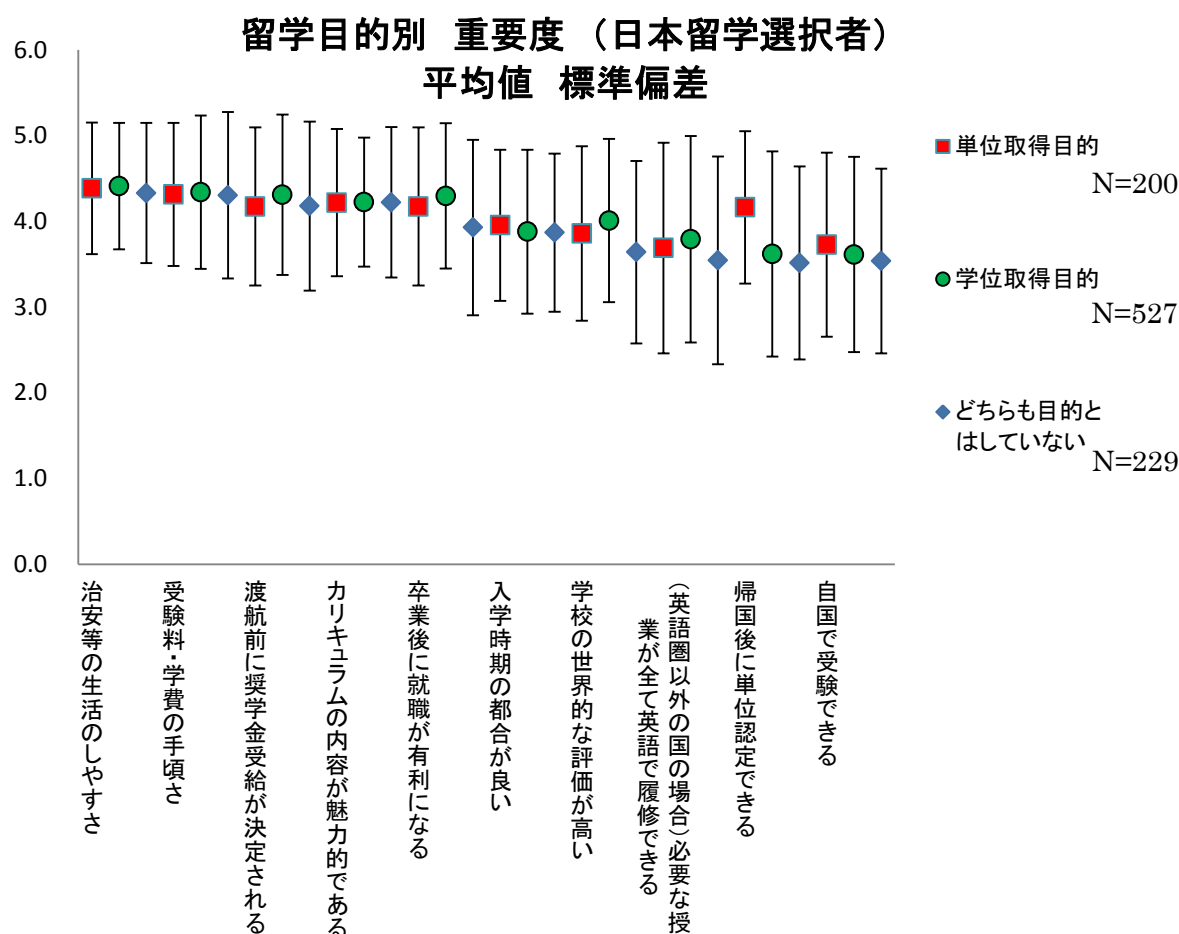


表 3-2- 32: 留学目的別 重要度（平均値）

項目	重要度 平均		
	単位取得 目的	学位取得 目的	どちらも 目的とは していな い
治安等の生活のしやすさ	4.4	4.4	4.3
受験料・学費の手頃さ	4.3	4.3	4.3
渡航前に奨学金受給が決定される	4.2	4.3	4.2
カリキュラムの内容が魅力的である	4.2	4.2	4.2
卒業後に就職が有利になる	4.2	4.3	3.9
入学時期の都合が良い	4.0	3.9	3.9
学校の世界的な評価が高い	3.9	4.0	3.6
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で履修できる	3.7	3.8	3.5
帰国後に単位認定できる	4.2	3.6	3.5
自国で受験できる	3.7	3.6	3.5

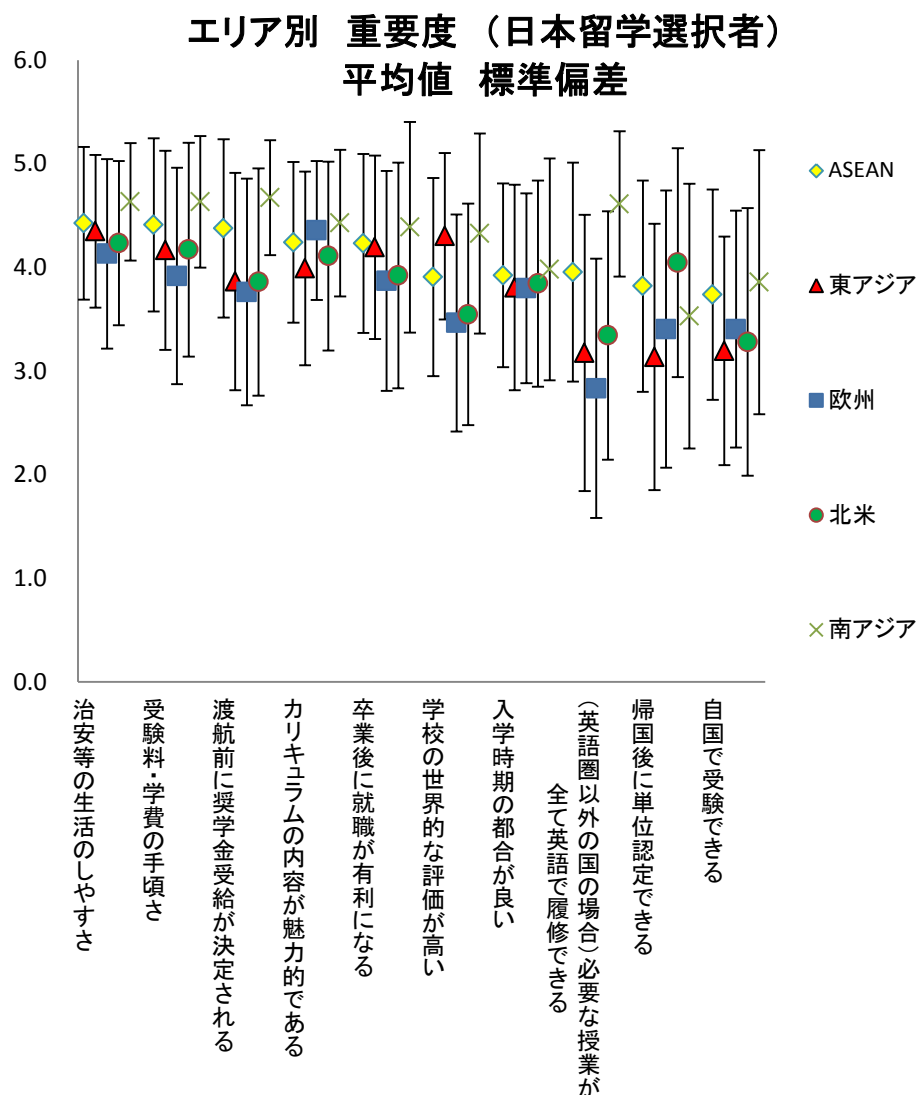
上記の結果より、留学目的に関わらず「治安等の生活のしやすさ」、「受験料・学費の手頃さ」が重視されていることが理解できる。差が見られる部分としては、単位取得目的の学生では、「帰国後に単位認定できる」が当然ながら重視されている点が挙げられる。また、学位取得目的の学生では「渡航前に奨学金受給が決定される」を重視する回答が多く、学位取得を目的とする留学の場合は、単位取得の場合よりも一般的には学費が高くなるという状況が反映された回答となっているものと思われる。

重要度については、さらに学生の国籍のエリア別での分析も行った。今回、回答数が多かった上位 5 エリア（ASEAN、東アジア、欧州、北米、南アジア）別に、日本留学選択者（「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」）のセグメントを合わせたグループで、比較を行った。

表 3-2- 33: 出身エリア別 重要度（平均値）

項目	ASEAN	東アジア	欧州	北米	南アジア
治安等の生活のしやすさ	4.4	4.3	4.1	4.2	4.6
受験料・学費の手頃さ	4.4	4.2	3.9	4.2	4.6
渡航前に奨学金受給が決定される	4.4	3.9	3.8	3.9	4.7
カリキュラムの内容が魅力的である	4.2	4.0	4.4	4.1	4.4
卒業後に就職が有利になる	4.2	4.2	3.9	3.9	4.4
学校の世界的な評価が高い	3.9	4.3	3.5	3.5	4.3
入学時期の都合が良い	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で履修できる	4.0	3.2	2.8	3.3	4.6
帰国後に単位認定できる	3.8	3.1	3.4	4.0	3.5
自国で受験できる	3.7	3.2	3.4	3.3	3.9

図 3-2- 6: 出身エリア 重要度（平均値、標準偏差）



エリア別での比較の結果としては、全てのエリアで共通して「治安等の生活のしやすさ」が上位3位以内に重視される項目として挙げられていた。エリアごとの差異としては、ASEAN、南アジアの学生は「受験料・学費の手頃さ」、「渡航前に奨学金受給が決定される」という経済面を重視するという回答が多かった。これに対し、東アジアの学生は「卒業後に就職が有利になる」、「学校の世界的な評価が高い」という観点を重視するという傾向があった。欧州、北米の学生は ASEAN、南アジアの場合の「渡航前に奨学金受給が決定される」という項目の代わりに、「カリキュラムの内容が魅力的である」ことを重視するという結果となり、エリアごとに共通する項目と差異がある項目とが明らかになった。

②重視する項目の情報充実度：「重視する項目それぞれについて、情報が十分に得られたかどうかを教えてください。（1 = 全く情報が無かった、5 = 十分な情報が有った、の5段階評価）」

図 3-2- 7: セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）

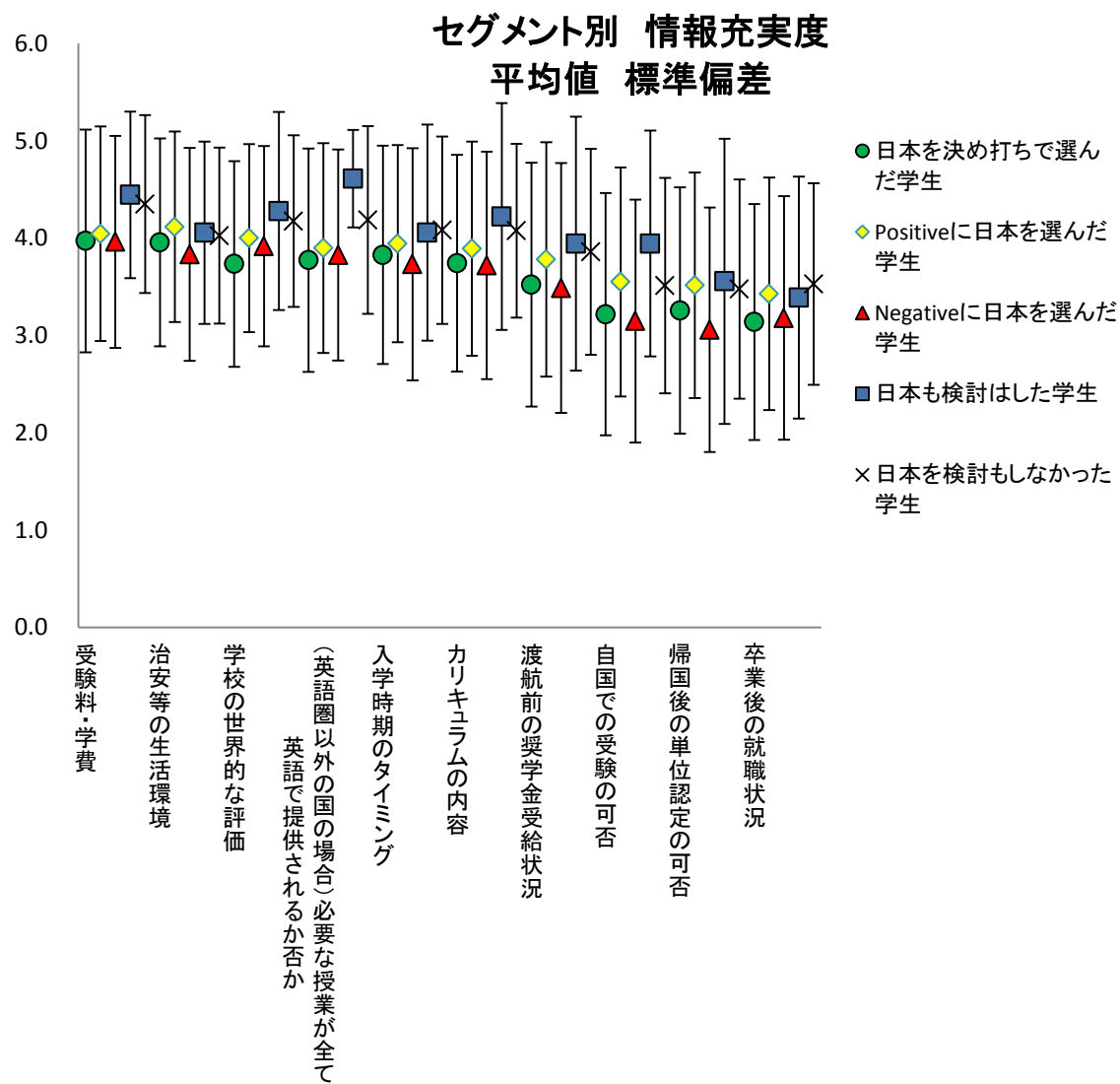


表 3-2- 34: セグメント別 情報充実度（平均値、標準偏差）

項目	情報充実度 平均					情報充実度 標準偏差				
	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討した学生	日本を検討しなかった学生	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討した学生	日本を検討しなかった学生
受験料・学費	4.0	4.0	4.0	4.4	4.3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9
治安等の生活環境	4.0	4.1	3.8	4.1	4.0	1.1	1.0	1.1	0.9	0.9
学校の世界的な評価	3.7	4.0	3.9	4.3	4.2	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.8	3.9	3.8	4.6	4.2	1.1	1.1	1.1	0.5	1.0
入学時期のタイミング	3.8	3.9	3.7	4.1	4.1	1.1	1.0	1.2	1.1	1.0
カリキュラムの内容	3.7	3.9	3.7	4.2	4.1	1.1	1.1	1.2	1.2	0.9
渡航前の奨学金受給状況	3.5	3.8	3.5	3.9	3.9	1.3	1.2	1.3	1.3	1.1
自国での受験の可否	3.2	3.5	3.1	3.9	3.5	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.5	3.1	3.6	3.5	1.3	1.2	1.3	1.5	1.1
卒業後の就職状況	3.1	3.4	3.2	3.4	3.5	1.2	1.2	1.3	1.2	1.0

上記の表 3-2-28 を「日本留学選択者」と「他国留学選択者」のグループで集計した結果を以下に示す。

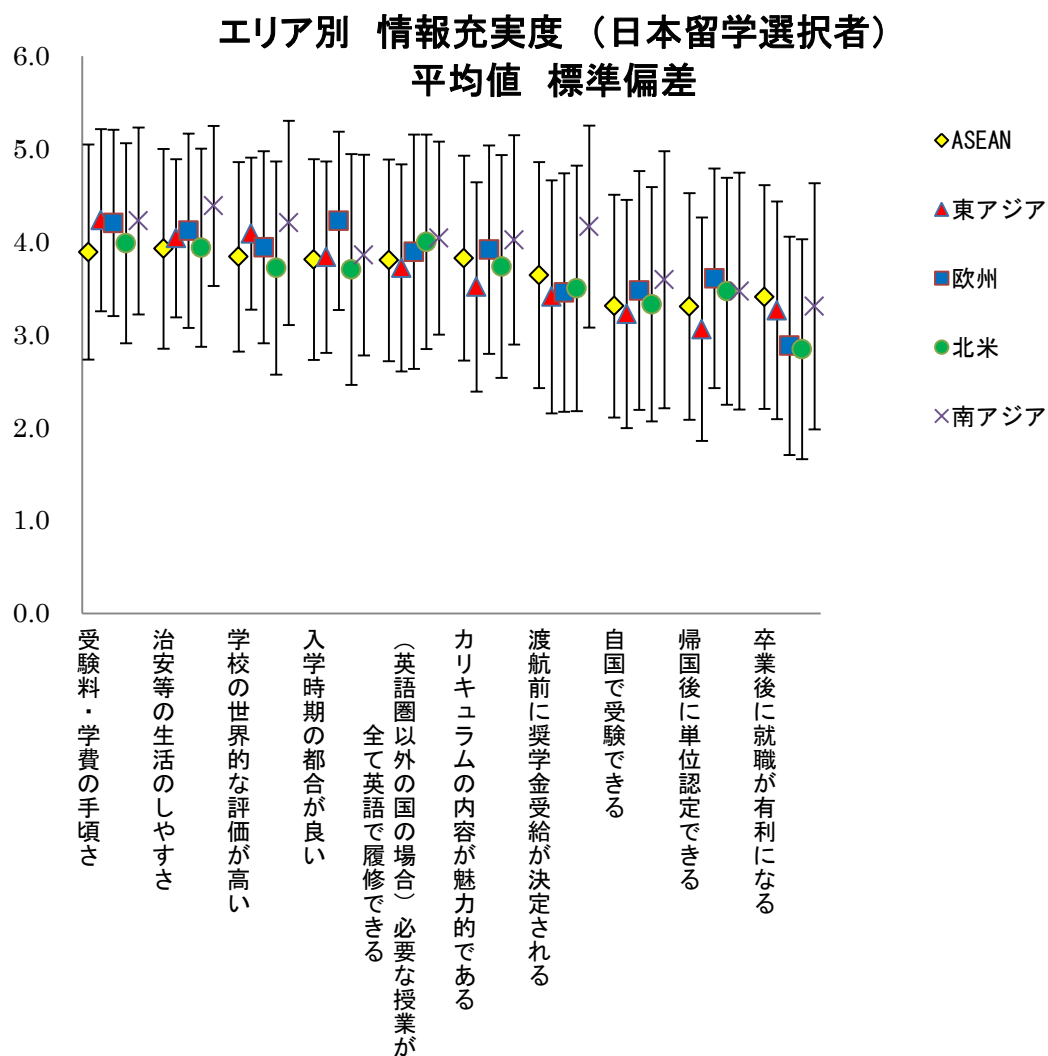
表 3-2- 35: グループ別 情報充実度（平均値）

情報充実度（平均値）	日本留学選択者	他国留学選択者
受験料・学費	4.0	4.4
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.8	4.2
学校の世界的な評価	3.9	4.2
卒業後の就職状況	3.3	3.5
入学時期のタイミング	3.9	4.1
カリキュラムの内容	3.8	4.1
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.5
自国での受験の可否	3.4	3.5
渡航前の奨学金受給状況	3.6	3.9
治安等の生活環境	4.0	4.0

情報の充実度については、全体的な傾向として日本留学選択者の方が他国留学選択者に比べて、平均値が低くなっている。（「日本を決め打ちで選んだ学生」の全項目の平均値は 3.6 であるのに対し、「日本も検討した学生」の場合は 4.0、「日本を検討しなかった学生」の場合は、3.9 となっている。）この結果は、日本留学の情報が他国留学の情報に比べ学生に認知されていない可能性を示唆しているとも考えられる。

さらに情報の充実度については、重要度と同様の観点でエリア別の比較を行った。

図 3-2- 8: エリア別 情報充実度（平均値、標準偏差）



上記の集計結果から、全てのエリアで共通して「受験料・学費」、「治安等の生活面」についての情報は、比較的十分に得られたという回答が多かった。ASEAN、東アジア、南アジアの学生の場合は、これに加え「学校の世界的な評価」についての情報が充実していたという結果となった。一方で北米の場合は、「学校の世界的な評価」の代わりに「(英語圏以外の国の場合) 必要な授業が全て英語で履修できる」という項目が選ばれており、このことは学生が英語で授業を受講できるかについて、より詳細に調べているからではないかと推察される。欧州の場合は「学校の世界的な評価」の代わりに「入学時期の都合」が選ばれており、留学に際して日本と自国の学校との学事スケジュールとを比較して、留学のタイミングを検討する学生が多いという可能性が考えられる。

③重視する項目の満足度：「重視する項目それぞれについて、自分が希望する条件がどの程

度満たされていたかを5段階で評価して下さい。(1 = 全く条件に合わなかった、5 = 完全に条件に合った、の5段階評価)」

図 3-2- 9: セグメント別 満足度 (平均値、標準偏差)

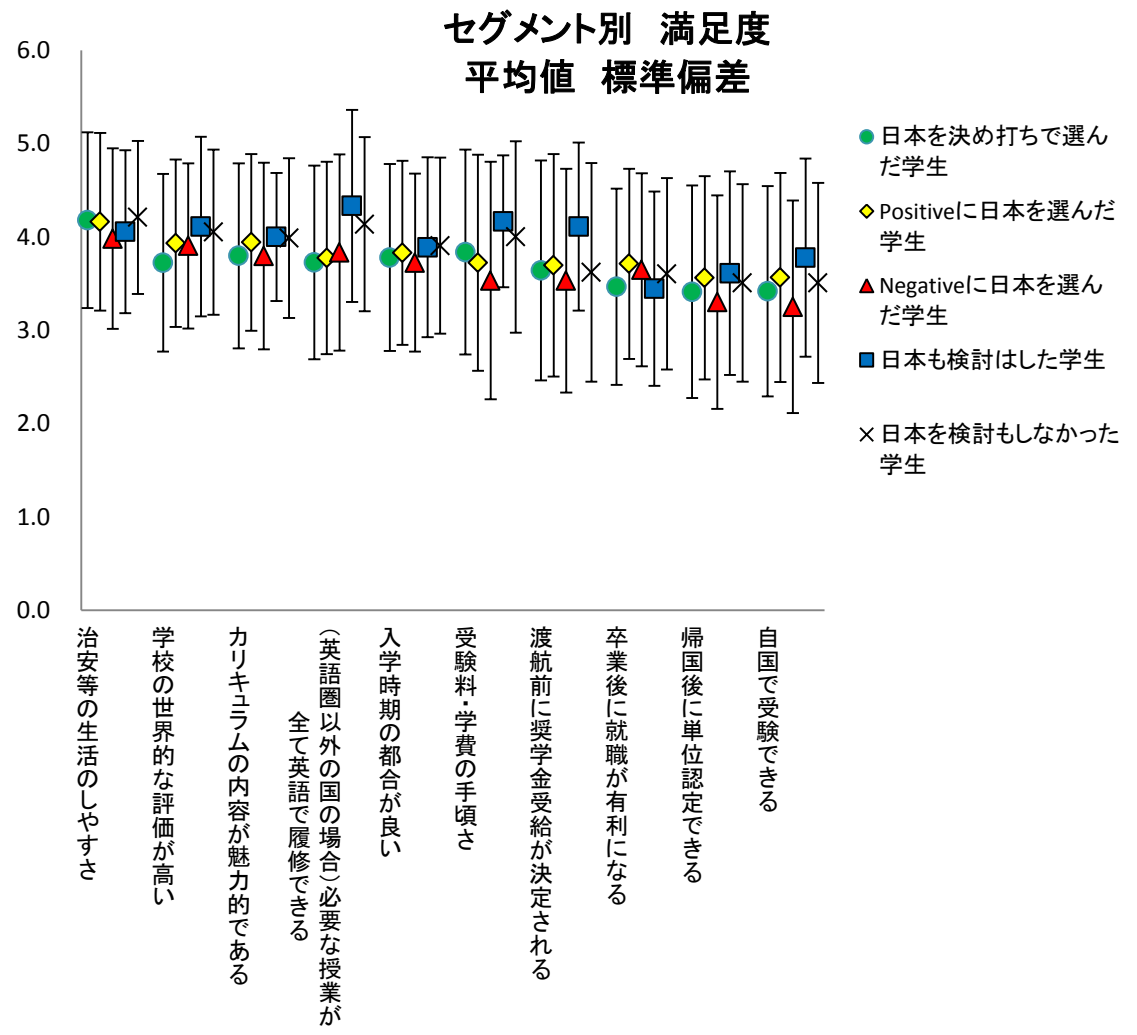


表 3-2- 36: セグメント別 満足度 (平均値、標準偏差)

項目	満足度 平均					満足度 標準偏差				
	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討もしなかった学生	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討もしなかった学生
治安等の生活のしやすさ	4.2	4.2	4.0	4.1	4.2	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8
学校の世界的な評価が高い	3.7	3.9	3.9	4.1	4.1	1.0	0.9	0.9	1.0	0.9
カリキュラムの内容が魅力的である	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	1.0	0.9	1.0	0.7	0.9
(英語圏以外の国の場合)必要な授業が全て英語で履修できる	3.7	3.8	3.8	4.3	4.1	1.0	1.0	1.1	1.0	0.9
入学時期の都合が良い	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9
受験料・学費の手頃さ	3.8	3.7	3.5	4.2	4.0	1.1	1.2	1.3	0.7	1.0
渡航前に奨学金受給が決定される	3.6	3.7	3.5	4.1	3.6	1.2	1.2	1.2	0.9	1.2
卒業後に就職が有利になる	3.5	3.7	3.6	3.4	3.6	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0
帰国後に単位認定できる	3.4	3.6	3.3	3.6	3.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
自国で受験できる	3.4	3.6	3.3	3.8	3.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1

上記の表 3-2-30 を「日本留学選択者」と「他国留学選択者」のグループで集計した結果を以下に示す。

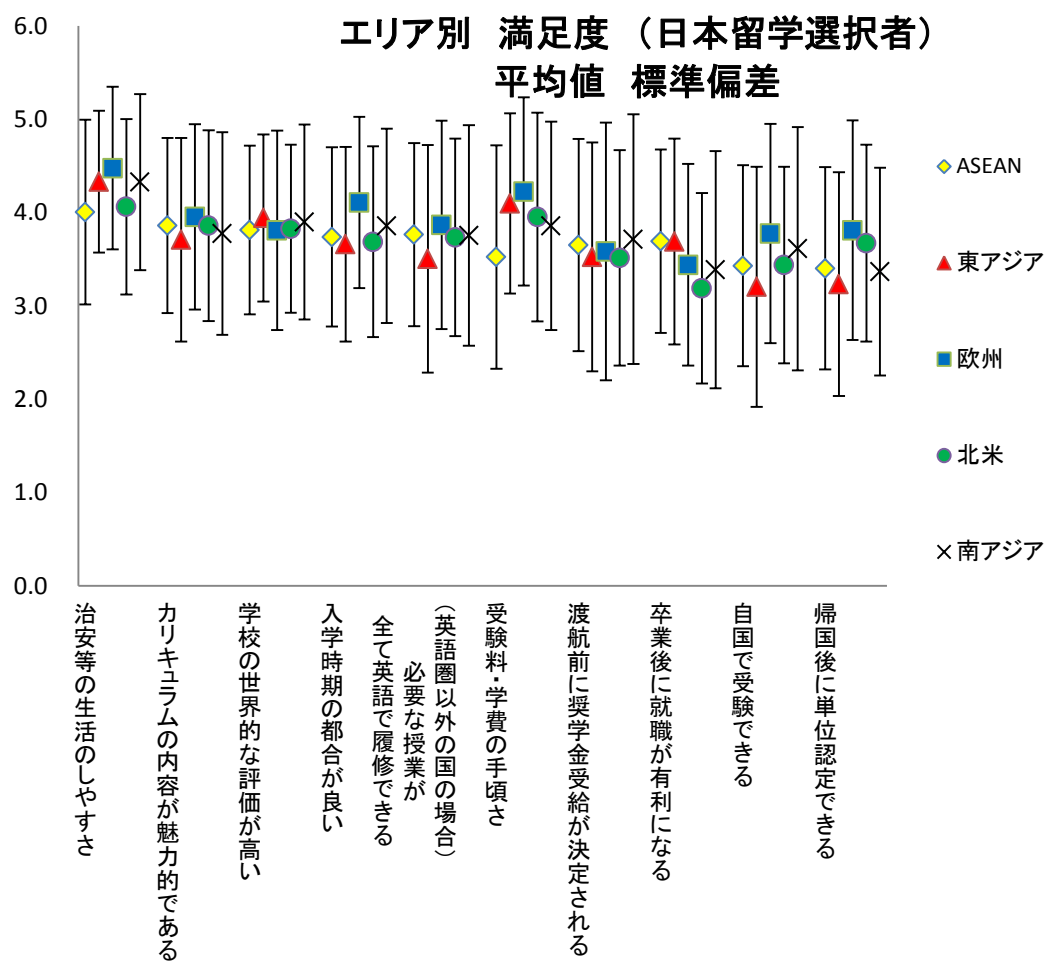
表 3-2- 37: グループ別 満足度（平均値、標準偏差）

満足度（平均値）	日本留学選択者	他国留学選択者
受験料・学費	3.7	4.0
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.8	4.2
学校の世界的な評価	3.8	4.1
卒業後の就職状況	3.6	3.6
入学時期のタイミング	3.8	3.9
カリキュラムの内容	3.9	4.0
帰国後の単位認定の可否	3.5	3.5
自国での受験の可否	3.5	3.5
渡航前の奨学金受給状況	3.6	3.7
治安等の生活環境	4.1	4.2

満足度については、日本留学選択者の場合は「治安等の生活環境」が 1 位として挙げられている。これに対し、「日本も検討した学生」の場合は、「（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で履修できる」ことを 1 位として、また「日本を検討もしなかった学生」の場合は 2 位と回答しており、英語での授業の実施に対する要望が強いと思われる。

さらに満足度については、重要度と同様の観点でエリア別の比較を行った。満足度についても前述の「重要度」、「情報充実度」と同様に「治安等の生活のしやすさ」については全てのエリアで上位 3 位以内に選択されていた。エリア別の差異としては、ASEAN では「カリキュラムの内容が魅力的である」、「学校の世界的な評価が高い」が選択されている一方で、東アジアと南アジアでは「受験料・学費の手頃さ」と「学校の世界的な評価が高い」点に満足しているという回答が多かった。北米の場合は「カリキュラムの内容が魅力的である」と「受験料・学費の手頃さ」が、欧州の場合は「入学時期の都合が良い」、「受験料・学費の手頃さ」が選ばれていた。ASEAN エリア以外では「受験料・学費の手頃さ」に満足しているという回答が多かったが、ASEAN の回答が少なかった理由としては、今後より詳細な調査を実施し、確認する必要がある。

図 3-2- 10: エリア別 満足度（平均値、標準偏差）



④重視する項目の他国との比較：「重視する項目それぞれについて、他国と比較して留学先がどの程度すぐれていたかを教えてください。（1＝他国の方が非常に優れていた、5＝留学先国の方が非常に優れていた、の5段階評価）」

図 3-2- 11: セグメント別 比較度（平均値、標準偏差）

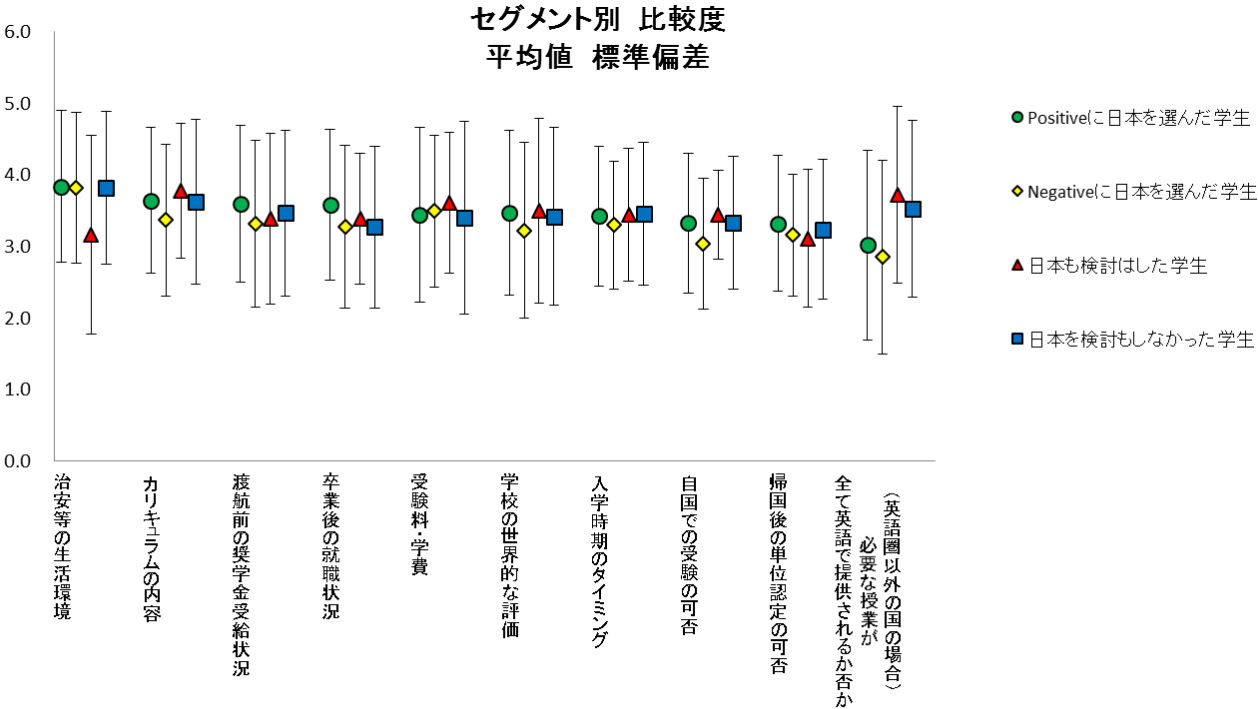


表 3-2- 38: セグメント別 比較度（平均値、標準偏差）

項目	比較度 平均					比較度 標準偏差				
	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討しなかった学生	日本を決め打ちで選んだ学生	Positiveに日本を選んだ学生	Negativeに日本を選んだ学生	日本も検討はした学生	日本を検討しなかった学生
治安等の生活環境	3.8	3.8	3.2	3.8	3.8	1.1	1.1	1.4	1.1	1.1
カリキュラムの内容	3.6	3.4	3.8	3.6	3.6	1.0	1.1	0.9	1.1	1.1
渡航前の奨学金受給状況	3.6	3.3	3.4	3.5	3.5	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1
卒業後の就職状況	3.6	3.3	3.4	3.3	3.4	1.1	1.1	0.9	1.1	1.1
受験料・学費	3.4	3.5	3.6	3.4	3.4	1.2	1.1	1.0	1.3	1.2
学校の世界的な評価	3.5	3.2	3.5	3.4	3.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2
入学時期のタイミング	3.4	3.3	3.4	3.5	3.4	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0
自国での受験の可否	3.3	3.0	3.4	3.3	3.3	1.0	0.9	0.6	0.9	1.0
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.0	2.9	3.7	3.5	3.1	1.3	1.4	1.2	1.2	1.3

上記の表 3-2-32 を「日本留学選択者」と「他国留学選択者」のグループで集計した結果を以下に示す。

表 3-2- 39: グループ別 比較度（平均値、標準偏差）

比較度（平均値）	日本留学選択者	他国留学選択者
受験料・学費	3.5	3.4
（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か	3.0	3.5
学校の世界的な評価	3.4	3.4
卒業後の就職状況	3.5	3.3
入学時期のタイミング	3.4	3.5
カリキュラムの内容	3.6	3.6
帰国後の単位認定の可否	3.3	3.2
自国での受験の可否	3.3	3.3
渡航前の奨学金受給状況	3.5	3.5
治安等の生活環境	3.8	3.8

他国との比較という観点では、「日本を決め打ちで選んだ学生」および「Positive に日本を選んだ学生」の場合は、「治安等の生活環境」が日本の方が優れていたという回答が最も多く、多くの学生が日本の治安を高く評価していると考えられる。一方で、「日本も検討はした学生」の場合は、「治安等の生活環境」に加え、「カリキュラム内容」、「（英語圏以外の国の場合）必要な授業が全て英語で提供されるか否か」が他国の方が優れていたと回答しており、学生にとって魅力的なカリキュラムを英語で提供することは、留学生を惹きつける上で有効ではないかと考えられる。

参考までに、各セグメントの学生が留学した国/留学希望国に対して、比較・検討した国を以下に示す。

表 3-2- 40: セグメント別 比較・検討国

比較・検討した国	Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	日本を検討もしなかった学生 (N=158)
オーストラリア	9%	12%	13%
カナダ	3%	4%	8%
中国	5%	5%	6%
フランス	2%	1%	3%
ドイツ	8%	8%	4%
日本	12%	1%	0%
韓国	6%	5%	5%
シンガポール	7%	6%	9%
英国	9%	13%	15%
米国	21%	29%	18%
ベトナム	2%	2%	3%
その他	15%	13%	17%

⑤重要度と情報充実度とを合わせた観点からの分析

①で分析した「留学を決定する上で重視する項目（重要度）」と②で分析した「重視する項目の情報充実度」について、「日本留学選択者」（「日本を決め打ちで選んだ学生」、「Positive に日本を選んだ学生」、「Negative に日本を選んだ学生」）と、他国留学選択者（「日本も検討したが他国に留学した学生」、「日本を検討もしなかった学生」）のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-2- 12: 日本留学選択者 重要度 x 情報充実度

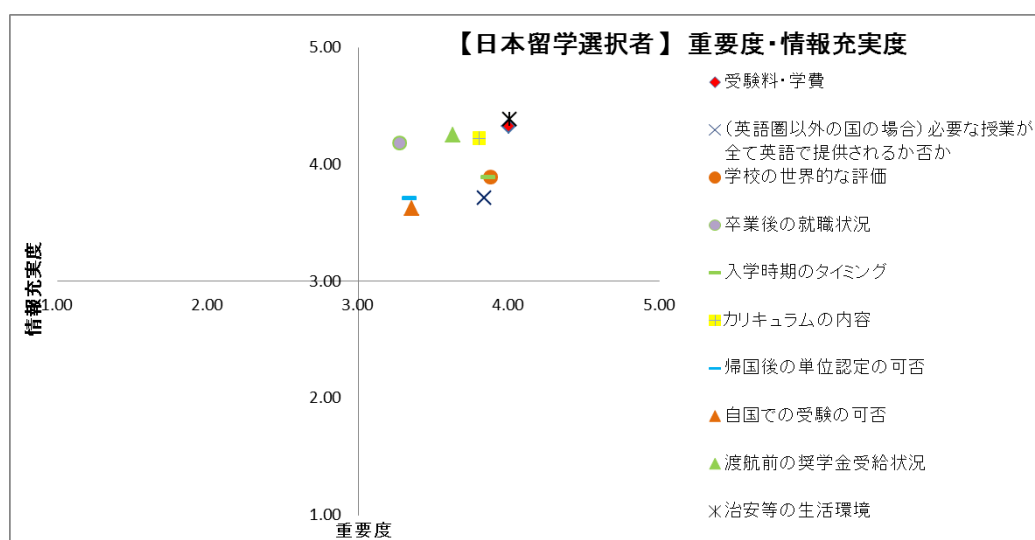
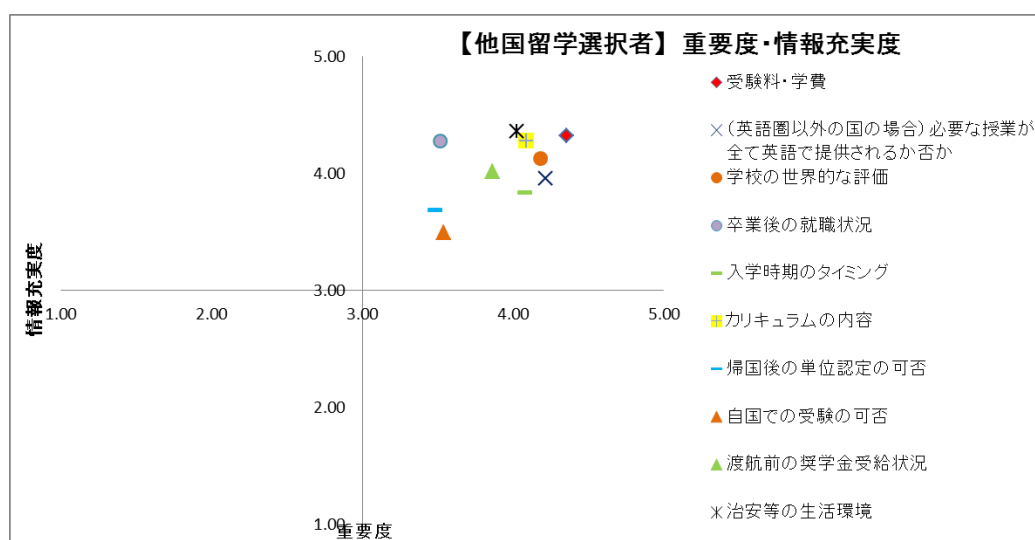


図 3-2- 13: 他国留学選択者 重要度 x 情報充実度



上記の結果より、日本留学選択者、他国留学選択者ともに重要度の高い項目については、概ね情報充実度も高いことが読み取れる。「受験料・学費」、「(英語圏以外の国の場合) 必要な授業が全て英語で提供されるか否か」の項目については、重要度は両グループで同程度であるが、情報充実度は他国留学選択者の方が高くなっており、日本留学に関するこれらの情報が、留学志望者にとってわかりにくい可能性も考えられる。

※当分析の元データである重要度、情報充実度の回答実数を補足資料に添付した。

⑥重要度と満足度とを合わせた観点からの分析

①で分析した「留学を決定する上で重視する項目（重要度）」と③で分析した「重視する項目の満足度」について、前述の⑤と同様に日本留学選択者と、他国留学選択者のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-2- 14: 日本留学選択者 重要度 x 満足度

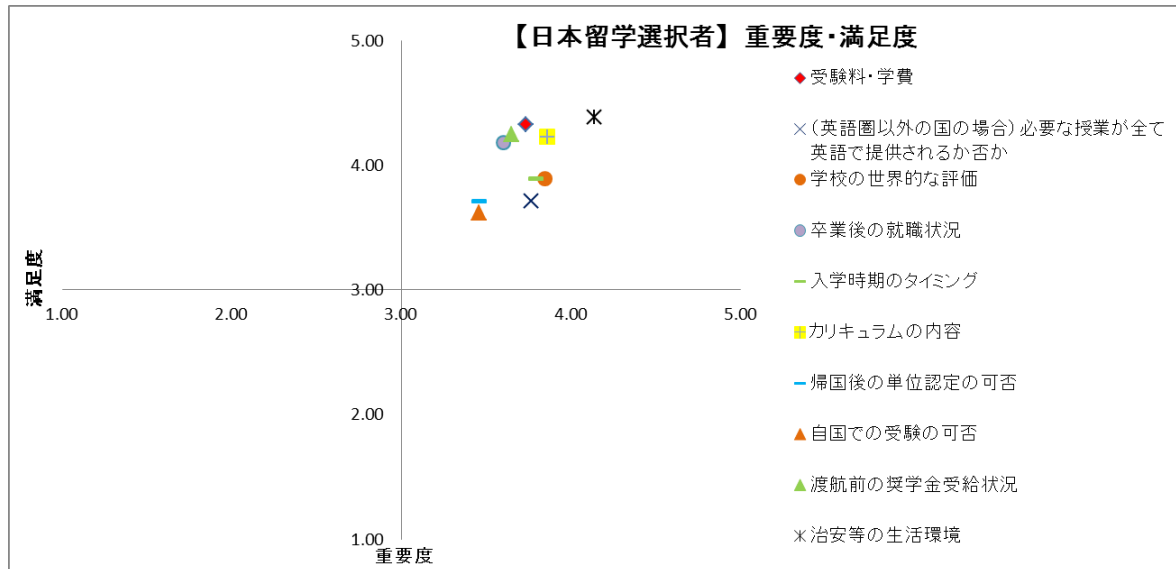
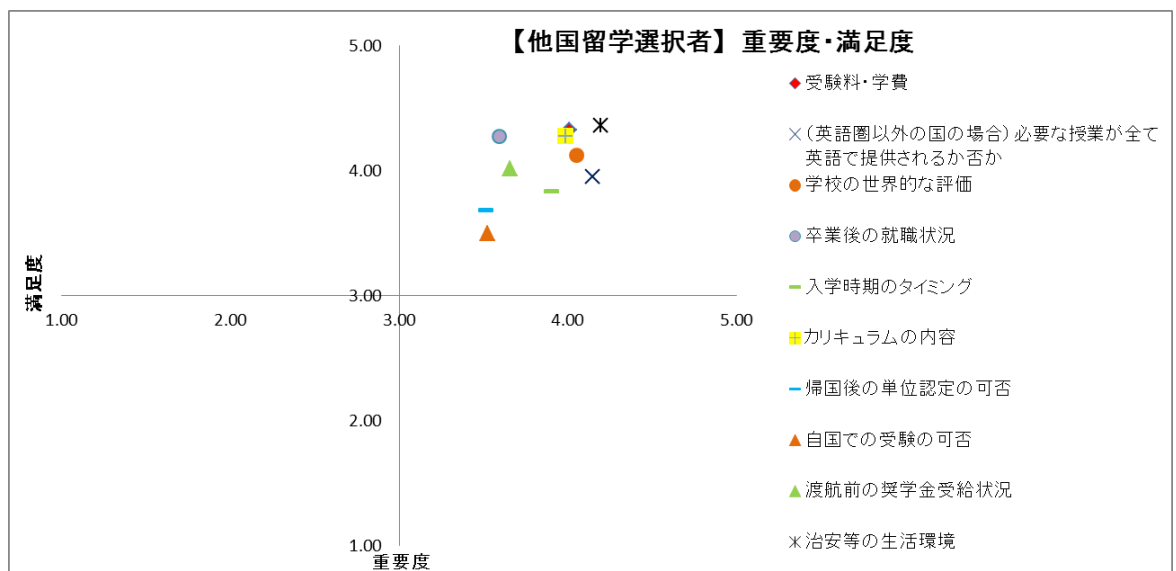


図 3-2- 15: 他国留学選択者 重要度 x 満足度



重要度と満足度との組み合わせでは、どちらのグループも概ね同じような傾向を示しているが、「(英語圏以外の国の場合) 必要な授業が全て英語で提供されるか否か」の項目について

は、他国留学選択者のグループで満足度が高いことが読み取れる。このことは、日本の学校での英語コースの提供状況が、留学志望者のニーズを十分には満たしていないことを示しているとも解釈できる。

※当分析の元データである重要度、満足度の回答実数を補足資料に添付した。

⑦重要度と比較度とを合わせた観点からの分析

①で分析した「留学を決定する上で重視する項目（重要度）」と④で分析した「重視する項目の他国との比較（比較度）」について、前述の⑤と同様に日本留学選択者と、他国留学選択者のグループとで、平均値の違いの比較を行った。

図 3-2- 16: 日本留学選択者 重要度 x 比較度

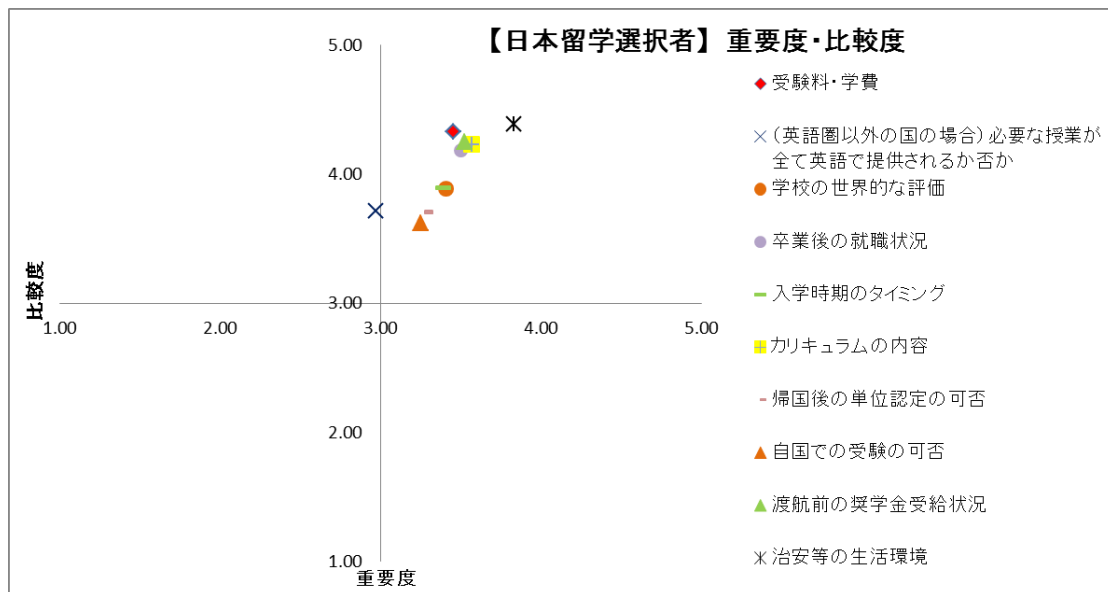
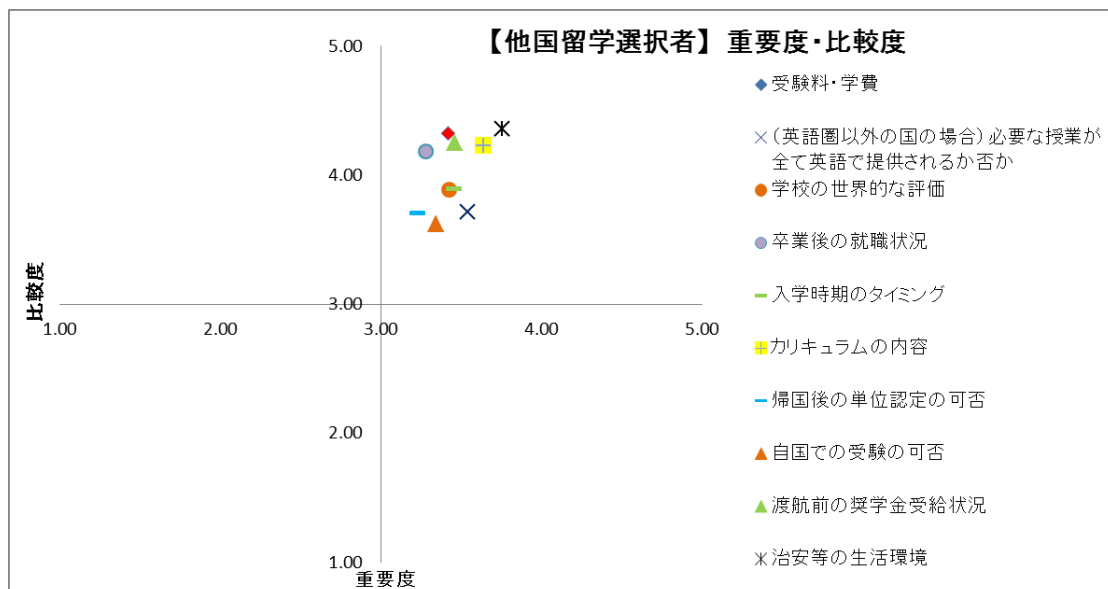


図 3-2- 17: 他国留学選択者 重要度 x 比較度



上記の図より、日本留学選択者の場合は、「(英語圏以外の国の場合) 必要な授業が全て英語で提供されるか否か」の項目の比較度の平均値が、他国留学選択者の場合に比べて、低くなっており、⑥の場合と同様に日本の学校での英語コースの提供状況に対する評価が低いことを示唆していると考えられる。

※当分析の元データである重要度、比較度の回答実数を補足資料に添付した。

⑧ 満足度と情報充実度とを合わせた観点からの分析

②で分析した「重視する項目の情報充実度」と③で分析した「重視する項目の満足度」について、⑤と同様のグループ間での平均値の比較を行った。

図 3-2- 18: 日本留学選択者 満足度 x 情報充実度

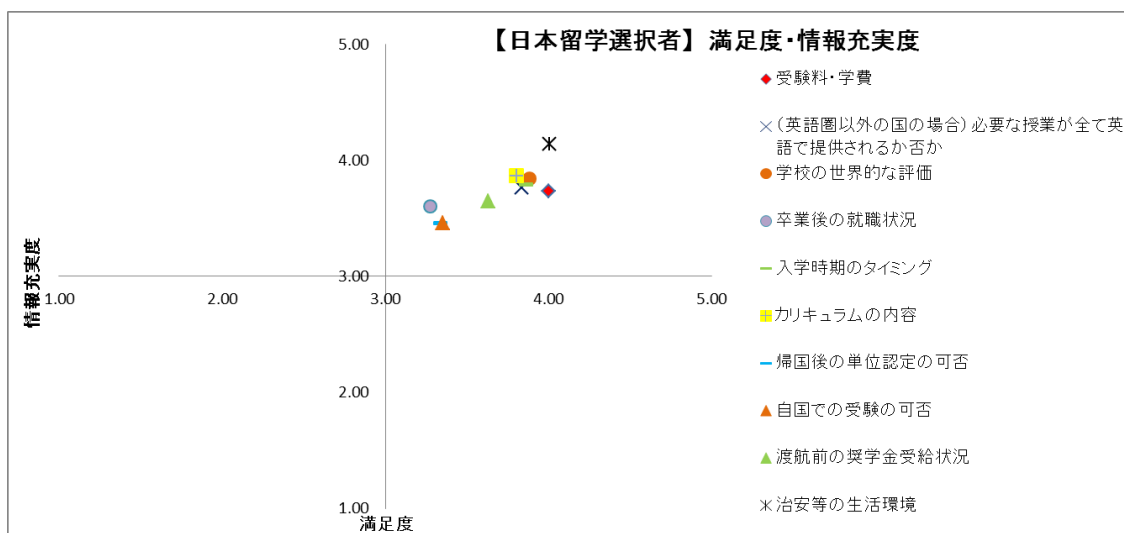
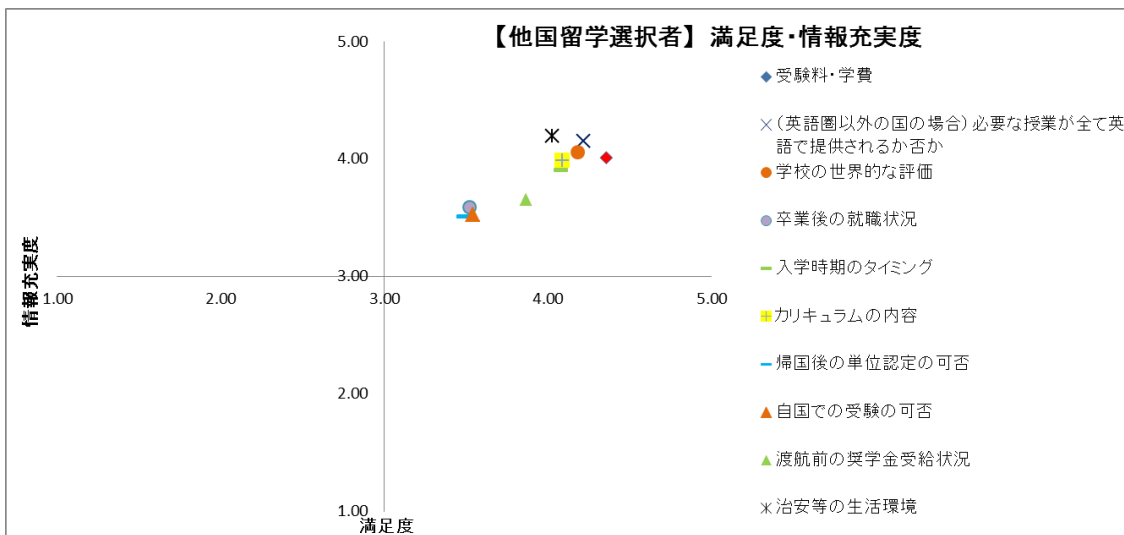


図 3-2- 19: 他国留学選択者 満足度 x 情報充実度

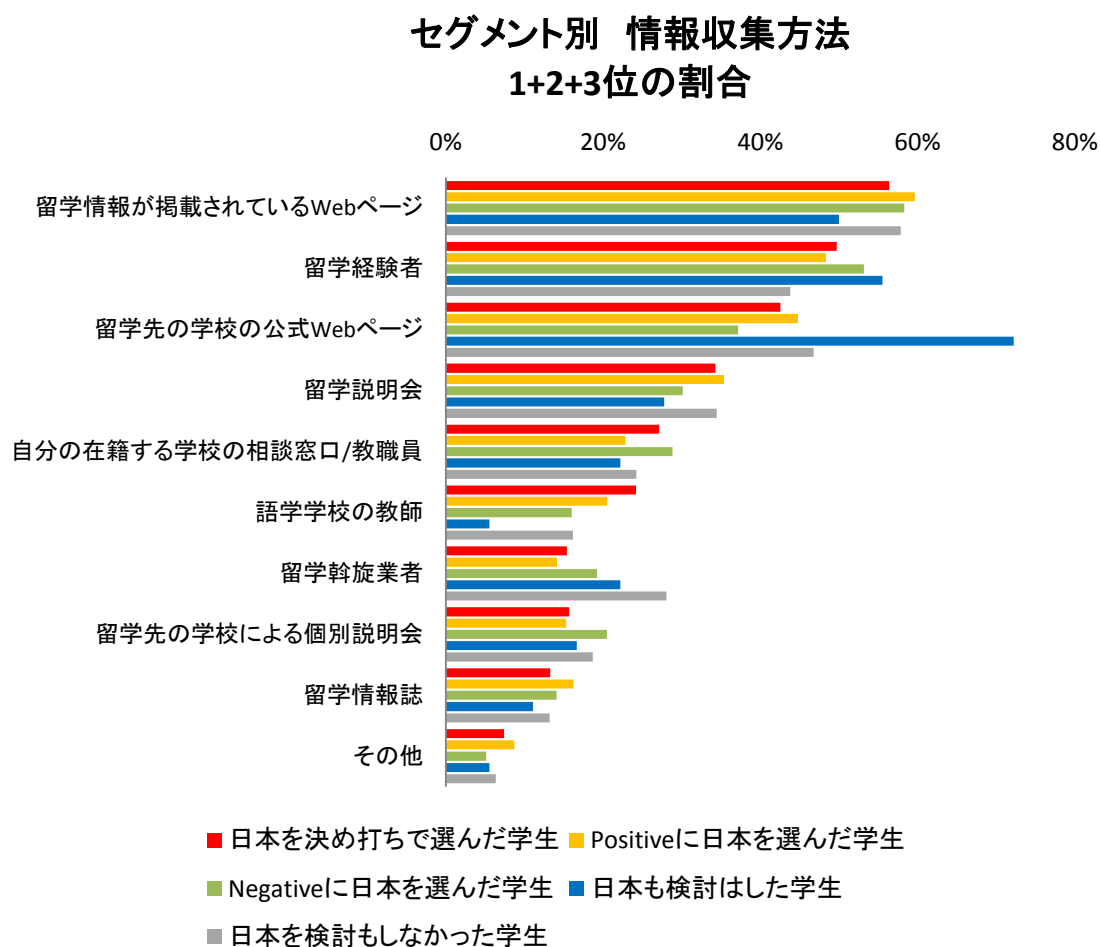


上記の結果より、「受験料・学費」および「(英語圏以外の国の場合) 必要な授業が全て英語で提供されるか否か」の二項目については、満足度、情報充実度ともに他国留学選択者の方が高くなっており、この部分は日本留学を促進する上で、情報提供の在り方を再検証する余地があるのではないかと考えられる。

※当分析の元データである情報充実度、満足度の回答実数を補足資料に添付した。

⑨情報収集方法：「留学情報をどのように入手しましたか？（役に立った順に 1 位から 3 位まで順位をつけてください。）」

図 3-2- 20: セグメント別 情報収集方法



情報の収集に際しては「日本も検討はした学生」の場合は、「留学先の学校の公式 Web ページ」を参考にしたという意見が最も多かった。それ以外のセグメントの学生は「留学情報が掲載されている Web ページ」を選ぶ学生が多く、いずれのケースもまずは、Web での情報を参考にするケースが多いことがうかがえる。Web 以外の情報源としては「留学経験者」を挙げる回答が多く、実際に留学したあるいは留学中の学生の声や体験談が、学生の留学に関する意思決定に大きく影響するものと考えられる。

第3章 調査結果の集計
2. 外国人学生アンケート

⑩情報収集時期：「いつ頃から留学情報を意識して集めはじめましたか？」

表 3-2- 41: 留学情報収集時期

		学年								
セグメント	情報収集時期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	総計	割合
日本を決め打ちで選んだ学生	小学校在籍時	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
	中学校在籍時	3	1	4	1	0	0	2	11	0.9%
	高校在籍時	16	17	21	6	4	0	4	68	5.6%
	大学在籍時	84	57	58	32	4	4	5	244	20.2%
	大学院在籍時	11	5	4	5	3	1	4	33	2.7%
	その他	0	0	0	1	0	0	18	19	1.6%
小計		115	80	87	45	11	5	33	376	31.1%
Positiveに日本を選んだ学生	小学校在籍時	1	0	0	1	0	0	0	2	0.2%
	中学校在籍時	4	2	3	2	0	0	1	12	1.0%
	高校在籍時	29	23	36	10	3	2	15	118	9.8%
	大学在籍時	74	73	46	45	6	1	4	249	20.6%
	大学院在籍時	7	5	6	7	0	1	6	32	2.6%
	その他	1	0	2	0	0	0	8	11	0.9%
小計		116	103	93	65	9	4	34	424	35.1%
Negativeに日本を選んだ学生	小学校在籍時	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	中学校在籍時	1	0	0	0	0	0	2	3	0.2%
	高校在籍時	13	11	14	1	0	1	6	46	3.8%
	大学在籍時	19	24	30	13	2	1	1	90	7.4%
	大学院在籍時	4	2	3	1	0	0	1	11	0.9%
	その他	0	0	0	0	0	0	5	5	0.4%
小計		37	37	48	15	2	2	15	156	12.9%
日本も検討はした学生	中学校在籍時	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1%
	高校在籍時	0	2	4	0	0	0	0	6	0.5%
	大学在籍時	2	5	3	1	0	0	0	11	0.9%
小計		2	7	8	1	0	0	0	18	1.5%
日本を検討もしなかった学生	小学校在籍時	2	1	0	1	0	2	1	7	0.6%
	中学校在籍時	2	5	3	1	1	0	2	14	1.2%
	高校在籍時	15	23	24	8	1	3	8	82	6.8%
	大学在籍時	35	27	28	16	0	0	1	107	8.9%
	大学院在籍時	6	2	2	4	1	0	5	20	1.7%
	その他	2	1	1	0	0	0	1	5	0.4%
小計		62	59	58	30	3	5	18	235	19.4%
総計		332	286	294	156	25	16	100	1,209	100.0%
割合		27%	24%	24%	13%	2%	1%	8%	100%	

留学情報の収集時期は、各セグメントで高校1～3年、大学1～4年が多いが、大学4年では若干減少しており、これは日本人学生のケースと同様に進学や就職といった状況のためではないかと考えられる。

⑪留学費用の把握：「留学前に留学に必要な費用を把握していましたか？」

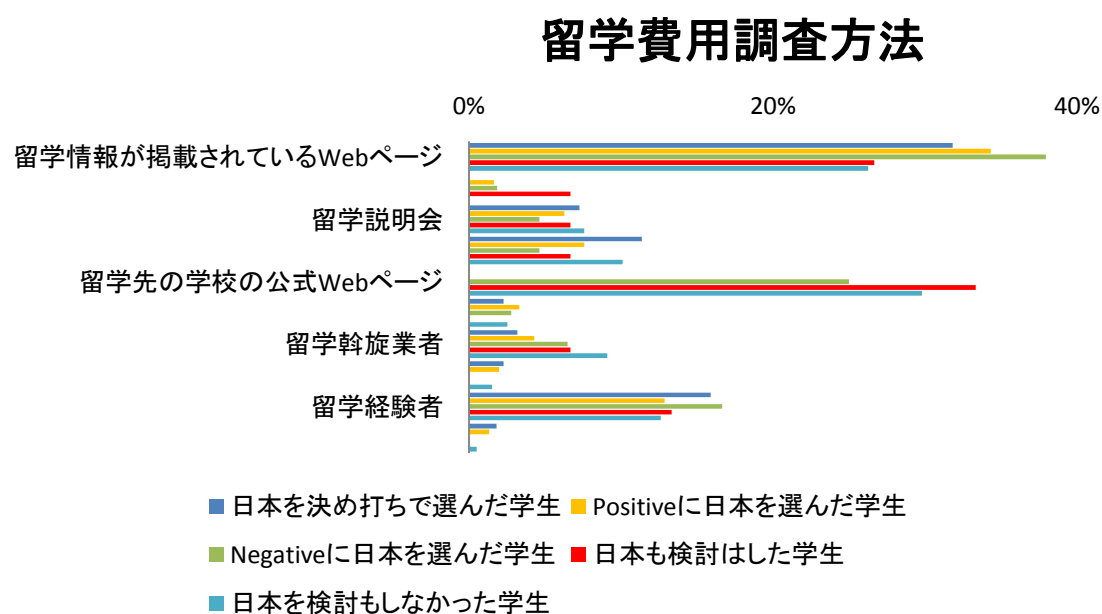
表 3-2- 42: 留学情報収集時期

セグメント	はい	いいえ
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	59%	41%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	71%	29%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	69%	31%
日本も検討はした学生 (N=18)	83%	17%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	84%	16%

留学費用に関しては、他国留学選択者では約 8 割が留学前に費用を把握していたと回答しているのに対し、日本留学選択者の場合は、この割合は 1～2 割ほど少なくなっている。

⑫留学費用の調査方法：「留学前に留学に必要な費用をどのように調べましたか？」

図 3-2- 21: セグメント別 情報収集方法



留学費用の調査は、どのセグメントも「留学情報が掲載されている Web ページ」や「留学先学校の公式 Web ページ」を参照するという回答が多く、次いで「留学経験者」を頼る、という傾向が見られる。

⑬奨学金の把握：「奨学金について調べましたか？」

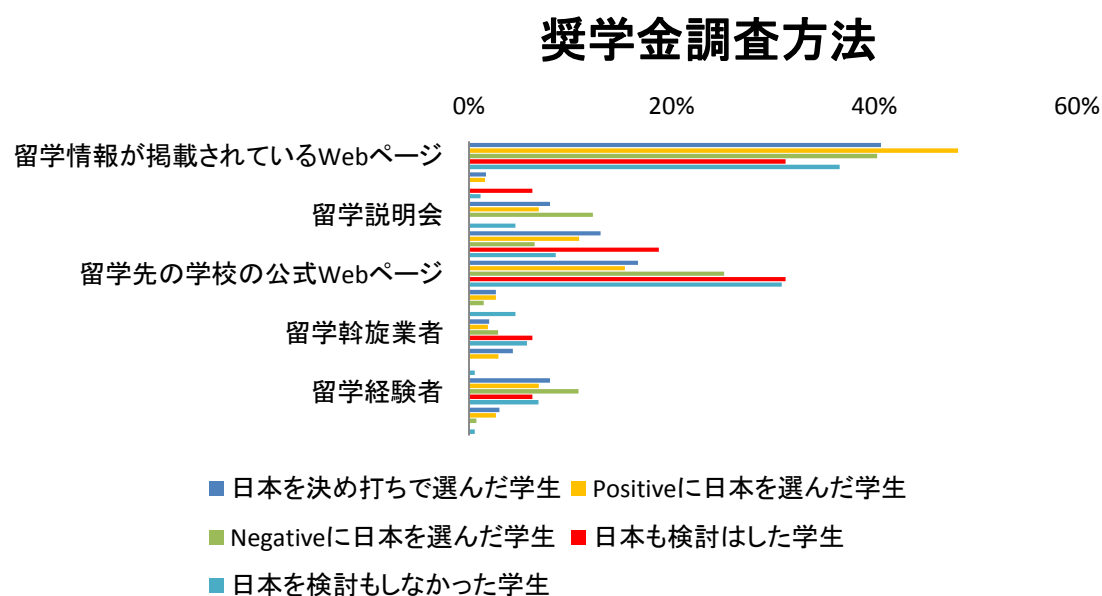
表 3-2- 43: 奨学金の把握状況

セグメント	はい	いいえ
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	80%	20%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	89%	11%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	89%	11%
日本も検討はした学生 (N=18)	89%	11%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	74%	26%

奨学金については、日本留学選択者では 8 割以上が調べたと回答しており、奨学金情報へのニーズの高さが読み取れる。

⑭奨学金の調査方法：「奨学金をどのように調べましたか？」

図 3-2- 22: セグメント別 奨学金調査方法



奨学金の調査についても前述の留学費用と同様に、「留学情報が掲載されている Web ページ」や「留学先学校の公式 Web ページ」を参照するという回答が多く、次いで「留学経験者」のアドバイスを参考にするという傾向が見られる。

⑮渡航前奨学金の決定有無：「留学に際して渡航前に奨学金が決まりましたか？」

表 3-2- 44: 渡航前奨学金の決定有無

セグメント	はい	いいえ	留学前あるいは 留学検討中である
日本を決め打ちで選んだ学生 (N=376)	39%	20%	40%
Positive に日本を選んだ学生 (N=424)	42%	18%	39%
Negative に日本を選んだ学生 (N=156)	36%	16%	48%
日本も検討はした学生 (N=18)	61%	33%	6%
日本を検討もしなかった学生 (N=235)	40%	37%	23%

日本留学選択者の場合は、渡航前に奨学金が決定したと回答している者は約 4 割であるが、「日本も検討はした学生」の場合は約 6 割が決定したと回答している。外国人学生に対するヒアリングでも聞かれたが、このセグメントの学生の場合は、他国の学校からの奨学金受給が決まったために日本ではなく他国への留学を選択するケースも一定数存在すると考えられる。

2-4. 留学の阻害要因

各セグメントの留学の阻害要因に関する項目の集計結果は以下の表の通りである。

表 3-2- 45: 留学の阻害要因に関連する項目のサマリ

セグメント			質問事項	
			日本を留学先として検討しない/選ばない理由	日本留学を後押しする情報・サポート
日本に留学した/留学したい学生	日本を決め打ちで選んだ学生	376	N/A	N/A
	Positive に日本を選んだ学生	424	N/A	N/A
	Negative に日本を選んだ学生	156	N/A	N/A
他国に留学した/留学したい学生	日本も検討したが他国に留学した学生	18	受験料・学費が高いと思ったため	渡航前に奨学金受給が決まる制度
	日本を検討もしなかった学生	235	日本語能力が求められると思ったため	渡航前に奨学金受給が決まる制度
留学しない学生	留学に興味が無い学生	96	日本語能力が求められると思ったため	卒業後に日本で就職できる可能性

以下に、各質問事項の詳細を項目別に示す。

① 日本留学の阻害要因：「日本を留学先として検討しない/選ばなかった理由について、それぞれの項目に対して、あてはまる度合を5段階で評価して下さい（5段階評価。1 = 全くあてはまらない、5 = 非常にあてはまる）」

図 3-2- 23: セグメント別 日本を選ばなかった理由（平均値、標準偏差）

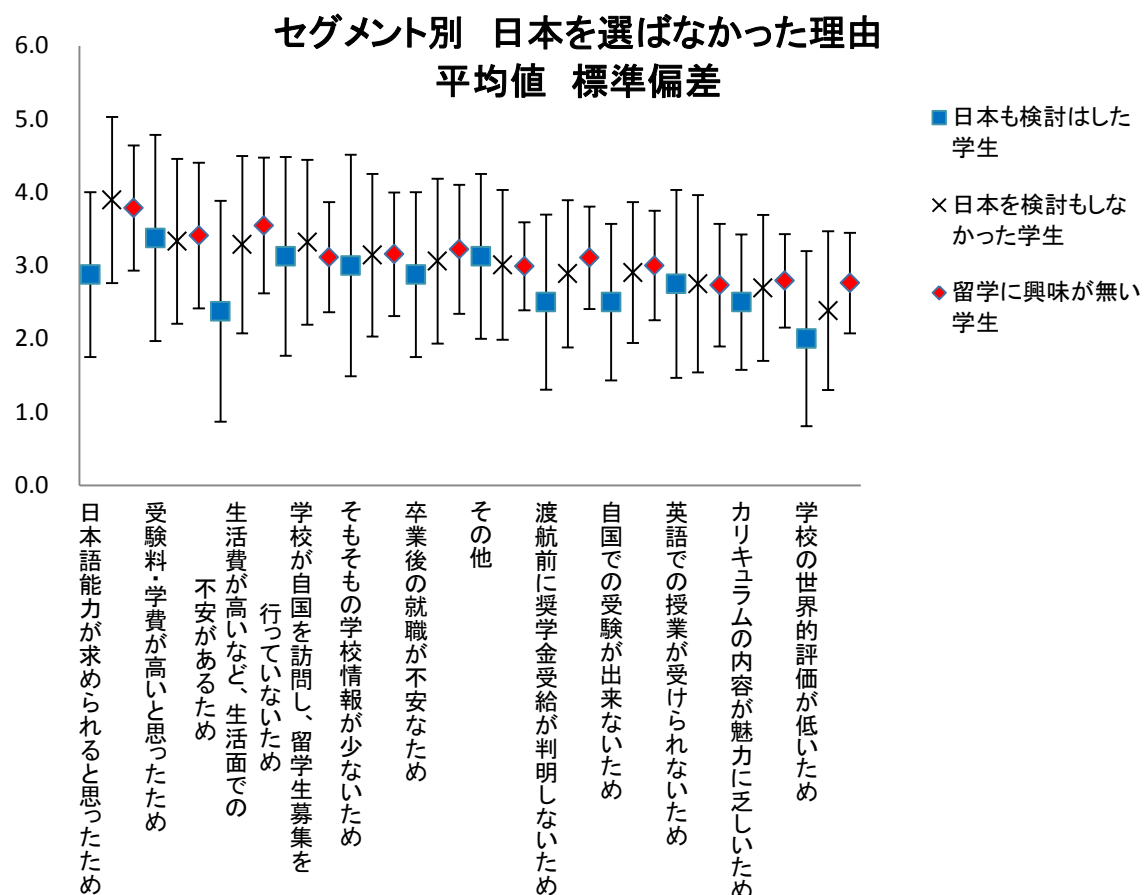


表 3-2- 46: セグメント別 日本を選ばなかった理由（平均値）

項目	日本も検討 はした学生	日本を検討 もしなかつ た学生	留学に興味 が無い学生
日本語能力が求められると思ったため	2.9	3.9	3.8
受験料・学費が高いと思ったため	3.4	3.3	3.4
生活費が高いなど、生活面での不安があるため	2.4	3.3	3.5
学校が自国を訪問し、留学生募集を行っていないため	3.1	3.3	3.1
そもそもの学校情報が少ないため	3.0	3.1	3.2
卒業後の就職が不安なため	2.9	3.1	3.2
その他	3.1	3.0	3.0
渡航前に奨学金受給が判明しないため	2.5	2.9	3.1
自国での受験が出来ないため	2.5	2.9	3.0
英語での授業が受けられないため	2.8	2.8	2.7
カリキュラムの内容が魅力に乏しいため	2.5	2.7	2.8
学校の世界的評価が低いため	2.0	2.4	2.8

上記の集計結果より、「日本も検討はした学生」の場合では「受験料・学費」と「学校が自国を訪問し、留学生募集を行っていないため」とが理由の上位に挙げられている。この点に関しては、後述の外国人学生のインタビュー結果では「奨学金が受給できなかった」、「自分が在籍している大学との協定が無く、授業料を支払う必要がある」などの経済面での理由と、「日本留学に関する情報が少なかった」といった情報面での理由により日本留学を断念したという意見が聞かれた。「日本を検討もしなかった学生」の場合は「日本語能力」と「受験料・学費」が、また「留学に興味が無い学生」の場合は「日本語能力」と「生活費の高さ」が主な理由として挙げられており、これらの項目もインタビュー結果と概ね一致している。

②日本留学を後押しするサポート・情報：「どのような情報やサポートがあったら日本を留学先として検討しますか？（5段階評価。1＝全くあてはまらない、5＝非常にあてはまる）」

図 3-2- 24: セグメント別 日本留学を後押しする情報・サポート（平均値、標準偏差）

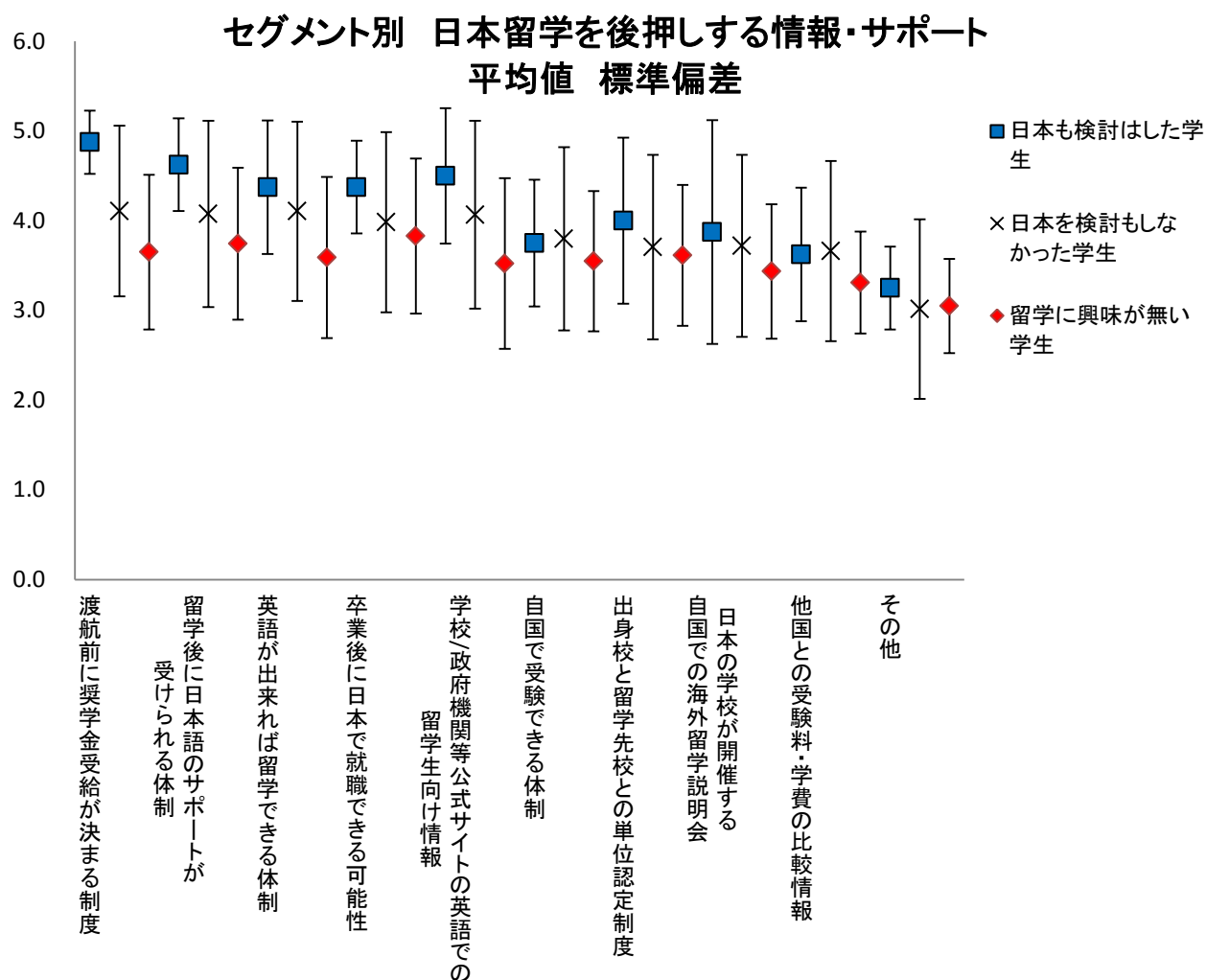


表 3-2- 47: セグメント別 日本留学を後押しする情報・サポート（平均値）

項目	日本も検討 はした学生	日本を検討 もしなかつ た学生	留学に興味 が無い学生
渡航前に奨学金受給が決まる制度	4.9	4.1	3.7
留学後に日本語のサポートが受けられる体制	4.6	4.1	3.7
英語が出来れば留学できる体制	4.4	4.1	3.6
卒業後に日本で就職できる可能性	4.4	4.0	3.8
学校/政府機関等公式サイトでの英語での留学生 向け情報	4.5	4.1	3.5
自国で受験できる体制	3.8	3.8	3.5
出身校と留学先校との単位認定制度	4.0	3.7	3.6
日本の学校が開催する自国での海外留学説明 会	3.9	3.7	3.4
他国との受験料・学費の比較情報	3.6	3.7	3.3
その他	3.3	3.0	3.1

日本留学を後押しする情報・サポートに対する回答では、全てのセグメントの学生が「渡航前に奨学金受給が決まる制度」と「留学後に日本語のサポートが受けられる体制」を上位3位以内の理由として回答しており、経済面と語学面でのサポートが求められていることが分かる。「日本も検討はした学生」はこの他に「学校/政府機関等公式サイトでの英語での留学生向け情報」が望ましいと回答しており、他国と比較した場合の情報量が少ないということを示唆しているのではないと考えられる。また、「留学に興味が無い学生」の場合は、卒業後に日本で就職できる可能性を1位に挙げており、これらのセグメントの学生に対しては、日本留学後に日本で就職できる可能性をより分かりやすい形で情報提供することが効果的でないかと推察される。